

現場説明書(技術的事項)

工事名 福山市立道上幼稚園園舎改修工事

1. 現場の状況

工事場所は、福山市立道上幼稚園敷地内です。工事期間中、園児は湯田幼稚園へ通園しているため、敷地内の利用はありません。

2. 留意事項

- ① 本工事の受注者は、地元企業・地場製品の活用に努めてください。また、木工事で使用する木材は、可能な限り市産材・県産材を使用するよう努めてください。
- ② 工事期間中は、第三者との事故及び災害防止に努めてください。
構内管理については、施設管理者との協議・調整を十分に行ってください。
- ③ 契約後、実施工程表は14日以内に提出するとともに、施工計画書等の承諾は速やかに受けてください。
- ④ 工事施工上必要な官庁署への手続きは、受注者の責任において適切に行ってください。
- ⑤ 特定建設資材の再資源化に努めるとともに、産業廃棄物は適切に処理してください。
- ⑥ 既存工作物等に損傷を与えないように対策を講じてください。なお損傷を与えた場合には、監督員及び施設管理者と協議の上、速やかに復旧してください。
- ⑦ 工事用出入口から前面道路へ泥を持ち出すことのないよう十分留意してください。また、汚した場合は速やかに清掃を行ってください。
- ⑧ 工事場所付近は、住宅等の建物が敷地に近接しているため、工事中の重機等による振動及び騒音防塵には十分注意し、移動の際は最徐行、仮設等の対策を講じてください。
- ⑨ 敷地東側の道路は道上小学校の通学路となっているため、児童及び第三者の安全確保に細心の注意を払ってください。
- ⑩ 別途工事業者との調整を行い、円滑な工事施工の遂行に努めてください。

3. 別途工事

電気設備工事、給排水衛生設備工事、冷暖房換気設備工事

4. 広島県工事中情報共有システム(以下「情報共有システム」という。)

本工事は、原則として情報共有システムを利用します。また、情報共有システム利用料を見込んでいます。

5 工事における「第20回世界バラ会議福山大会2025」ロゴの標示について

「第20回世界バラ会議福山大会2025」が2025年5月18日から24日にかけて開催されます。ついては、周知と機運醸成を図るため、工事現場に掲げる標識として、大会ロゴの標示のご協力をお願いします。

- (1) 使用するロゴは「第20回世界バラ会議福山大会2025ロゴ利用規程」に沿った指定のデザインとしてください。
- (2) 「第20回世界バラ会議福山大会2025ロゴ利用規程」に定められた「大会ロゴ利用許諾申請書」の提出は不要です。
- (3) 使用する大会ロゴは「大会ロゴデザインガイド」にて配色等が定められているので留意してください。
- (4) 大会ロゴの標示は任意事項とし、標示する際は、発注課へ連絡してください。
- (5) ロゴ標示期限は2026年（令和8年）3月31日です。
- (6) デザインデータについては福山市建設管理部技術検査課へ問合せください。

6 建築関連工事における福山市週休2日モデル工事の実施について

本工事は、持続可能な建設産業に向けた労働環境の改善を目的とする週休2日モデル工事の対象工事です。詳細については、別紙（建築関連工事における福山市週休2日モデル工事の実施について）によるものとします。

建築関連工事における福山市週休2日モデル工事の実施について

- 1 本工事は、契約締結後において受注者の希望により行う、週休2日モデル工事である。なお、このモデル工事の取組を希望しない受注者は、4～13に規定する義務を負わない。
- 2 このモデル工事に係る用語の定義は、次の各号に定めるものとする。
 - (1) 月単位の週休2日 対象期間内の全ての月毎に現場閉所（現場休息）日数の割合（以下「現場閉所率」という。）が、4週8休（28分の8の日数をいう。）以上の水準の状態をいう。ただし、暦上の土曜日・日曜日の現場閉所（現場休息）では4週8休に満たない月は、当該月の土曜日・日曜日の合計日数以上に現場閉所（現場休息）を行っている場合に、4週8休以上を達成しているものとみなす。
 - (2) 通期の週休2日 対象期間内において現場閉所率が4週8休以上の水準の状態をいう。
 - (3) 現場閉所 巡回パトロール、保守点検等の現場管理上必要な作業を行う場合を除き、1日を通して現場及び現場事務所が閉所された状態をいう。
 - (4) 現場休息 分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態をいう。
 - (5) 対象期間 工事着手日（準備期間（契約上の工事の始期から本体工事又は仮設工事の着手までの期間をいう。）を除く。）から工事の完成日（後片付け期間を除く。）までの期間をいう。ただし、次の期間は対象期間から除くものとする。
 - ア 年末年始6日間及び夏季休暇3日間
 - イ 工場製作のみが行われている期間
 - ウ 災害時の緊急対応その他受注者の責めによらず、休工又は現場作業を余儀なくされた期間
- 3 受注者は、契約締結後速やかに週休2日モデル工事の実施希望の有無等を記載した所定の確認票を建設政策課契約担当に提出するものとする。
- 4 受注者は、週休2日モデル工事を実施する場合は、契約締結後速やかに工事打合せ簿により監督員へ申出を行い、工事着手までに所定の現場閉所（現場休息）計画表兼実績表（以下「計画表」という。）を提出するものとする。
- 5 受注者は、天候を理由として現場閉所（現場休息）する場合のほか、次に掲げる場合は、監督員との協議により工事着手後であっても週休日を変更することができるものとする。
 - (1) 品質管理、安全管理等のため作業を継続して行う必要がある場合
 - (2) その他工程の都合上やむを得ない場合
- 6 受注者は、当該工事が週休2日モデル工事である旨を、施設管理者の承諾を得て所定の様式により仮囲い等に明示しなければならない。
- 7 受注者は、計画表に現場閉所（現場休息）状況を記入し、現場閉所（現場休息）状況が確認できる書類（工事日誌、出勤簿等をいう。）とともに毎月7日まで及び工事完成後に、工事打合せ簿により監督員に提出し、確認を受けるものとする。
- 8 週休2日を理由とする工期延長については、認めないものとする。
- 9 受注者は、週休2日モデル工事を実施できなくなった場合は、速やかにその旨及び理由を工事打合せ簿により監督員に報告するものとする。
- 10 週休2日モデル工事において、4週8休以上の現場閉所（現場休息）を達成した場合は、

変更契約において現場閉所（現場休息）の実績に応じた経費の補正を行うものとする。

11 経費については、次の各号に掲げる現場閉所（現場休息）の実績に応じ、当該各号に定める補正係数により、労務費（予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費相当額とする。）を補正するものとする。

(1) 月単位の週休2日モデル工事（4週8休以上）

（現場閉所率28.5%（8日/28日）以上） 1.04

(2) 通期の週休2日モデル工事（4週8休以上）

（現場閉所率28.5%（8日/28日）以上） 1.02

12 4週8休以上の現場閉所（現場休息）を達成した場合は、工事成績評定表の「工程管理」及び「創意工夫」において評価するものとする。

なお、週休2日を達成できなかった場合であっても、工事成績評定は減点しない。

13 計画表その他の提出資料に虚偽の記載等を行った場合は、指名除外措置の対象となる場合がある。

福山市立道上幼稚園園舎改修工事

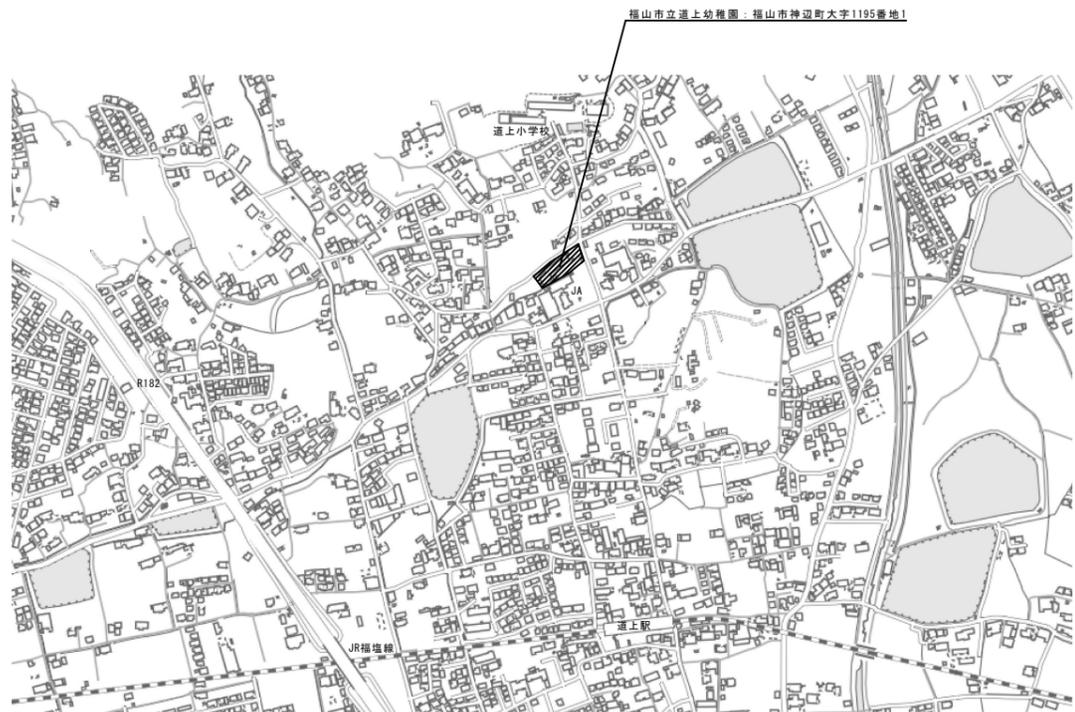
図 面 リ ス ト			
番号	図 面 名 称	番号	図 面 名 称
A-01	建築工事 特記仕様書 No.1	A-26	展開図(5)(改修前・改修後) 手洗所・集合便所
A-02	建築工事 特記仕様書 No.2	A-27	展開図(6)(改修前・改修後) 保育室1~3
A-03	建築工事 特記仕様書 No.3	A-28	展開図(7)(改修前・改修後) 廊下
A-04	建築工事 特記仕様書 No.4	A-29	展開図(8)(改修前・改修後) 廊下
A-05	建築工事 特記仕様書 構造関係	A-30	建具配置図(改修前)
A-06	工事区分表	A-31	建具配置図(改修後)
A-07	付近見取図・配置図(改修前)	A-32	建具表(1)(改修前・改修後)
A-08	仕上表(改修前・改修後)	A-33	建具表(2)(改修前・改修後)
A-09	平面図(改修前)	A-34	建具表(3)(改修前・改修後)
A-10	平面図(改修後)	A-35	建具詳細図(1)(改修後)
A-11	立面図(1)(改修前・改修後)	A-36	建具詳細図(2)(改修後)
A-12	立面図(2)(改修前・改修後)	A-37	家具配置図(改修前)
A-13	立面図(3)(改修前・改修後)	A-38	家具配置図(改修後)
A-14	天井伏図(改修前)	A-39	家具詳細図(1)(改修前・改修後)
A-15	天井伏図(改修後)	A-40	家具詳細図(2)(改修前・改修後)
A-16	断面詳細図(1)(改修前・改修後)	A-41	カーテン配置図(改修前)
A-17	断面詳細図(2)(改修前・改修後)	A-42	カーテン配置図(改修後)
A-18	平面詳細図(1)(改修前・改修後)	A-43	外構詳細図(1)(改修前・改修後)
A-19	平面詳細図(2)(改修前・改修後)	A-44	外構詳細図(2)(改修前・改修後)
A-20	平面詳細図(3)(改修前・改修後)	A-45	仮設計画図(改修前)
A-21	平面詳細図(4)(改修前・改修後)	A-46	外壁改修工事 特記仕様書
A-22	展開図(1)(改修前・改修後) 遊戯室		
A-23	展開図(2)(改修前・改修後) 絵本の部屋		
A-24	展開図(3)(改修前・改修後) 休憩室・更衣室・職員室		
A-25	展開図(4)(改修前・改修後) 保健室・湯沸室・職員便所		

福山市建設局建築部営繕課						期注
						2024年 5月
主務	課員	次長	課長補佐	営繕課長	建築部長	

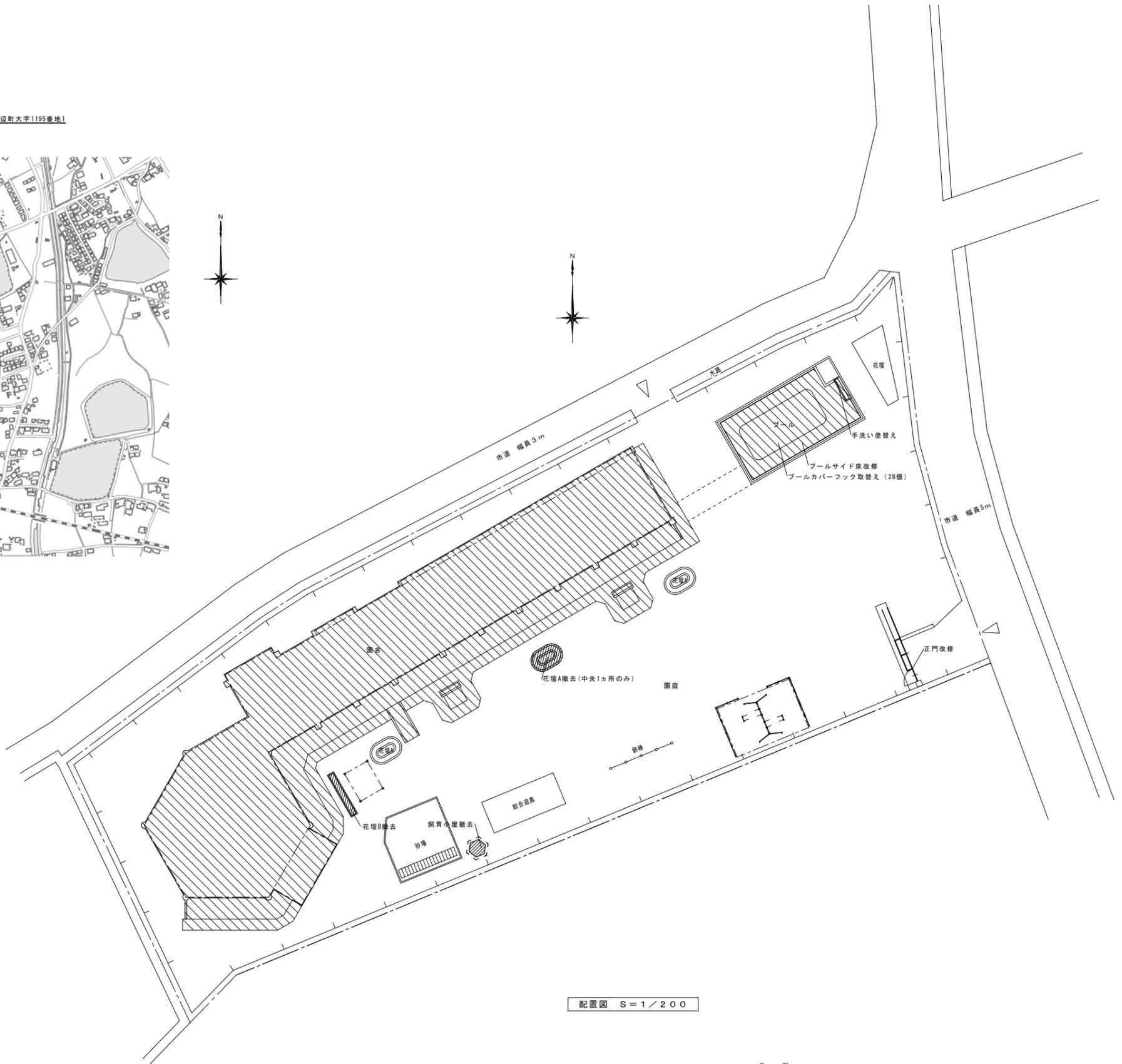
章	項	特記事項	章	項	特記事項	章	項	特記事項	章	項	特記事項	
7	金属成形板張り (14.6.2~3)	(14.6.2~3)	16 建 具 工 事	・木下地	性能項目 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法	種別 ・D種 ※S-2 ※A-3 ※W-3 (mm) ・E種 ※S-3 ※A-3 ※W-3 (mm)	耐風圧性は取付高さに適合したものとする。	戸の開閉方式 図示による (16.9.2) 自動ドア開閉装置 (16.9.2) 自動ドア開閉装置の性能 駆動装置の性能 ※引き戸用駆動装置の場合、標準仕様書表16.9.11による 防錆の適用 適用する・適用しない 車椅子使用者便出入口の引き戸用駆動装置の性能 ※標準仕様書表16.9.11による 防錆の適用 適用する・適用しない 検出装置の性能 ※引き戸用検出装置の性能は標準仕様書表16.9.31による 防錆の適用 適用する・適用しない 引き戸用検出装置の種類 標準仕様書表16.9.41による (16.9.2) 種類・光線(反射)センサー・熱線センサー・音波センサー・光電センサー・電波センサー ・タッチスイッチ(無線式タッチスイッチ・光電式タッチスイッチ)・押しボタンスイッチ ・車椅子使用者便用スイッチ(大形(開)押しボタンスイッチ)・非接触スイッチ 凍結防止措置 適用する・適用しない (16.9.2) 性能 ※標準仕様書表16.10.11による 図示による (16.10.3)	④ 錆止め塗料塗り (18.3.2)(18.3.3)	種別 (18.3.2)(18.3.3)(表18.3.1~表18.3.4)	下地面等 錆止め塗料の種類 工程の種類	鉄鋼面 見え掛り部分 S O P A種 ※A種・B種 D P 1回目C種 2、3回目D種 標準仕様書表18.3.4 E P-G ・A種 ※B種 ※A種・B種
8	アルミニウム製立木 (14.7.2~3)	(14.7.2~3)(表14.7.1)	16 建 具 工 事	・木下地	性能項目 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法	種別 ・A種 S-4 ・B種 S-5 A-4 W-4 ・C種 S-6 W-5	着色の色合 ○シルバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー ・防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級 ※図示による ・断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級 ※図示による	表面処理 (16.2.4) 外部に面する建具 種別 ○BB-1種・BB-2種 (表14.2.1) 着色 ○標準色・特注色 屋内の建具 種別 ○BC-1種・BC-2種 (表14.2.1) 着色 ○標準色・特注色	シャッターの種類 管理用シャッター 外壁用防火シャッター (16.11.2) 引戸装置 (16.10.3) 引戸装置 (16.11.2~3) シャッターの種類 管理用シャッター 外壁用防火シャッター (16.11.2) 引戸装置 (16.11.2~3) シャッターの種類 管理用シャッター 外壁用防火シャッター (16.11.2) 引戸装置 (16.11.2~3) シャッターの種類 管理用シャッター 外壁用防火シャッター (16.11.2) 引戸装置 (16.11.2~3)	⑤ 塗装 (18.4.1~18.12.2)	種別 (18.4.1~18.12.2)(表18.4.1~表18.12.1)	塗装の種類等 (表18.5.1) クリアラッカー塗り(CL) 種別がA種の場合における、標準仕様書表18.5.1の工程2 塗料の種類() 耐候性塗料塗り(OP) 上塗り塗料の等級 鉄鋼面 ()級 亜鉛めっき鋼面 ()級 (表18.7.2) ウレタン樹脂フェンス塗り(UC) 標準仕様書表8.10.1の工程1の着色 適用する (表18.10.1) オイルステイン塗り(OS)の仕様 図示による (表18.11.2)
15	ラス系下地 (15.2.4)	(15.2.4)	左 官 工 事	④ 網戸 (16.2.3)	性能項目 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法	種別 ・A種 S-4 ・B種 S-5 A-4 W-4 ・C種 S-6 W-5	防音網 ○ガラス繊維入り合成樹脂製 ※合成樹脂製・ステンレス製 (16.2.3) 線径 ※0.25mm以上 網目 ※16~18メッシュ 防音網 ・ステンレス製 径1.5mm ピッチ15mm	表面処理 (16.2.4) 外部に面する建具 種別 ○BB-1種・BB-2種 (表14.2.1) 着色 ○標準色・特注色 屋内の建具 種別 ○BC-1種・BC-2種 (表14.2.1) 着色 ○標準色・特注色	⑤ 塗装 (18.4.1~18.12.2)	種別 (18.4.1~18.12.2)(表18.4.1~表18.12.1)	塗装の種類等 (表18.5.1) クリアラッカー塗り(CL) 種別がA種の場合における、標準仕様書表18.5.1の工程2 塗料の種類() 耐候性塗料塗り(OP) 上塗り塗料の等級 鉄鋼面 ()級 亜鉛めっき鋼面 ()級 (表18.7.2) ウレタン樹脂フェンス塗り(UC) 標準仕様書表8.10.1の工程1の着色 適用する (表18.10.1) オイルステイン塗り(OS)の仕様 図示による (表18.11.2)	
												ラス系下地 (15.2.4) せっこうボード、 その他のボード下地 (15.2.5) こまい下地 (15.2.6) 木ずり下地 (15.2.7) モルタル塗り (15.3.2~5) セルフレベリング 材塗り (15.5.2) 仕上塗材仕上げ (15.6.2)
16	ラス系下地 (15.2.4)	(15.2.4)	左 官 工 事	④ 網戸 (16.2.3)	性能項目 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法	種別 ・A種 S-4 ・B種 S-5 A-4 W-4 ・C種 S-6 W-5	防音網 ○ガラス繊維入り合成樹脂製 ※合成樹脂製・ステンレス製 (16.2.3) 線径 ※0.25mm以上 網目 ※16~18メッシュ 防音網 ・ステンレス製 径1.5mm ピッチ15mm	表面処理 (16.2.4) 外部に面する建具 種別 ○BB-1種・BB-2種 (表14.2.1) 着色 ○標準色・特注色 屋内の建具 種別 ○BC-1種・BC-2種 (表14.2.1) 着色 ○標準色・特注色	⑤ 塗装 (18.4.1~18.12.2)	種別 (18.4.1~18.12.2)(表18.4.1~表18.12.1)	塗装の種類等 (表18.5.1) クリアラッカー塗り(CL) 種別がA種の場合における、標準仕様書表18.5.1の工程2 塗料の種類() 耐候性塗料塗り(OP) 上塗り塗料の等級 鉄鋼面 ()級 亜鉛めっき鋼面 ()級 (表18.7.2) ウレタン樹脂フェンス塗り(UC) 標準仕様書表8.10.1の工程1の着色 適用する (表18.10.1) オイルステイン塗り(OS)の仕様 図示による (表18.11.2)	
												ラス系下地 (15.2.4) せっこうボード、 その他のボード下地 (15.2.5) こまい下地 (15.2.6) 木ずり下地 (15.2.7) モルタル塗り (15.3.2~5) セルフレベリング 材塗り (15.5.2) 仕上塗材仕上げ (15.6.2)
17	ラス系下地 (15.2.4)	(15.2.4)	左 官 工 事	④ 網戸 (16.2.3)	性能項目 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法	種別 ・A種 S-4 ・B種 S-5 A-4 W-4 ・C種 S-6 W-5	防音網 ○ガラス繊維入り合成樹脂製 ※合成樹脂製・ステンレス製 (16.2.3) 線径 ※0.25mm以上 網目 ※16~18メッシュ 防音網 ・ステンレス製 径1.5mm ピッチ15mm	表面処理 (16.2.4) 外部に面する建具 種別 ○BB-1種・BB-2種 (表14.2.1) 着色 ○標準色・特注色 屋内の建具 種別 ○BC-1種・BC-2種 (表14.2.1) 着色 ○標準色・特注色	⑤ 塗装 (18.4.1~18.12.2)	種別 (18.4.1~18.12.2)(表18.4.1~表18.12.1)	塗装の種類等 (表18.5.1) クリアラッカー塗り(CL) 種別がA種の場合における、標準仕様書表18.5.1の工程2 塗料の種類() 耐候性塗料塗り(OP) 上塗り塗料の等級 鉄鋼面 ()級 亜鉛めっき鋼面 ()級 (表18.7.2) ウレタン樹脂フェンス塗り(UC) 標準仕様書表8.10.1の工程1の着色 適用する (表18.10.1) オイルステイン塗り(OS)の仕様 図示による (表18.11.2)	
												ラス系下地 (15.2.4) せっこうボード、 その他のボード下地 (15.2.5) こまい下地 (15.2.6) 木ずり下地 (15.2.7) モルタル塗り (15.3.2~5) セルフレベリング 材塗り (15.5.2) 仕上塗材仕上げ (15.6.2)
18	ラス系下地 (15.2.4)	(15.2.4)	左 官 工 事	④ 網戸 (16.2.3)	性能項目 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法	種別 ・A種 S-4 ・B種 S-5 A-4 W-4 ・C種 S-6 W-5	防音網 ○ガラス繊維入り合成樹脂製 ※合成樹脂製・ステンレス製 (16.2.3) 線径 ※0.25mm以上 網目 ※16~18メッシュ 防音網 ・ステンレス製 径1.5mm ピッチ15mm	表面処理 (16.2.4) 外部に面する建具 種別 ○BB-1種・BB-2種 (表14.2.1) 着色 ○標準色・特注色 屋内の建具 種別 ○BC-1種・BC-2種 (表14.2.1) 着色 ○標準色・特注色	⑤ 塗装 (18.4.1~18.12.2)	種別 (18.4.1~18.12.2)(表18.4.1~表18.12.1)	塗装の種類等 (表18.5.1) クリアラッカー塗り(CL) 種別がA種の場合における、標準仕様書表18.5.1の工程2 塗料の種類() 耐候性塗料塗り(OP) 上塗り塗料の等級 鉄鋼面 ()級 亜鉛めっき鋼面 ()級 (表18.7.2) ウレタン樹脂フェンス塗り(UC) 標準仕様書表8.10.1の工程1の着色 適用する (表18.10.1) オイルステイン塗り(OS)の仕様 図示による (表18.11.2)	
												ラス系下地 (15.2.4) せっこうボード、 その他のボード下地 (15.2.5) こまい下地 (15.2.6) 木ずり下地 (15.2.7) モルタル塗り (15.3.2~5) セルフレベリング 材塗り (15.5.2) 仕上塗材仕上げ (15.6.2)
19	ラス系下地 (15.2.4)	(15.2.4)	左 官 工 事	④ 網戸 (16.2.3)	性能項目 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法	種別 ・A種 S-4 ・B種 S-5 A-4 W-4 ・C種 S-6 W-5	防音網 ○ガラス繊維入り合成樹脂製 ※合成樹脂製・ステンレス製 (16.2.3) 線径 ※0.25mm以上 網目 ※16~18メッシュ 防音網 ・ステンレス製 径1.5mm ピッチ15mm	表面処理 (16.2.4) 外部に面する建具 種別 ○BB-1種・BB-2種 (表14.2.1) 着色 ○標準色・特注色 屋内の建具 種別 ○BC-1種・BC-2種 (表14.2.1) 着色 ○標準色・特注色	⑤ 塗装 (18.4.1~18.12.2)	種別 (18.4.1~18.12.2)(表18.4.1~表18.12.1)	塗装の種類等 (表18.5.1) クリアラッカー塗り(CL) 種別がA種の場合における、標準仕様書表18.5.1の工程2 塗料の種類() 耐候性塗料塗り(OP) 上塗り塗料の等級 鉄鋼面 ()級 亜鉛めっき鋼面 ()級 (表18.7.2) ウレタン樹脂フェンス塗り(UC) 標準仕様書表8.10.1の工程1の着色 適用する (表18.10.1) オイルステイン塗り(OS)の仕様 図示による (表18.11.2)	
												ラス系下地 (15.2.4) せっこうボード、 その他のボード下地 (15.2.5) こまい下地 (15.2.6) 木ずり下地 (15.2.7) モルタル塗り (15.3.2~5) セルフレベリング 材塗り (15.5.2) 仕上塗材仕上げ (15.6.2)
20	ラス系下地 (15.2.4)	(15.2.4)	左 官 工 事	④ 網戸 (16.2.3)	性能項目 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法	種別 ・A種 S-4 ・B種 S-5 A-4 W-4 ・C種 S-6 W-5	防音網 ○ガラス繊維入り合成樹脂製 ※合成樹脂製・ステンレス製 (16.2.3) 線径 ※0.25mm以上 網目 ※16~18メッシュ 防音網 ・ステンレス製 径1.5mm ピッチ15mm	表面処理 (16.2.4) 外部に面する建具 種別 ○BB-1種・BB-2種 (表14.2.1) 着色 ○標準色・特注色 屋内の建具 種別 ○BC-1種・BC-2種 (表14.2.1) 着色 ○標準色・特注色	⑤ 塗装 (18.4.1~18.12.2)	種別 (18.4.1~18.12.2)(表18.4.1~表18.12.1)	塗装の種類等 (表18.5.1) クリアラッカー塗り(CL) 種別がA種の場合における、標準仕様書表18.5.1の工程2 塗料の種類() 耐候性塗料塗り(OP) 上塗り塗料の等級 鉄鋼面 ()級 亜鉛めっき鋼面 ()級 (表18.7.2) ウレタン樹脂フェンス塗り(UC) 標準仕様書表8.10.1の工程1の着色 適用する (表18.10.1) オイルステイン塗り(OS)の仕様 図示による (表18.11.2)	
												ラス系下地 (15.2.4) せっこうボード、 その他のボード下地 (15.2.5) こまい下地 (15.2.6) 木ずり下地 (15.2.7) モルタル塗り (15.3.2~5) セルフレベリング 材塗り (15.5.2) 仕上塗材仕上げ (15.6.2)

Main table with 5 columns: Item No., Item Name, Particulars, Item No., Item Name. It contains detailed technical specifications for various construction materials and methods.

福山市工事区分表 1. 区分は設計図書に明記なき限り、※印のついたものを適用する。 2. 複数の区分が適用となる場合は、関連工事別に施工する。							分 類	項 目	区 分					分 類	項 目	区 分										
									建 築	電 気	給 排 水	空 調	ガ ス			昇 降 機	建 築	電 気	給 排 水	空 調	ガ ス	昇 降 機				
1 設備基礎	1 設備基礎	1. 建物内の機器類の基礎	※								9 ピット・マンホール・水槽等	1. 湧水槽、蓄熱槽等のRC造躯体、断熱層、内外の防水及び仕上げ	※						13 昇降機	1. 昇降路内ピットの防水、集水槽の製作及び設置	※					
		2. 同上アンカーボルト、箱入れ、埋込み設置、架台の製作及び設置	※	※	※	※	※					2. 同上マンホール蓋及びタラップの設置	※							2. 昇降路内点検用タラップの製作及び設置	※					
		3. 建物外部の機器類の基礎	※	※	※	※	※					3. 屋内の排水溝、配管ピット、配線ピットの内外の防水及び仕上げ	※							3. 出入り口三方枠取付け用下地鉄骨の設置（S造に限る）	※					
		4. 同上アンカーボルト、箱入れ、埋込み設置、架台の製作及び設置	※	※	※	※	※					4. 同上付属蓋類及びタラップの設置	※								4. 出入り口厚三方枠、沓摺の製作及び設置					※
		5. 外灯基礎の製作及び設置	※									5. 同上内設備配管類の架台の製作及び設置		※	※	※	※				5. 同上枠廻り空隙の充填及び補修	※				
2 設備機器取付下地	2 設備機器取付下地	1. 設備機器類の取付け用インサート及び吊りボルトの製作及び設置	※	※	※	※					6. 屋内マンホールのRC造躯体、錆蝕蓋及び化粧蓋の設置	※								6. 軌条、中間ビーム、ブラケット等昇降路内の鋼製部材一式の製作及び設置（S造に限る）	※				※	
		2. 鉄骨造の設備機器類吊り下げ用取付け金物の製作及び設置	※	※	※	※	※				7. 屋外マンホールのRC造躯体、錆蝕蓋の設置	※	※	※	※	※				7. 軌条、中間ビーム、ブラケット等昇降路内の鋼製部材一式の製作及び設置（S造を除く）						
		3. 設備機器類の取付け用下地補強	※	※	※	※	※				8. 屋外マンホールの化粧蓋の設置	※								8. 軌条、中間ビーム、ブラケット等昇降路内の鋼製部材一式の製作及び設置（S造を除く）						
											9. 同上化粧蓋の仕上	※									8. 機械室天井フックの製作及び設置（S造に限る）	※				
											10. 浄化槽設備のRC造躯体、内外防水及び仕上げ	※	※								9. 機械室天井フックの製作（S造を除く）					※
3 躯体貫通	3 躯体貫通	1. 中地梁の連通管、通気管及び人通路の製作、設置及び開口補強	※								11. 同上マンホール蓋及びタラップの設置			※						10. 同上の設置	※					
		2. 地下室等の二重壁内の水抜き管の製作及び設置	※								12. FRP製浄化槽等の設置（RC造躯体は除く）			※						11. ホール押し釦、インジケーター、鋼索等の躯体開口の設置及び補強	※					
		3. S、SRC造梁貫通鋼管スリーブの製作、設置及び開口補強	※								13. 排水槽、浄化槽等の内外装置の設置			※						12. 昇降路、ピット内の保守用コンセントの設置						
		4. RC造梁貫通スリーブの製作及び設置	※	※	※	※	※	※			14. 湧水槽、蓄熱槽等用液面電極取付け座の設置		※							13. 昇降機の制御盤及び二次側電気配管配線工事					※	
		5. 同上開口補強	※								15. 同上各種満減水警報、液面電極取付け		※								14. 同上一次側電気配管配線工事	※				
		6. 床や壁の貫通、半貫通部分のスリーブ、箱等の製作及び設置	※	※	※	※	※	※			16. 同上電気配管配線工事		※								15. 昇降路内の換気設備の設置				※	
		7. 同上開口補強	※																		16. 昇降路内の煙感知器の設置				※	
		8. 各貫通穴あけ箇所の空隙充填及び補修	※	※	※	※	※	※													17. 昇降路内の換気設備及び煙感知器の電気配管配線工事				※	
		9. 防火区画、排煙区画床、壁貫通部処理	※	※	※	※	※	※													18. 昇降路外の遠方操作盤及び警報監視インターホン用電気配管配線工事				※	
4 躯体以外の貫通・開口	4 躯体以外の貫通・開口	1. 工場製作の床パネル、間仕切り壁類の開口、取付け枠の製作、設置及び開口補強（下地補強を含む）	※																	19. 遠方操作盤、警報監視盤及びインターホンの設置及び調整					※	
		2. 現場製作の床、間仕切り壁類、天井の補強を伴う開口及び開口補強（下地補強を含む）	※																							
		3. 現場製作の床、間仕切り壁類、天井の補強を伴わない開口	※	※	※	※	※	※																		
		4. 間仕切り壁開口部の空隙充填及び補修	※	※	※	※	※	※																		
		5. ブロック、れんがへの設備機器取付け用開口、取付け枠の製作、設置及び開口補強	※																							
		6. ALC版、押出し成形セメント板、PC版類の設備機器取付け用開口、取付け枠の製作、設置及び開口補強	※																							
		7. 床や壁の石材面の設備機器取付け用開口	※																							
		8. 防火区画、排煙区画床、壁貫通部処理	※	※	※	※	※	※																		
		9. ユニットバスの換気扇の開口（メーカー規格外の場合）	※																							
5 点検口・ガラリ	5 点検口・ガラリ	1. 床、壁及び天井の点検口の製作及び設置	※																							
		2. 外壁ガラリのチャンバーの製作及び設置	※	※		※																				
		3. 内壁等に取りつく吹出口、吸込口の製作及び設置					※																			
		4. 同上化粧用特殊ガラリの製作及び設置	※				※																			
		5. 各室建具ガラリの製作及び設置	※																							

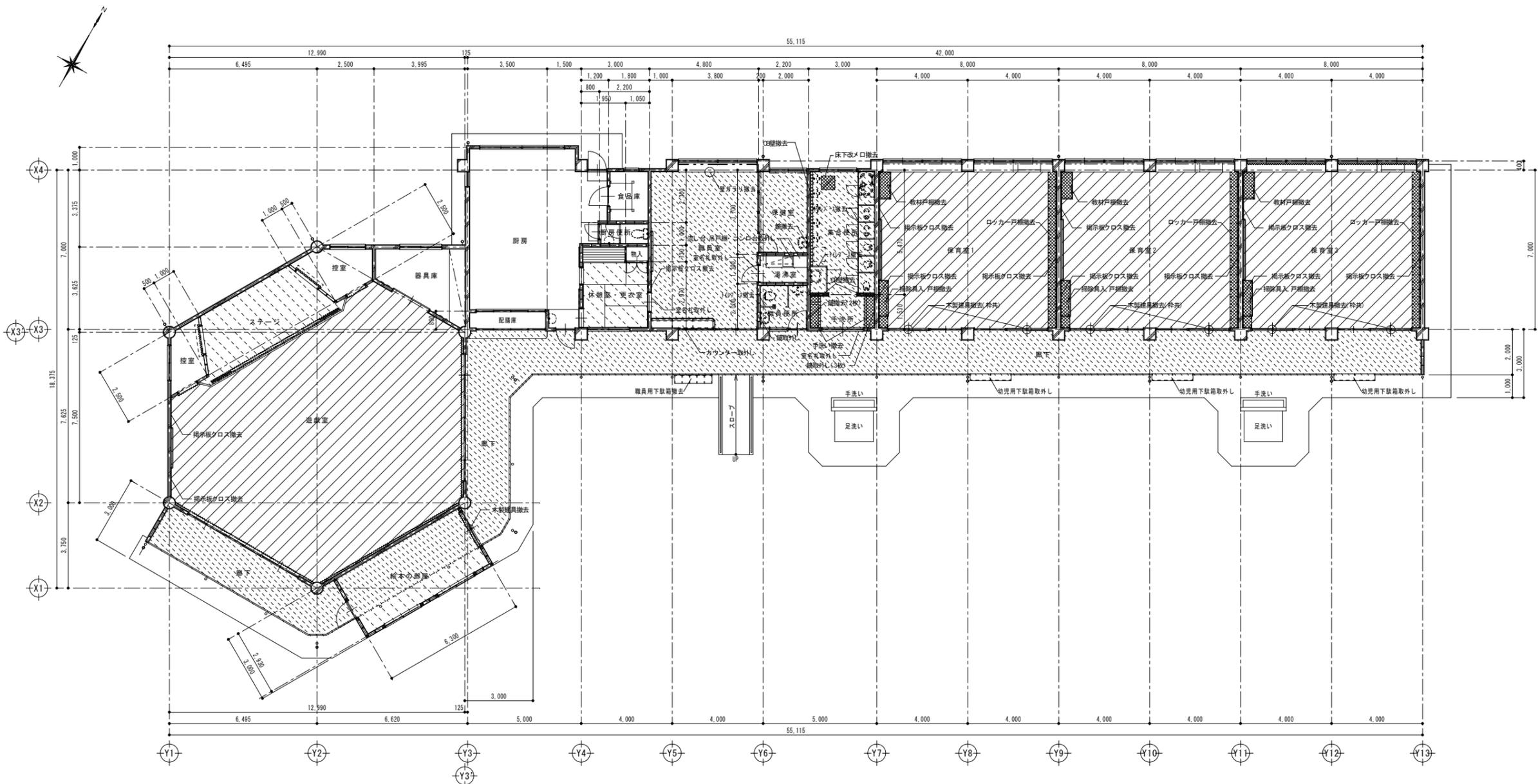


付近見取図



配置図 S=1/200

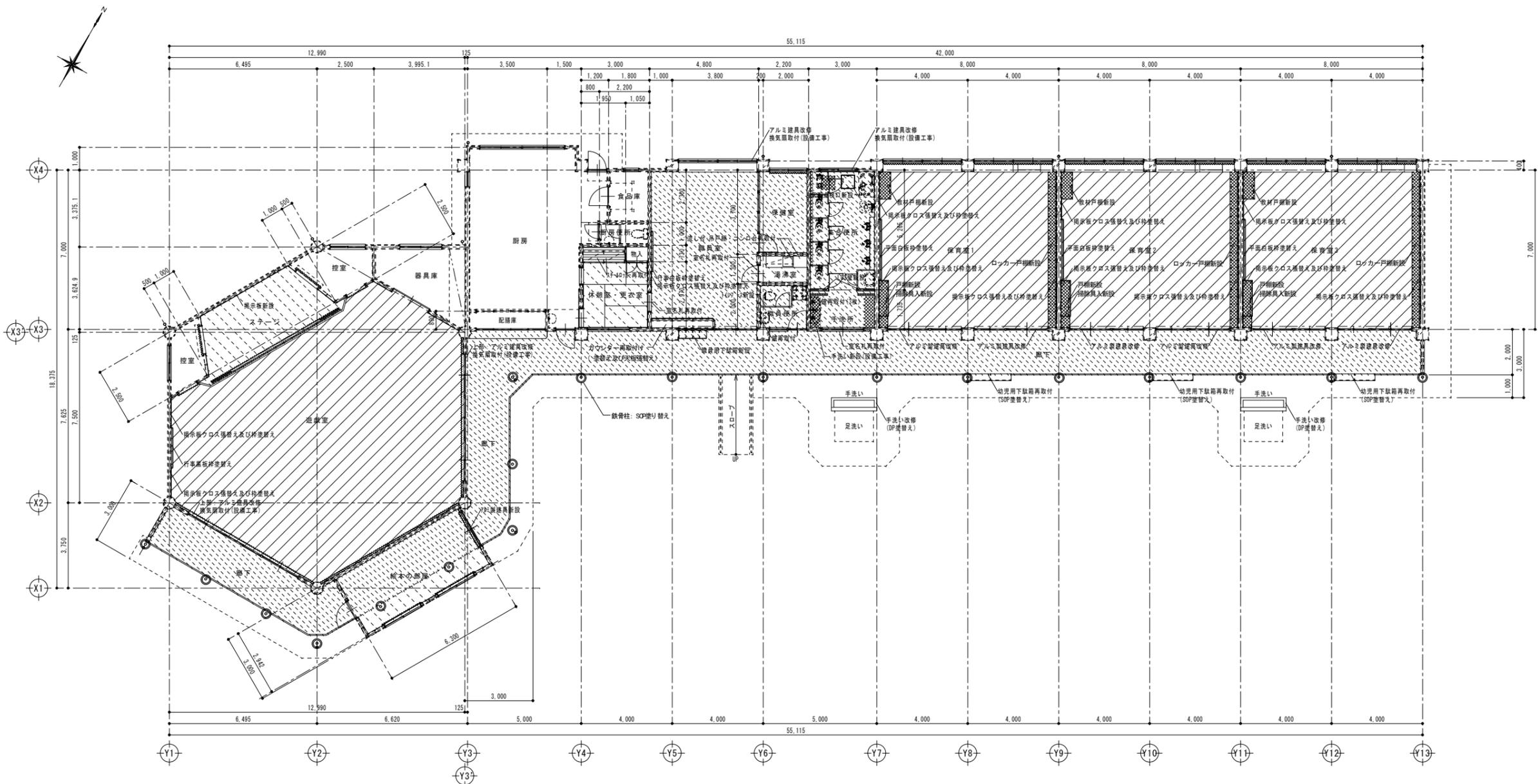
- 凡 例
- 改修建物及びプール改修部分
 - 撤去物



平面図 (改修前) S=1/100

- 凡例
- 床解体撤去範囲(土間コンクリート、土間シト撤去、砕石共)
 - 床仕上げ撤去範囲(下地モルタル共)
 - 床仕上げ撤去範囲(仕上げのみ)
 - 撤去物を示す。
 - 鉄筋コンクリート壁
 - 木組壁
 - コンクリートブロック壁
 - コンクリートブロック壁撤去範囲

特記事項
 ・土間コンクリート撤去範囲の端部は、カッター入れt=30とする。



平面図 (改修後) S=1/100

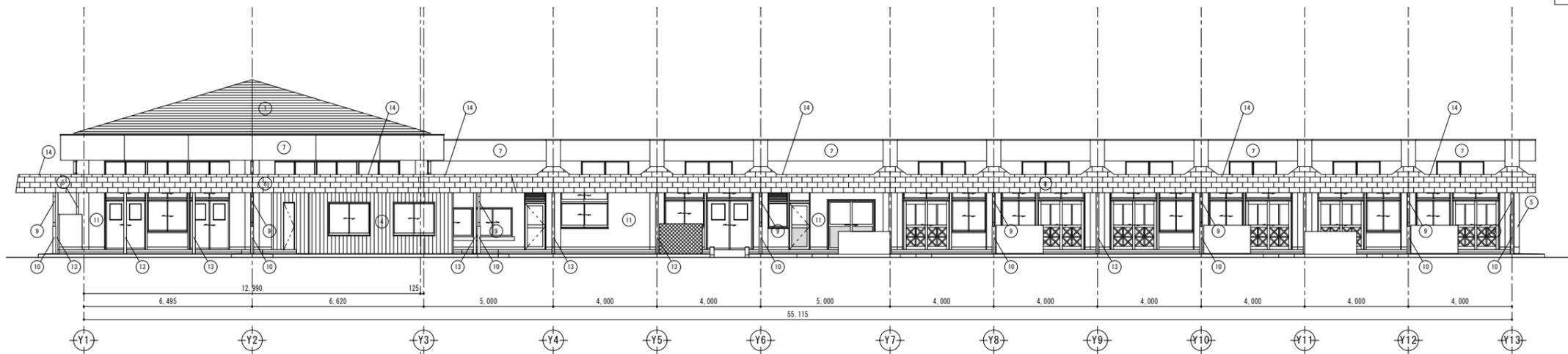
- 凡例**
- 床新設範囲(土間コンクリート=120+システム床+90)
 - 床仕上げ新設範囲(モルタル下地共)
 - 床仕上げ新設範囲(仕上げのみ)
 - 新設物を示す。
 - 鉄骨柱: SCP塗り替え(19箇所)
 - 鉄筋コンクリート壁
 - 木組壁
 - コンクリートブロック壁
 - 軽量鉄骨壁下地新設範囲

特記事項

- ・土間コンクリート 新設の配筋は、D10-@200 タコ共とする。
- ・土間コンクリート 新設の周囲は、あと施工アンカーD10@200とする。

改修前

凡 例	番 号	仕 上
①	屋根	三層シングル葺
②	根廻り	モルタル金こて押え
③	外壁	モルタル刷毛引アクリルリシン吹付
④	外壁	外装合板t=5張り
⑤	柱型	モルタル刷毛引アクリルリシン吹付
⑥	梁型	モルタル刷毛引アクリルリシン吹付
⑦	パラペット	モルタル刷毛引アクリルリシン吹付
⑧	パラペット	三層シングル葺
⑨	窓種	VP75φ OP造り
⑩	保護パイプ	GP100φ H=1200 OP造り
⑪	外壁	モルタル金こて押え VP造り
⑫	巾木	モルタル金こて押え VP造り
⑬	鉄骨柱	OP造り
⑭	廊下上部屋根	長尺カラー鉄板葺

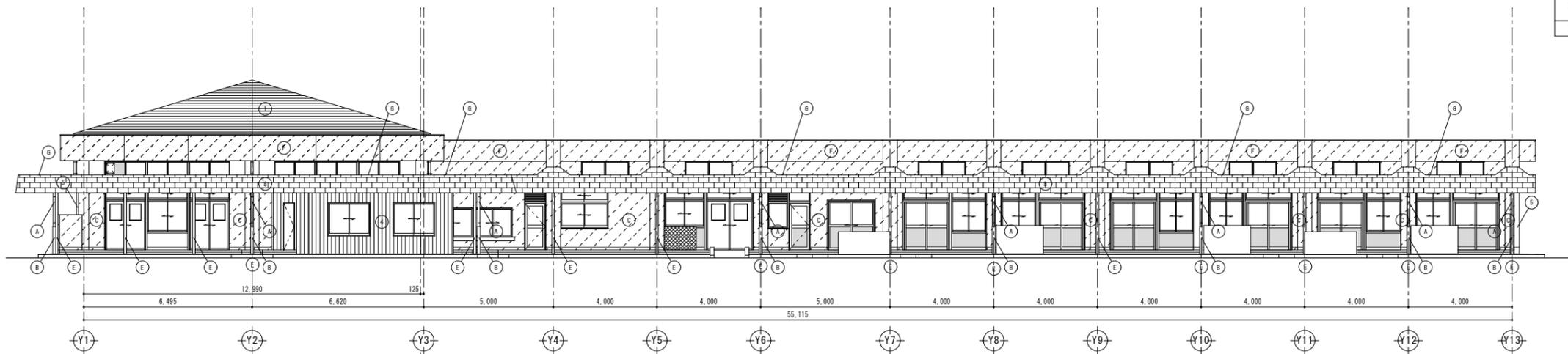


南立面図 S=1/100

凡 例
 撤去物を示す。

改修後

凡 例	番 号	仕 上
①	屋根	三層シングル葺 既存のまま
②	根廻り	モルタル金こて押え 既存のまま
③	外壁	モルタル刷毛引アクリルリシン吹付 既存のまま
④	外壁	外装合板t=5張り 既存のまま
⑤	柱型	モルタル刷毛引アクリルリシン吹付 既存のまま
⑥	梁型	モルタル刷毛引アクリルリシン吹付 既存のまま
⑦	パラペット	モルタル刷毛引アクリルリシン吹付 既存のまま
⑧	パラペット	三層シングル葺 既存のまま
⑨	窓種	塩ビ樹脂窓SOP差替え
⑩	保護パイプ	鉄鋼面SOP差替え
⑪	外壁	モルタル面EP-G差替え
⑫	巾木	モルタル面EP-G差替え
⑬	鉄骨柱	SOP差替え
⑭	パラペット	下地調整の上 複層建材E 吹付
⑮	通気パイプ	SCP差替え 40箇所
⑯	DP廊下上部屋根	長尺カラー鉄板葺 下地処理の上 DP差替え

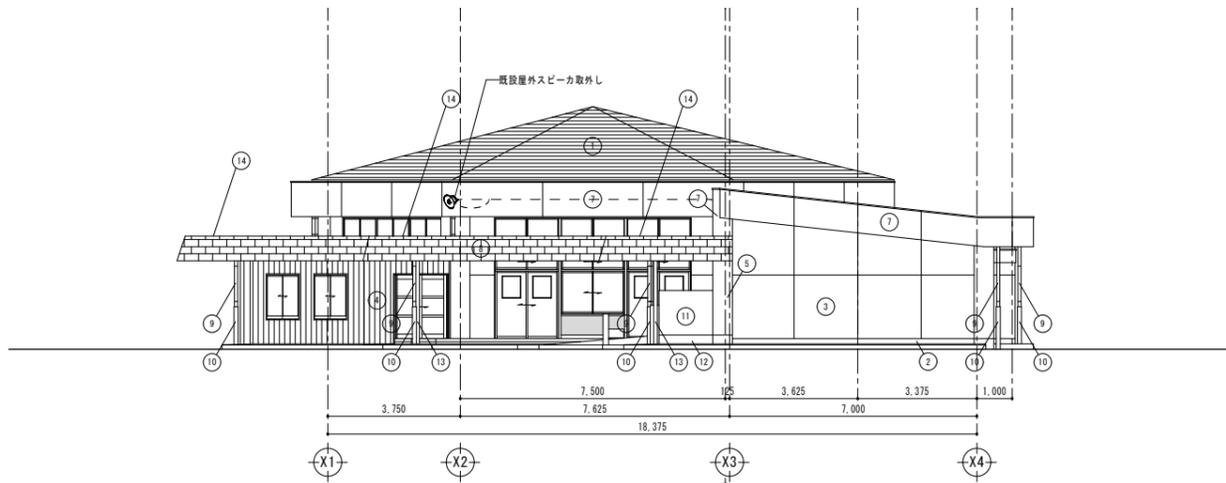


南立面図 S=1/100

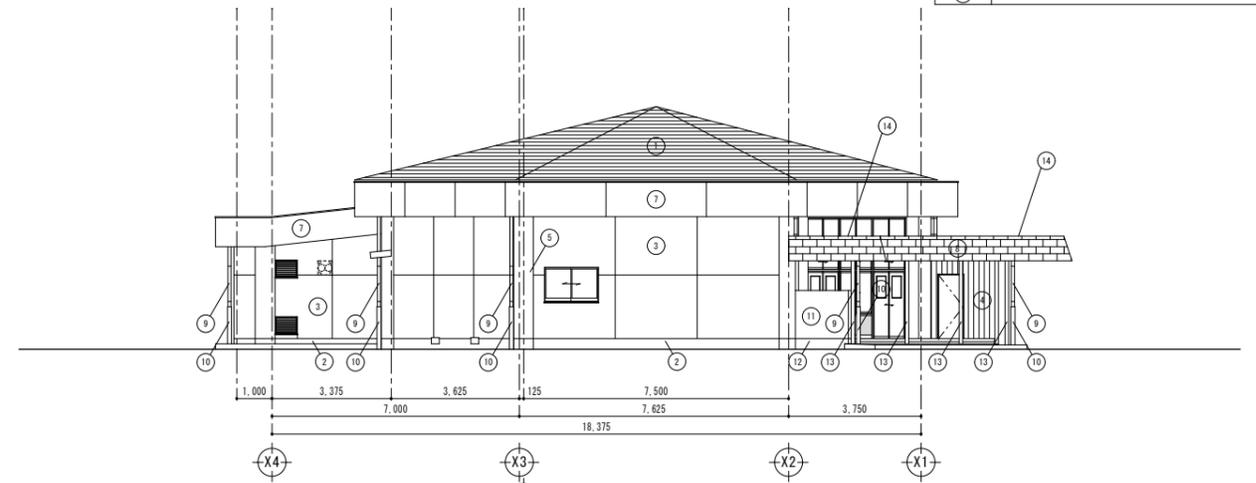
凡 例
 新設物を示す。
 壁塗装改修範囲

改修前

番号	仕上
1	屋根：三星シングル葺
2	根廻り：モルタル金こて押え
3	外壁：モルタル刷毛引アクリルリシン吹付
4	外壁：外装合板t=5張り
5	柱型：モルタル刷毛引アクリルリシン吹付
6	梁型：モルタル刷毛引アクリルリシン吹付
7	パラペット：モルタル刷毛引アクリルリシン吹付
8	パラペット：三星シングル葺
9	窓種：VP75φ OP塗り
10	保護パイプ：GP100φ H=1200 OP塗り
11	外壁：モルタル金こて押え VP塗り
12	巾木：モルタル金こて押え VP塗り
13	鉄骨柱：OP塗り
14	廊下上部屋根：長尺カラー鉄板葺



東立面図 S=1/100

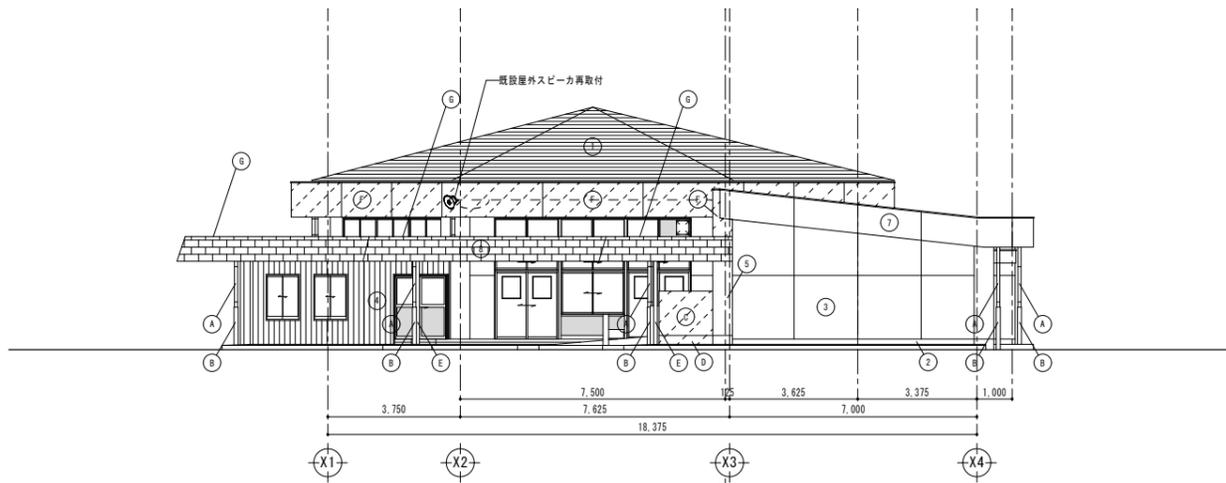


西立面図 S=1/100

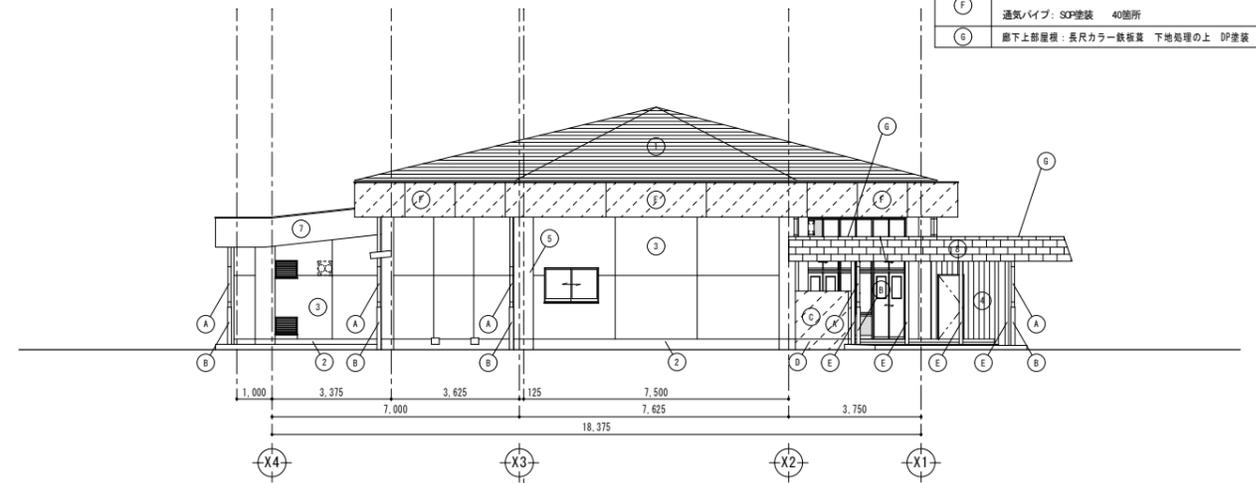
凡例
 撤去物を示す。

改修後

番号	仕上
1	屋根：三星シングル葺 既存のまま
2	根廻り：モルタル金こて押え 既存のまま
3	外壁：モルタル刷毛引アクリルリシン吹付 既存のまま
4	外壁：外装合板t=5張り 既存のまま
5	柱型：モルタル刷毛引アクリルリシン吹付 既存のまま
6	梁型：モルタル刷毛引アクリルリシン吹付 既存のまま
7	パラペット：モルタル刷毛引アクリルリシン吹付 既存のまま
8	パラペット：三星シングル葺 既存のまま
9	窓種：塩ビ樹脂窓SOP差替え
10	保護パイプ：鉄鋼窓SOP差替え
11	外壁：モルタル面EP-G塗替え
12	巾木：モルタル面EP-G塗替え
13	鉄骨柱：SOP差替え
14	パラペット：下地調整の上 複層建材E 吹付
15	通気パイプ：SCP塗装 40箇所
16	廊下上部屋根：長尺カラー鉄板葺 下地処理の上 OP塗装



東立面図 S=1/100



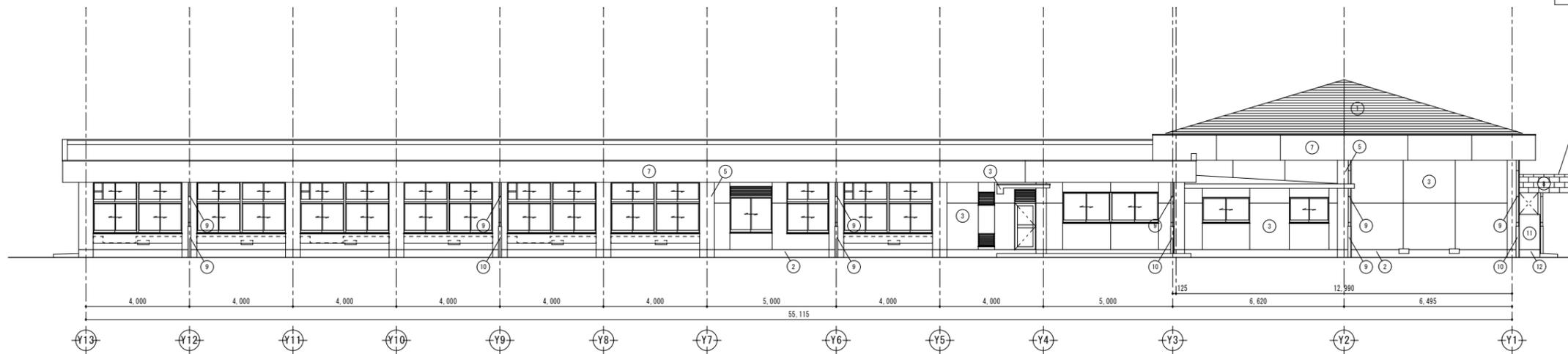
西立面図 S=1/100

凡例
 新設物を示す。
 壁塗装改修範囲



改修前

番号	仕上
①	屋根：三星シングル葺
②	根廻り：モルタル金こて押え
③	外壁：モルタル刷毛引アクリルリシン吹付
④	外壁：外装合板t=5張り
⑤	柱型：モルタル刷毛引アクリルリシン吹付
⑥	梁型：モルタル刷毛引アクリルリシン吹付
⑦	バラベツ：モルタル刷毛引アクリルリシン吹付
⑧	バラベツ：三星シングル葺
⑨	窓種：VP75φ OP塗り
⑩	保護パイプ：GP100φ H=1200 OP塗り
⑪	外壁：モルタル金こて押え VP塗り
⑫	巾木：モルタル金こて押え VP塗り
⑬	鉄骨柱：OP塗り
⑭	廊下上部屋根：長尺カラー鉄板葺

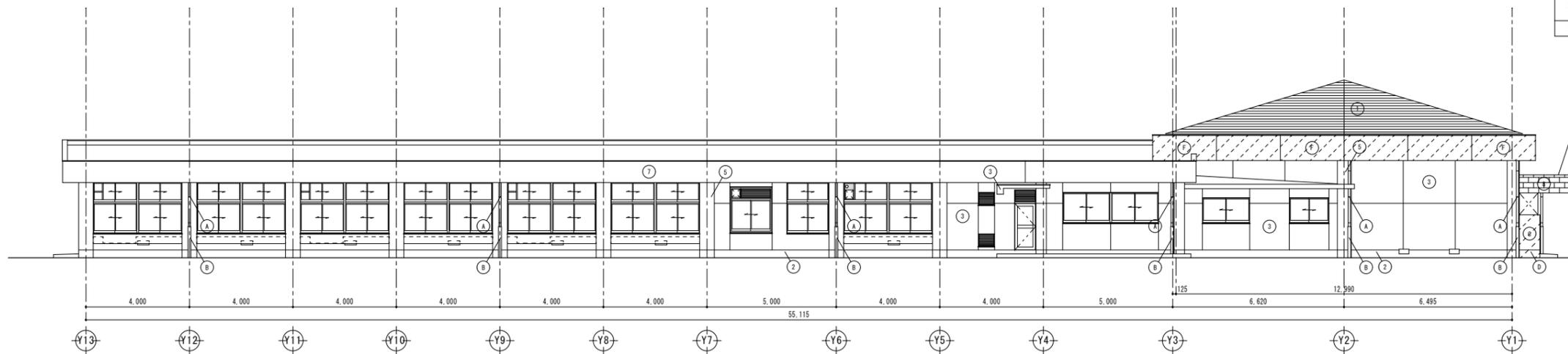


北立面図 S=1/100

凡例
 撤去物を示す。

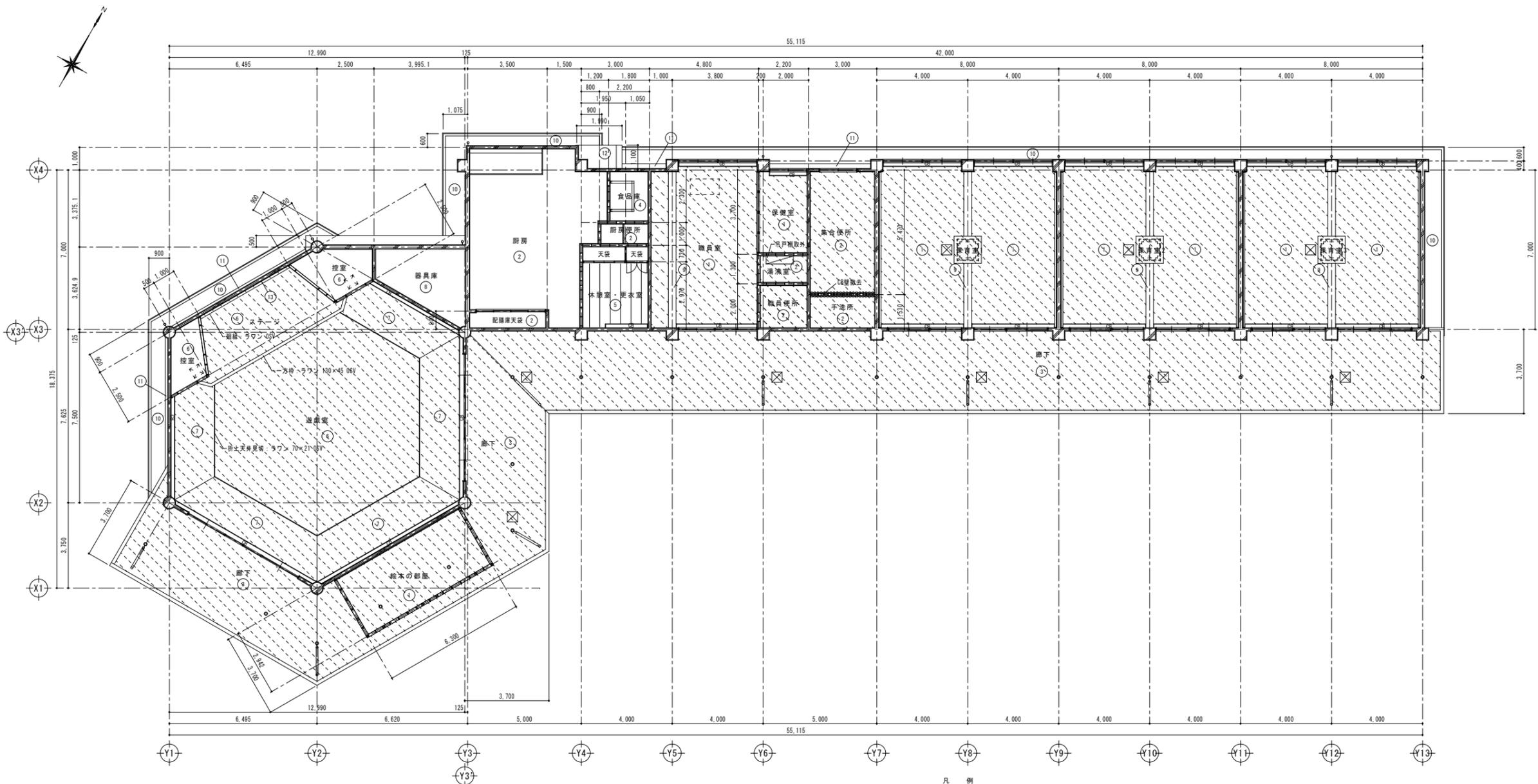
改修後

番号	仕上
①	屋根：三星シングル葺 既存のまま
②	根廻り：モルタル金こて押え 既存のまま
③	外壁：モルタル刷毛引アクリルリシン吹付 既存のまま
④	外壁：外装合板t=5張り 既存のまま
⑤	柱型：モルタル刷毛引アクリルリシン吹付 既存のまま
⑥	梁型：モルタル刷毛引アクリルリシン吹付 既存のまま
⑦	バラベツ：モルタル刷毛引アクリルリシン吹付 既存のまま
⑧	バラベツ：三星シングル葺 既存のまま
⑨	窓種：塩ビ樹脂画SOP差替え
⑩	保護パイプ：鉄鋼画SOP差替え
⑪	外壁：モルタル面EP-G塗替え
⑫	巾木：モルタル面EP-G塗替え
⑬	鉄骨柱：SOP差替え
⑭	バラベツ：下地調整の上 複層建材E 吹付
⑮	通気パイプ：SCP塗装 40箇所
⑯	廊下上部屋根：長尺カラー鉄板葺 下地処理の上 OP塗替え



北立面図 S=1/100

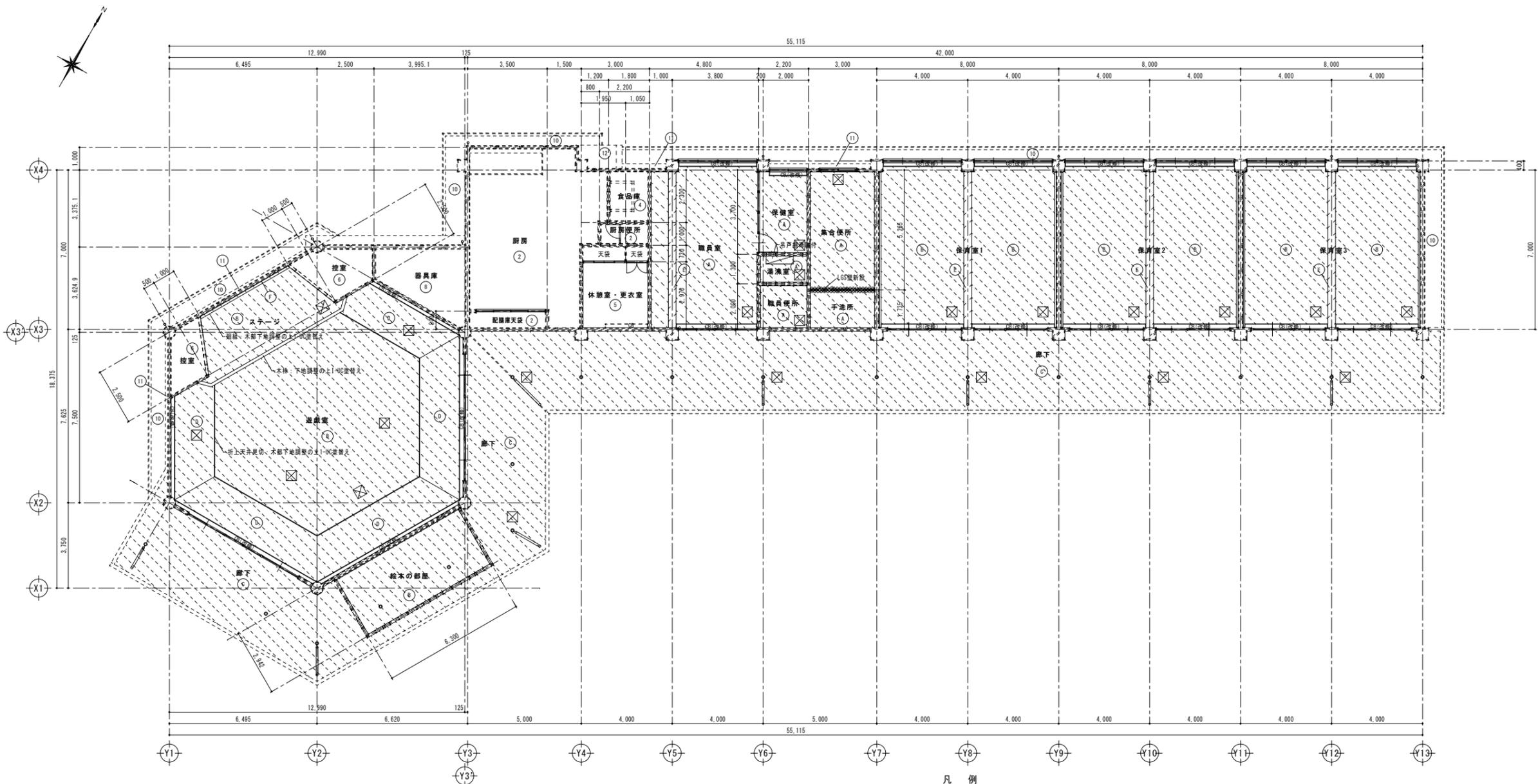
凡例
 新設物を示す。
 壁塗装改修範囲



天井伏図 (改修前) S = 1 / 100

番号	仕上
①	タイガージブトーンt=9.0張り
②	石綿含有大平板 t=5.0目透かし張り AEP
③	石綿含有大平板 t=5.0目透かし張り EP-G
④	石綿含有大平板 t=5.0目透かし張り
⑤	杉板ベニヤ底目地張り
⑥	吸音テックスt=9.0張り
⑦	ベニヤt=4.0下張りの上難燃クロス張り
⑧	モルタル刷毛引仕上げ
⑨	梁型：モルタル金こて押え AEP
⑩	軒裏：コンクリート打放しアクリルリシン吹付
⑪	梁型：モルタル刷毛引アクリルリシン吹付
⑫	底裏：モルタル刷毛引アクリルリシン吹付
⑬	梁型：木脚縁組の上コペンハーゲンリブ張り OSV
OS	木製カーテンBOX

天井点検口450×450 撤去
 天井点検口450×450 既存のまま
 天井仕上げ撤去範囲



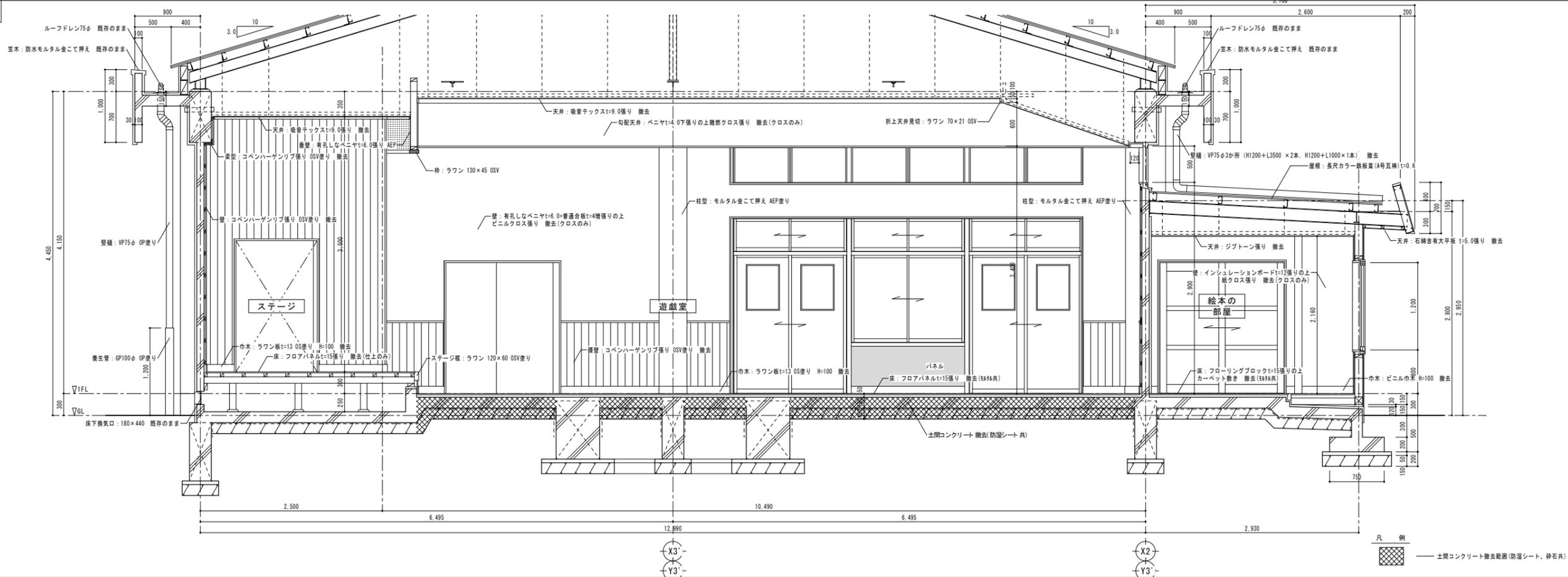
天井伏図 (改修後) S = 1 / 100

凡例

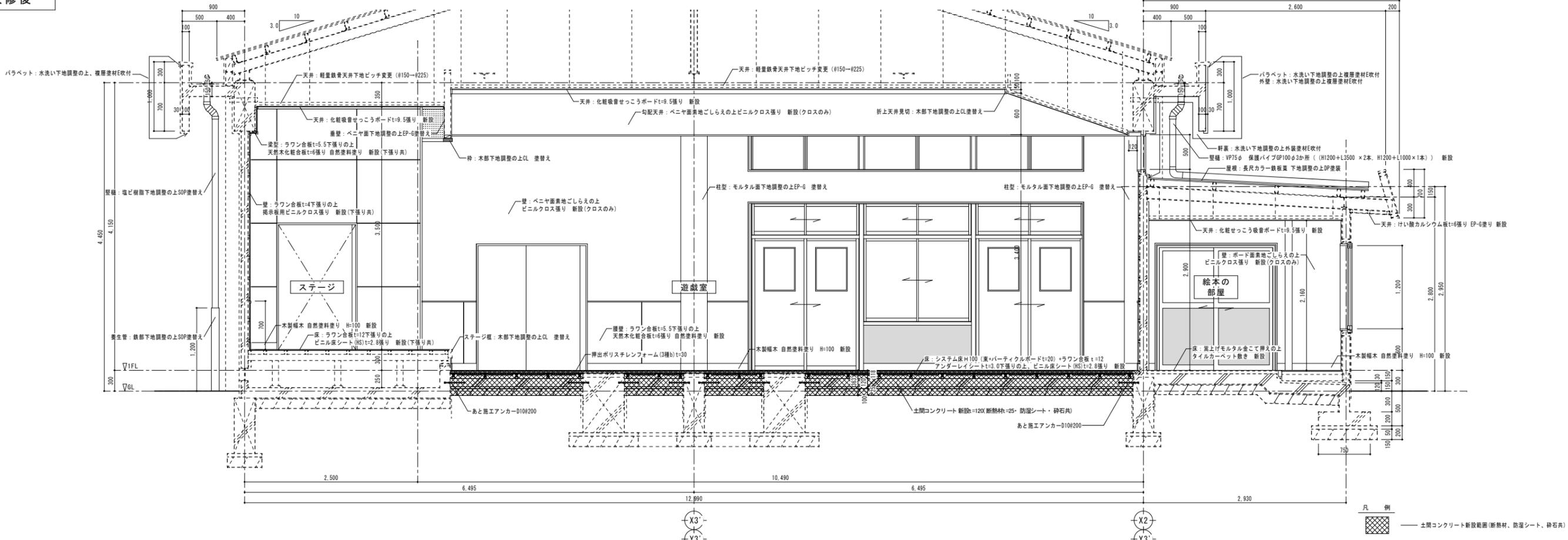
番号	仕上	番号	仕上
①	タイガードーンt=9.0張り	A	化粧せっこうボードt=9.5張り 新設
②	石綿含有大平板 t=5.0目透かし張り AEP 既存のまま	B	化粧せっこうボードt=9.5張り 新設
③	石綿含有大平板 t=5.0目透かし張り EP-G	C	けい酸カルシウム板t=6張り EP-G張り 新設
④	石綿含有大平板 t=5.0目透かし張り 既存のまま	D	既存ベニヤ面業地ごしらえの上ビニルクロス張り 新設
⑤	杉板ベニヤ底目地張り 既存のまま	E	梁型: 既存モルタル裏下地調整の上EP-G 塗替え
⑥	吸音テックスt=9.0張り 既存のまま	F	梁型: ラワン合板t=6張りの上天然木化粧合板t=6張り
⑦	ベニヤt=4.0下張りの上種継ぎ中央張り		自然塗料塗り 新設(下張り共)
⑧	モルタル刷毛引仕上げ 既存のまま	08(改修)	木製カーテンBOX下地調整の上O塗替え
⑨	梁型: モルタル金こて塗り AEP		
⑩	軒裏: コンクリート打放しアクリルシン吹付 既存のまま		
⑪	梁型: モルタル刷毛引アクリルシン吹付 既存のまま		
⑫	底裏: モルタル刷毛引アクリルシン吹付 既存のまま		
⑬	梁型: 木間継ぎの上コペンハーゲン張り GSV		
08	木製カーテンBOX		

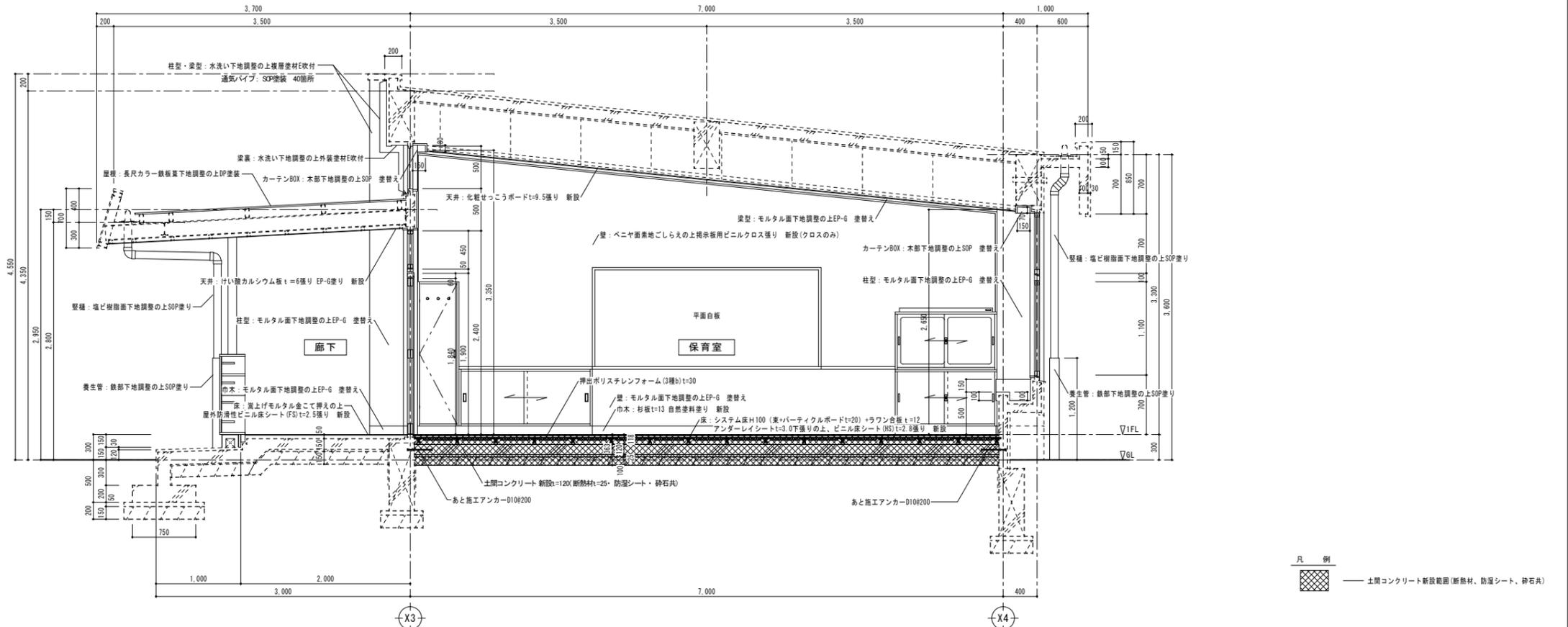
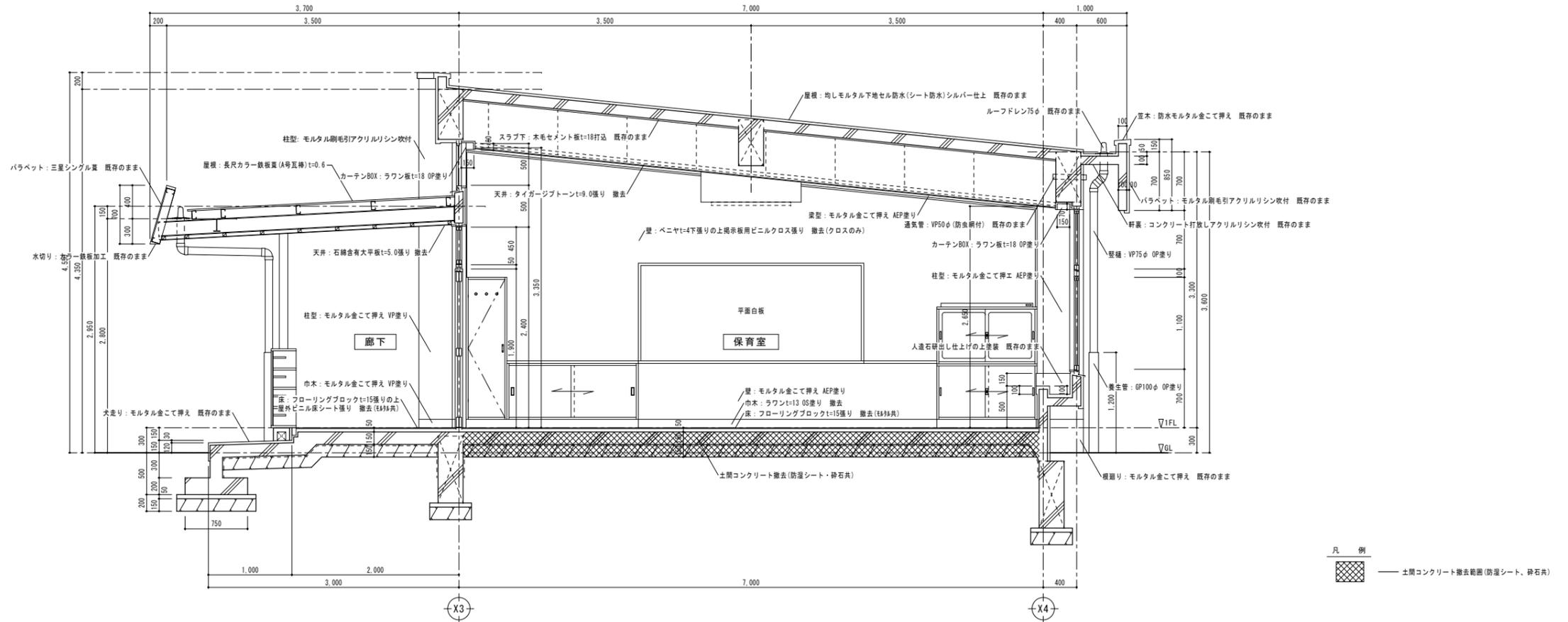
天井点検口450×450 新設
 天井仕上げ新設範囲 (下地調整の上)

改修前



改修後

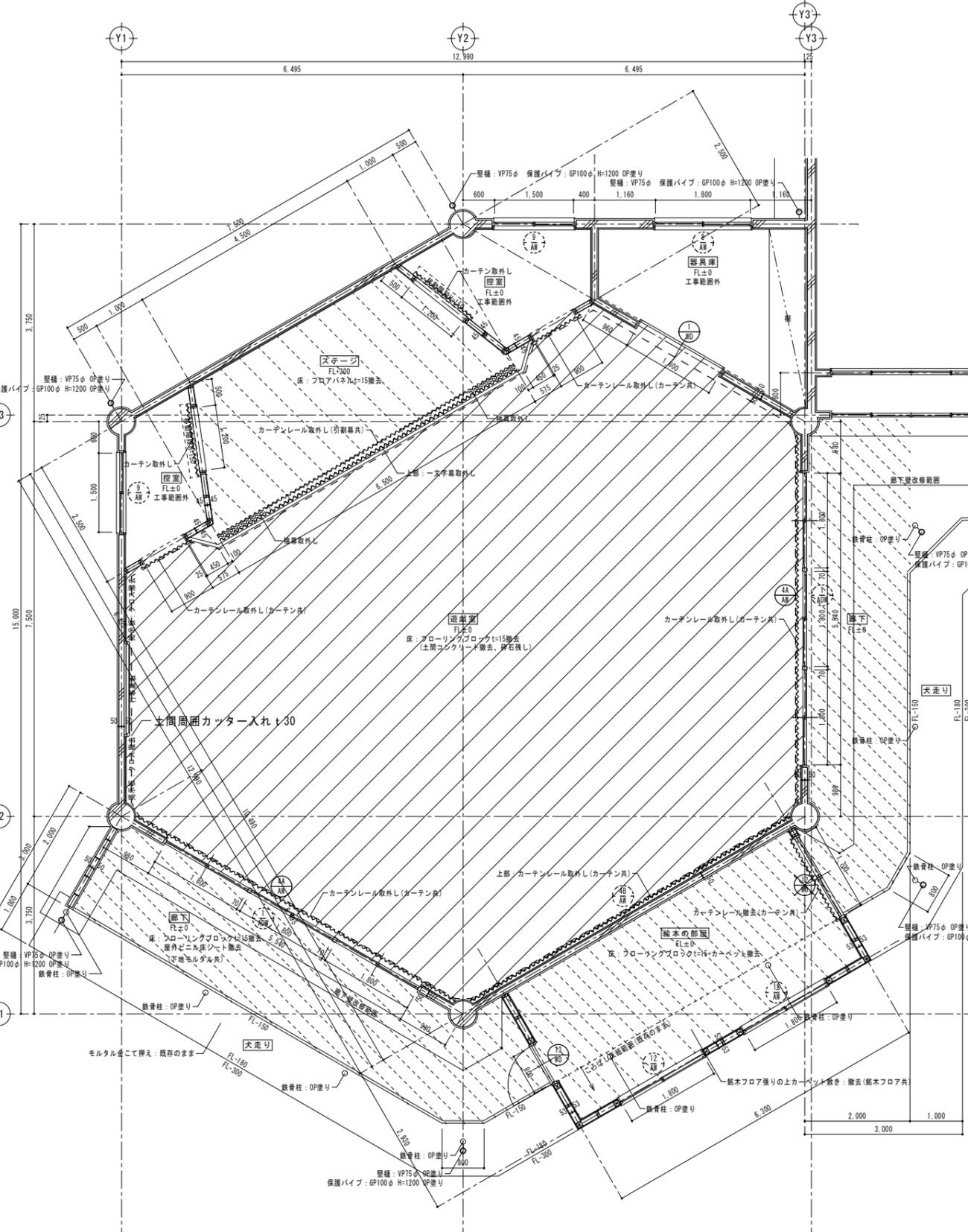




改修前

凡例

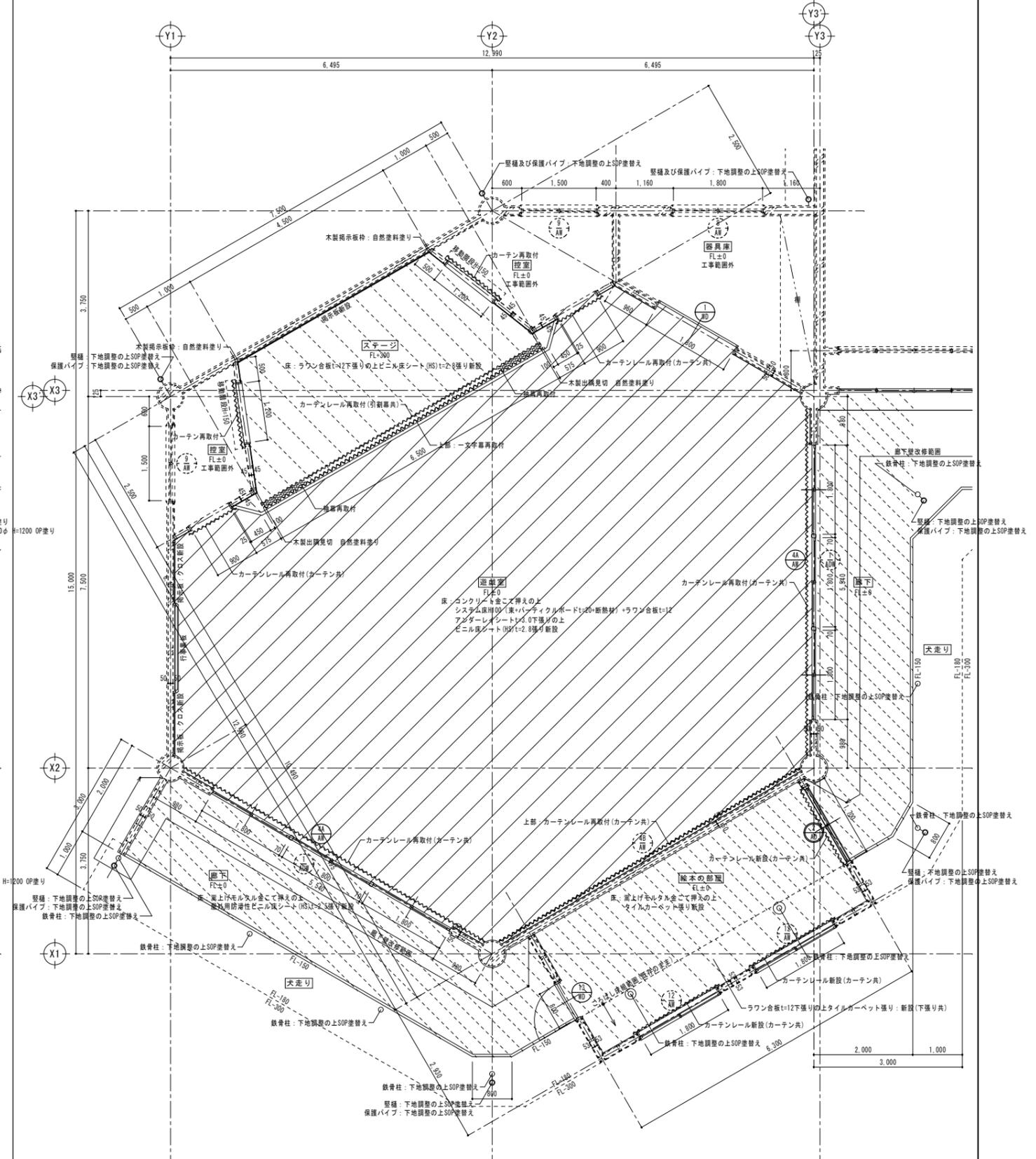
- 床解体撤去範囲(土間コンクリート、砕石共)
- 床仕上げ撤去範囲(下地モルタル共)
- 床仕上げ撤去範囲(仕上げのみ)
- 撤去物を示す。
- 鉄筋コンクリート壁
- 木組壁
- コンクリートブロック壁
- コンクリートブロック壁撤去範囲



改修後

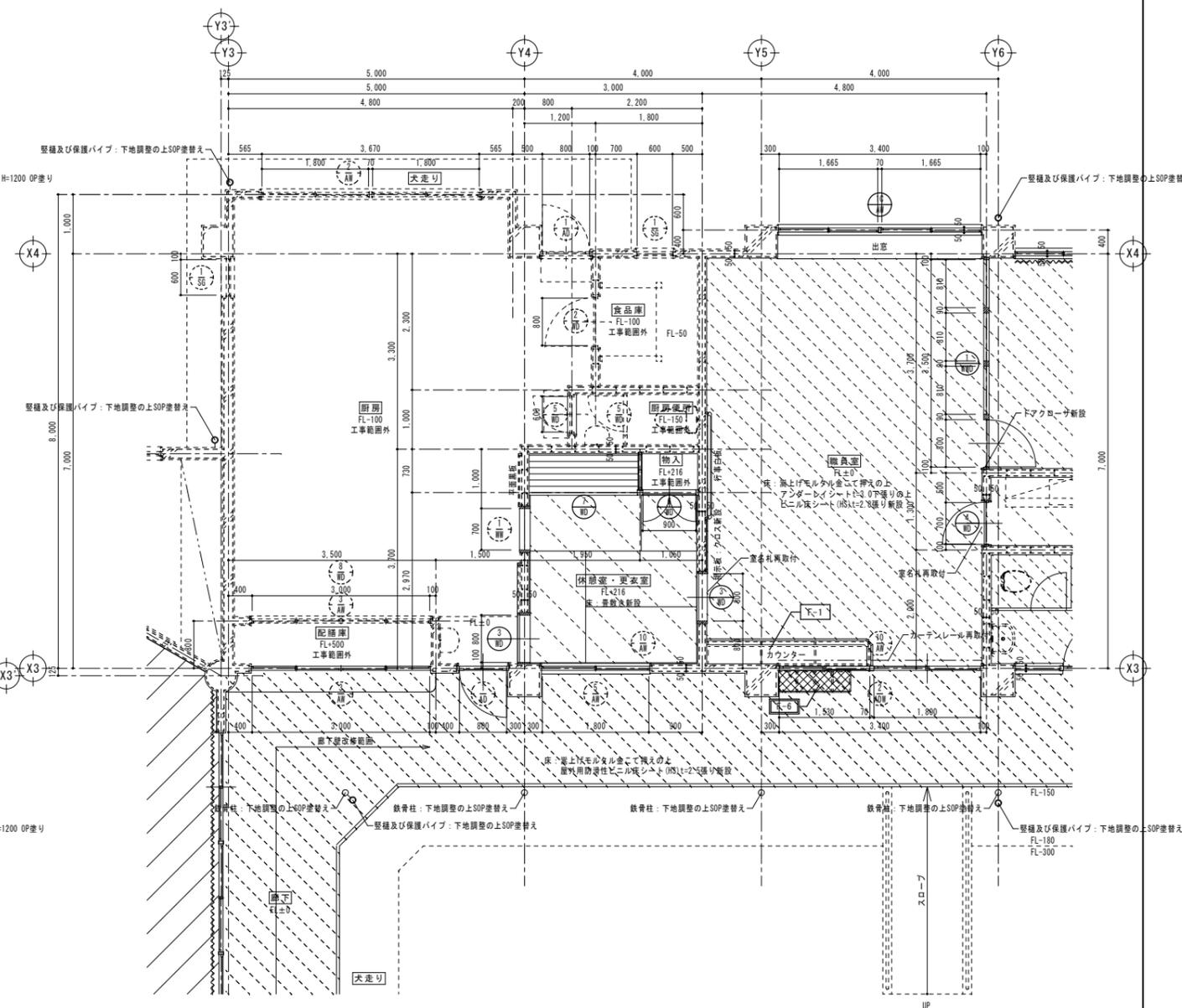
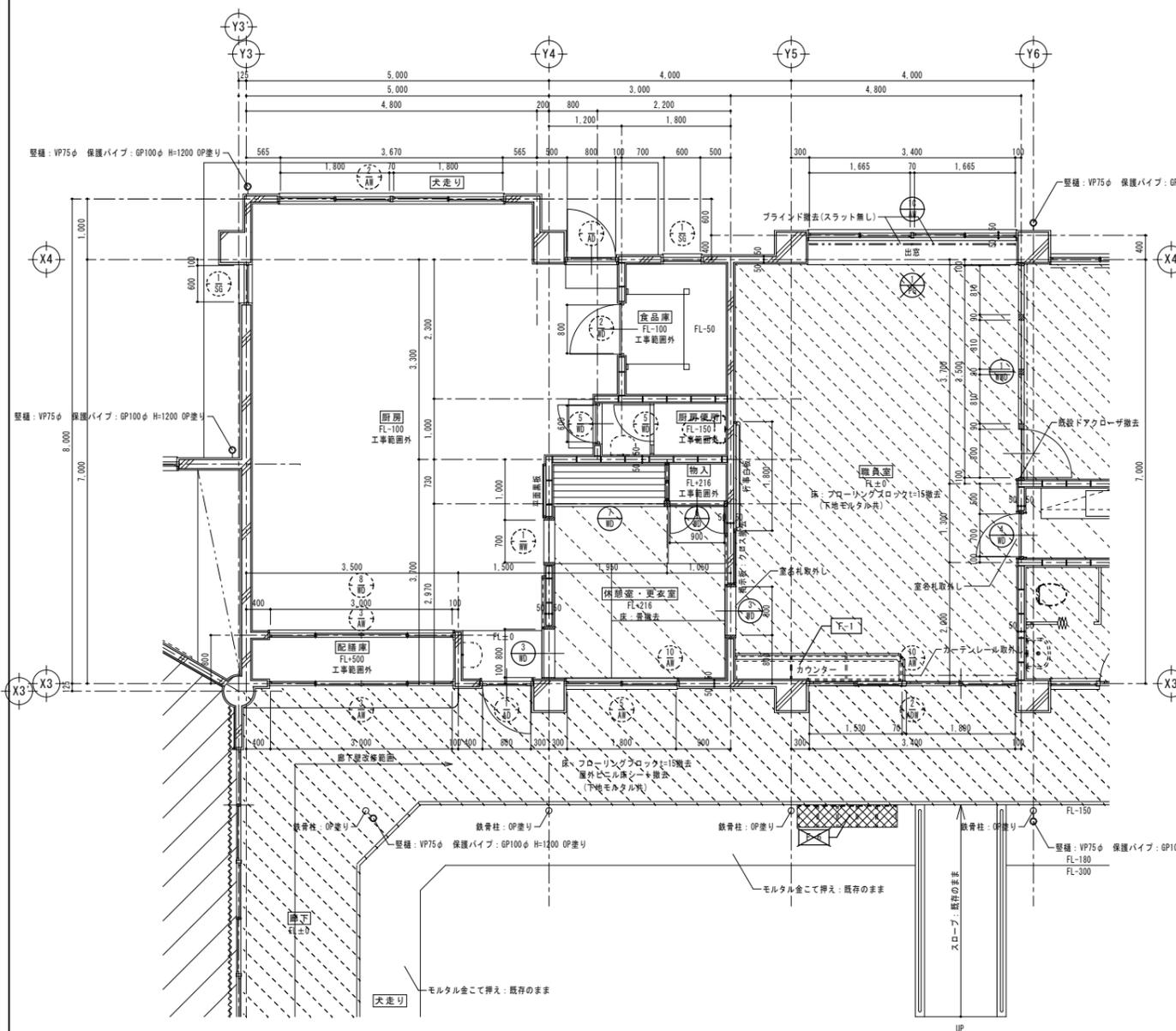
凡例

- 床新設範囲(土間コンクリート=120、システム床)
- 床仕上げ新設範囲(下地モルタル共)
- 床仕上げ新設範囲(仕上げのみ)
- 新設物を示す。
- 鉄筋コンクリート壁
- 木組壁
- コンクリートブロック壁
- LGS壁新設範囲



改修前

改修後



凡例

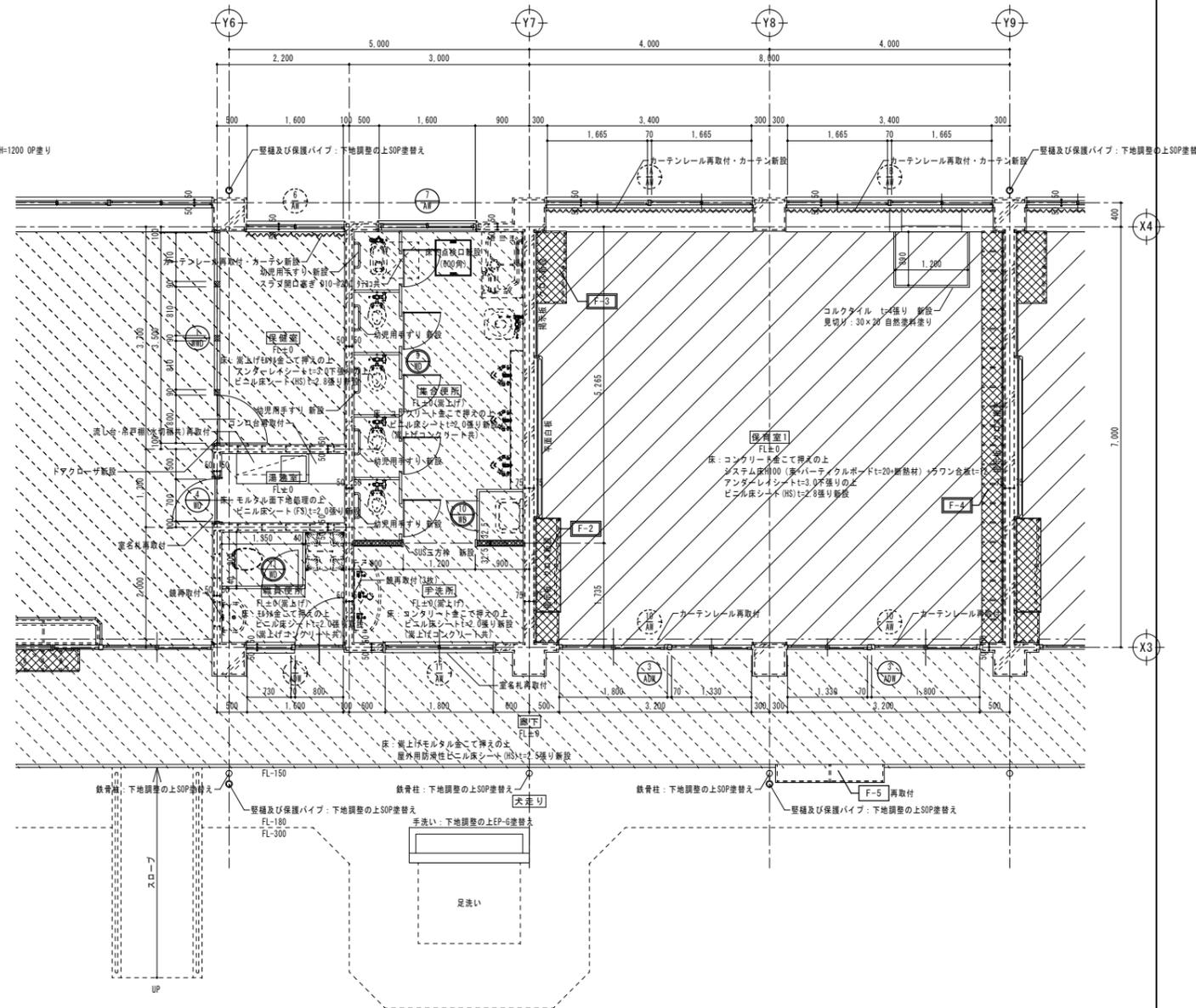
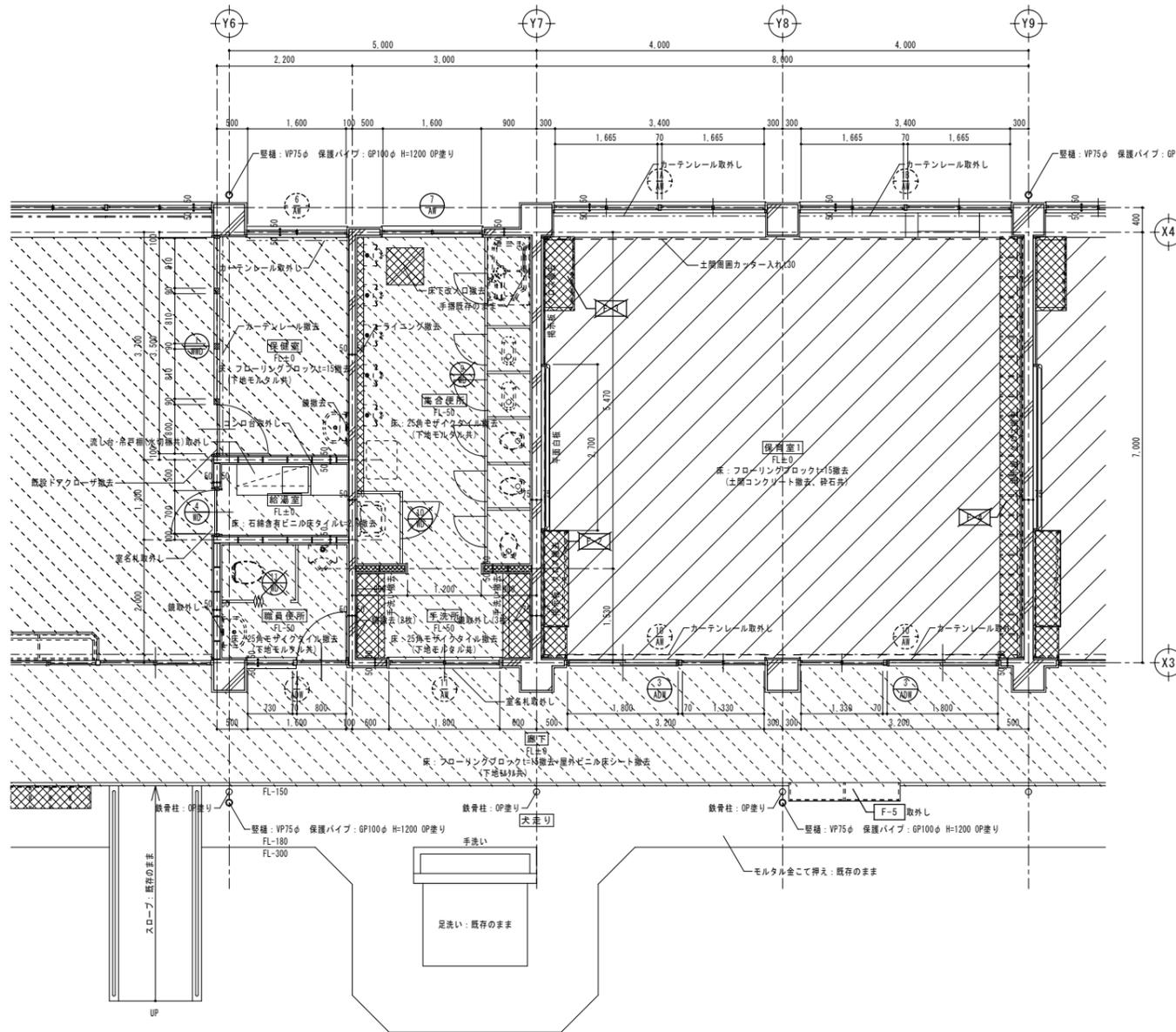
- 床解体撤去範囲(土間コンクリート、砕石共)
- 床仕上げ撤去範囲(下地モルタル共)
- 床仕上げ撤去範囲(仕上げのみ)
- 撤去物を示す。
- 鉄筋コンクリート壁
- 木組壁
- コンクリートブロック壁
- コンクリートブロック壁撤去範囲

凡例

- 床新設範囲(土間コンクリート=120、システム床)
- 床仕上げ新設範囲(下地モルタル共)
- 床仕上げ新設範囲(仕上げのみ)
- 新設物を示す。
- 鉄筋コンクリート壁
- 木組壁
- コンクリートブロック壁
- LGS壁新設範囲

改修前

改修後

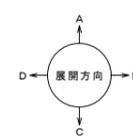
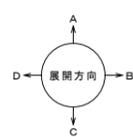


凡例

- 床解体撤去範囲(土間コンクリート、砕石共)
- 床仕上げ撤去範囲(下地モルタル共)
- 床仕上げ撤去範囲(仕上げのみ)
- 撤去物を示す。
- 鉄筋コンクリート壁
- 木組壁
- コンクリートブロック壁
- コンクリートブロック壁撤去範囲

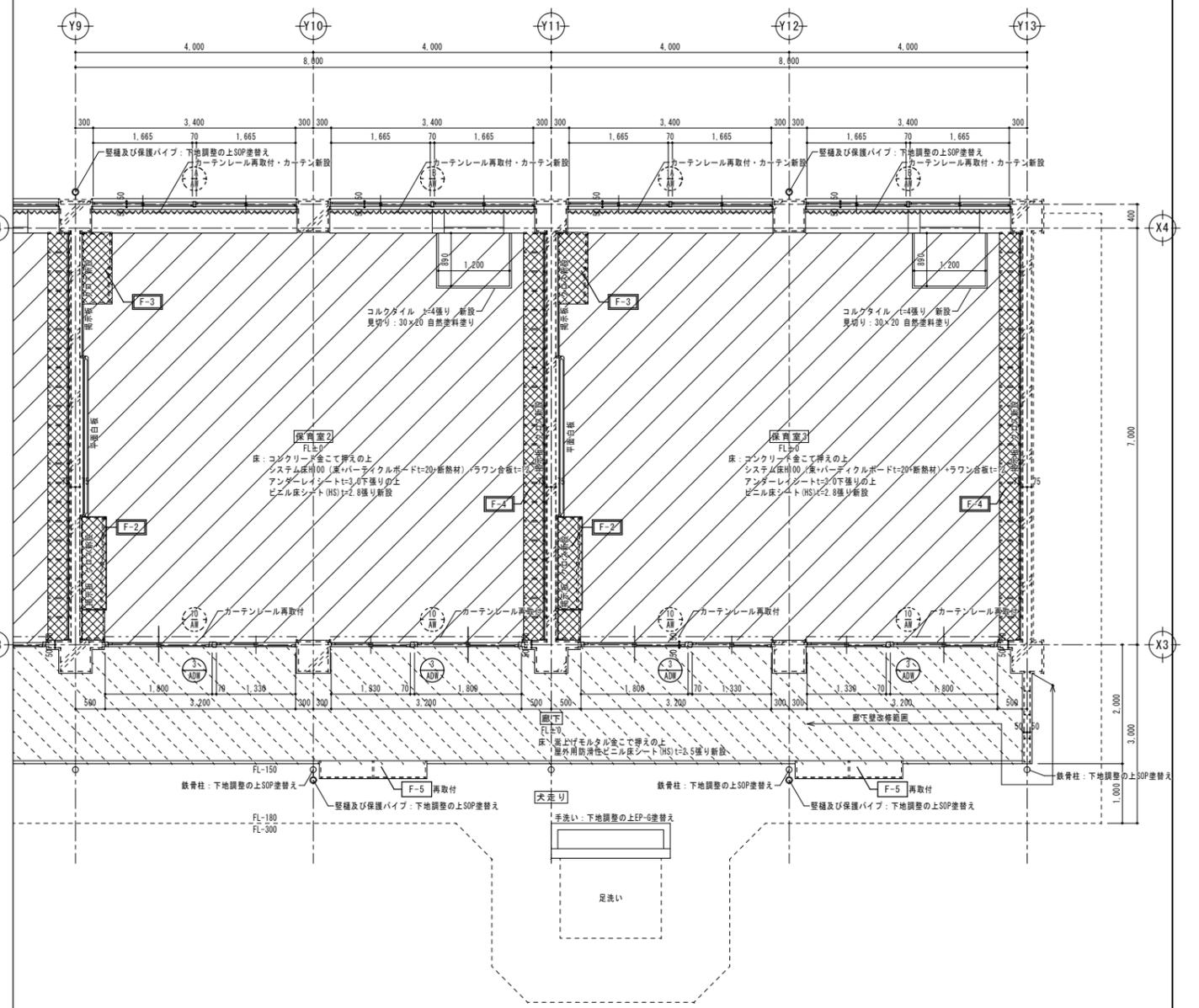
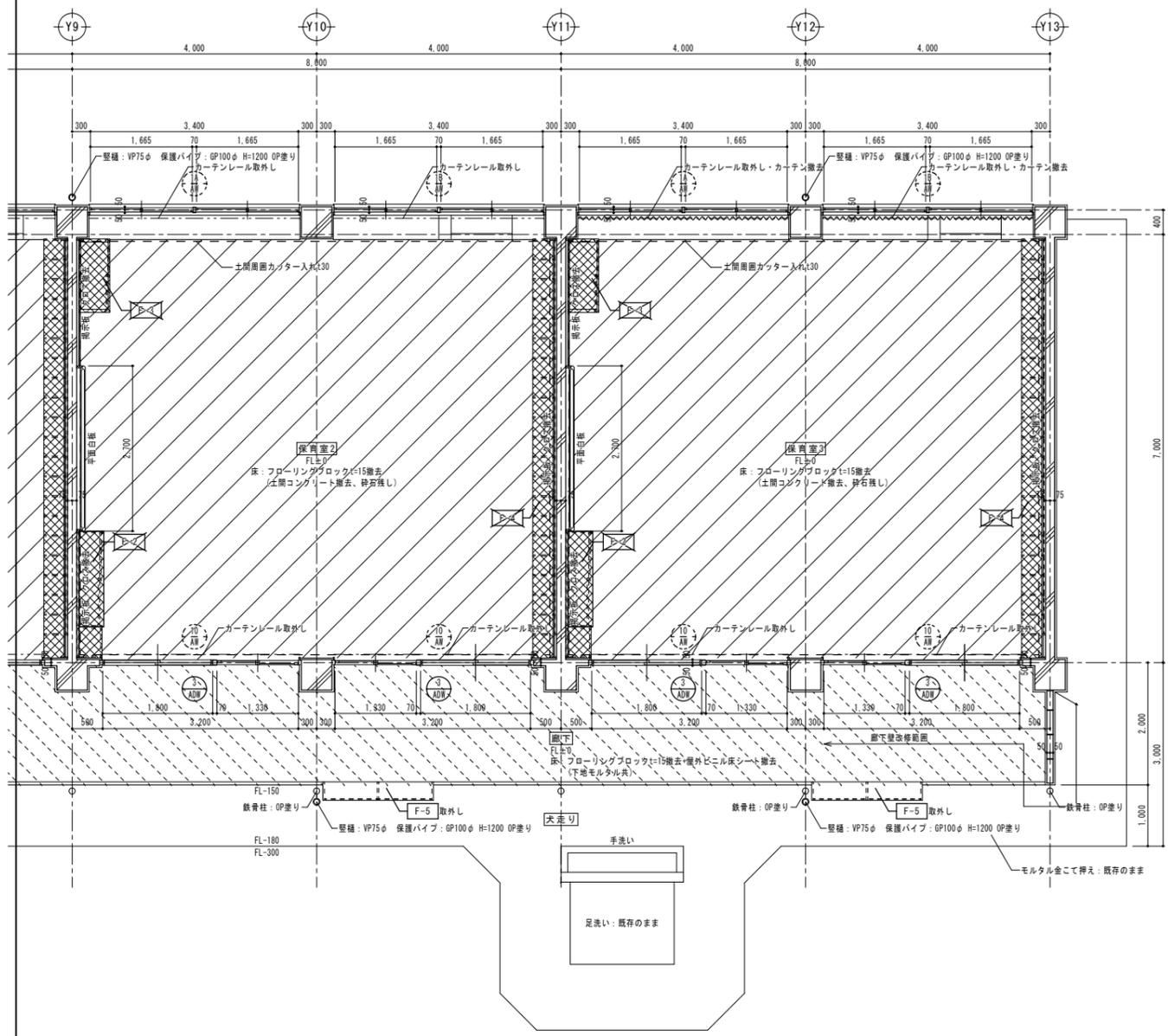
凡例

- 床新設範囲(土間コンクリートt=120、システム床)
- 床仕上げ新設範囲(下地モルタル共)
- 床仕上げ新設範囲(仕上げのみ)
- 新設物を示す。
- 鉄筋コンクリート壁
- 木組壁
- コンクリートブロック壁
- LGS壁新設範囲



改修前

改修後



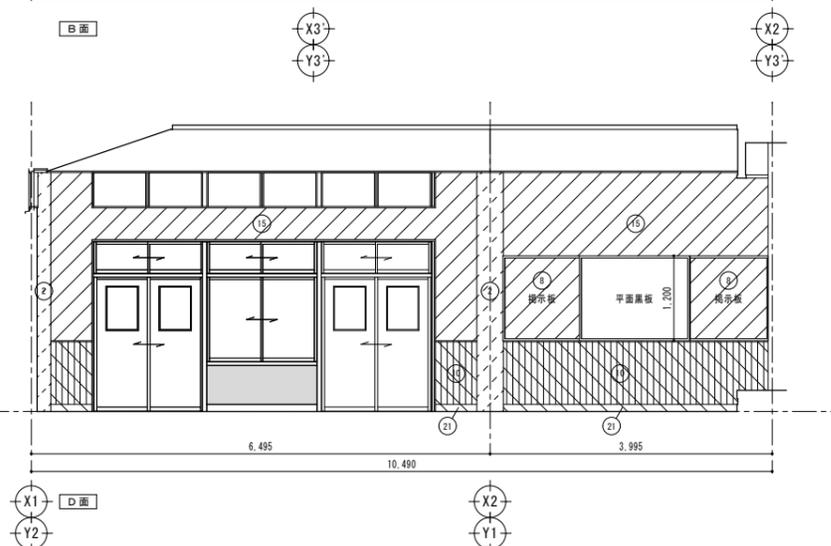
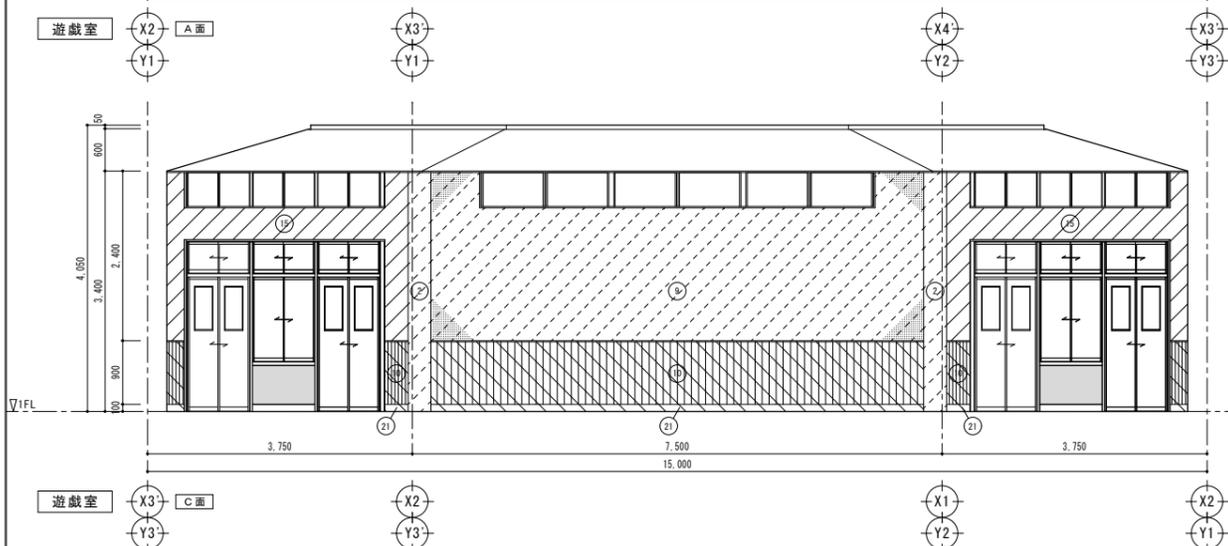
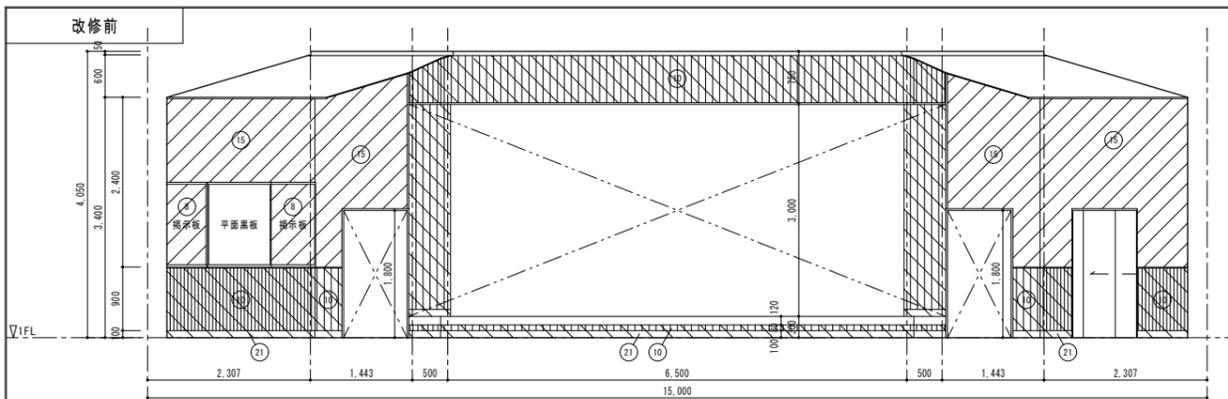
凡例

- 床解体撤去範囲(土間コンクリート、砕石共)
- 床仕上げ撤去範囲(下地モルタル共)
- 床仕上げ撤去範囲(仕上げのみ)
- 撤去物を示す。
- 鉄筋コンクリート壁
- 木組壁
- コンクリートブロック壁
- コンクリートブロック壁撤去範囲

凡例

- 床新設範囲(土間コンクリート=120、システム床+80)
- 床仕上げ新設範囲(下地モルタル共)
- 床仕上げ新設範囲(仕上げのみ)
- 新設物を示す。
- 鉄筋コンクリート壁
- 木組壁
- コンクリートブロック壁
- LGS壁新設範囲

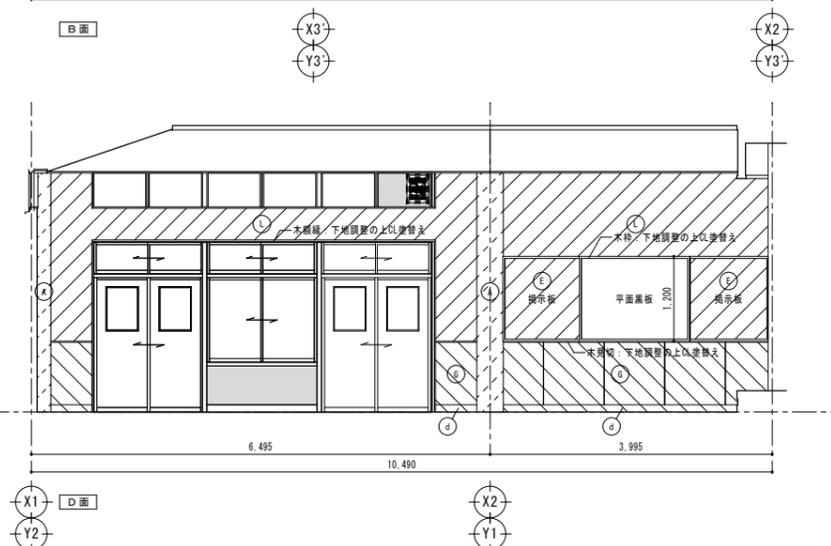
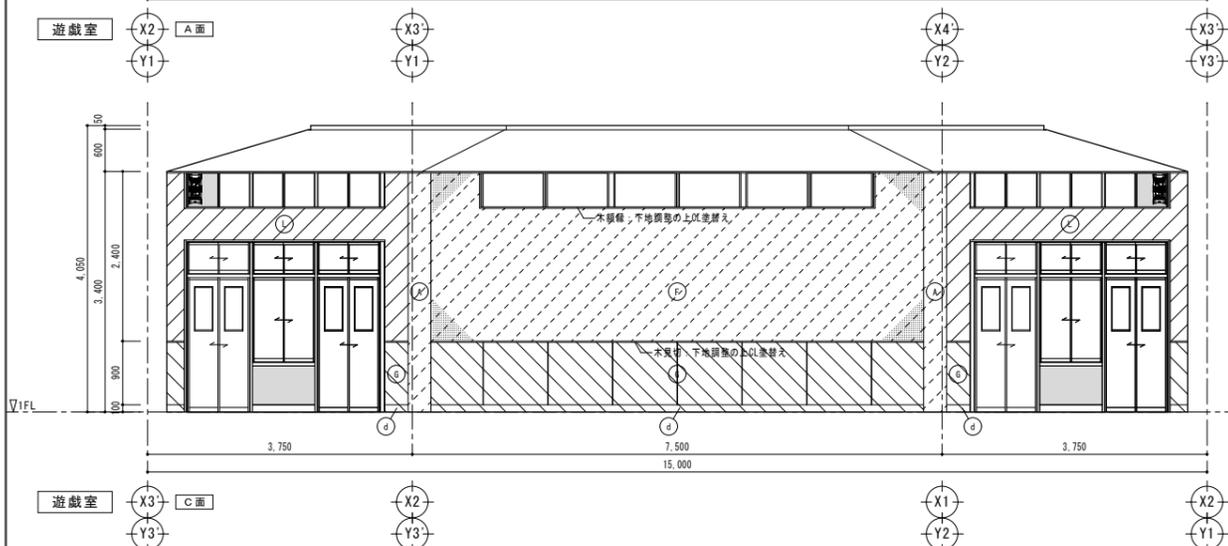
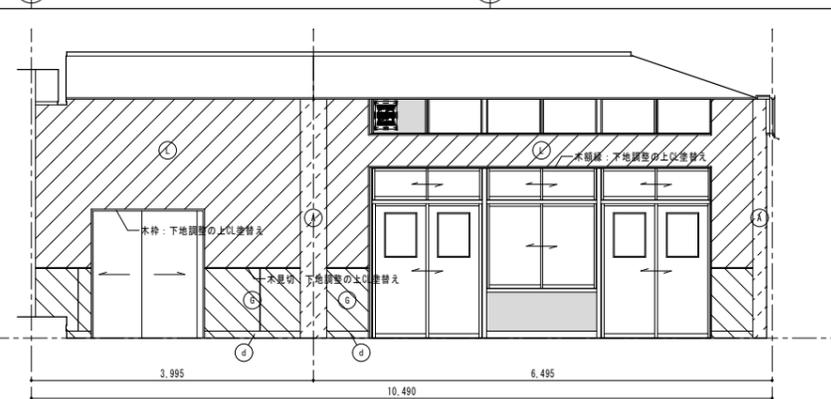
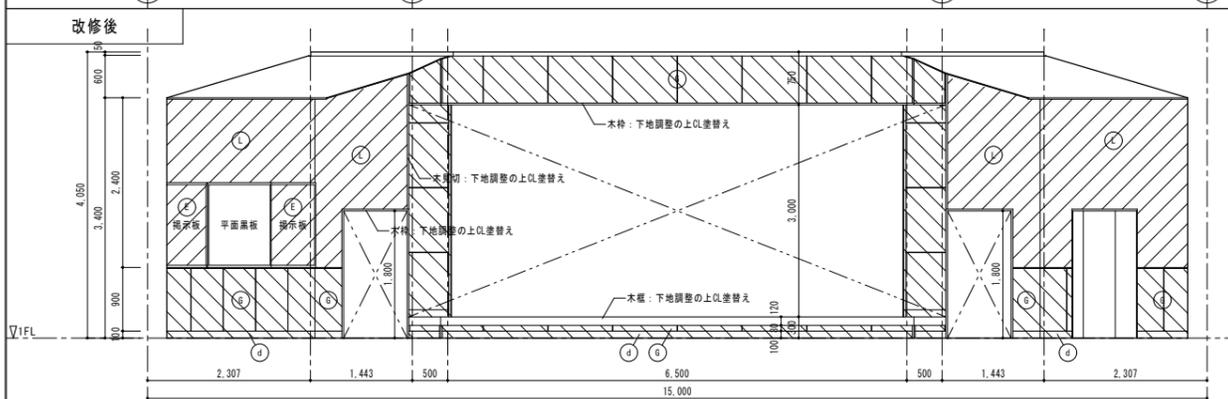




凡例

番号	仕上
1	モルタル金こて押え VP塗り
2	モルタル金こて押え AEP塗り
3	モルタル金こて押え OP塗り
4	下地モルタルの上100角タイル張り
5	モルタル金こて押えの上ジュラクサテン吹付
6	モルタル金こて押えの上種徳ビニルクロス(0織)張り
7	せっこうボードt=9下張の上種徳ビニルクロス(0織)張り
8	ベニヤt=4下張りの上掲赤板用ビニルクロス張り
9	有孔しなベニヤt=6 0張り AEP塗り
10	コベハークラフト張り OSV塗り
11	インシュレーションボードt=12張りの上織クロス張り
12	人造石研出し仕上げ
13	人造石研出し仕上げの上塗装
14	外装合板t=5張り
15	有孔しなベニヤt=6 0+普通合板t=4増張りの上ビニルクロス張り
16	モルタル金こて押えの上織クロス張り
17	普通合板張り SOP塗り
21	巾木：ラワン板t=13 OS塗り H=100
22	巾木：モルタル金こて押え VP塗り H=100
23	巾木：ビニル巾木 H=100

	コンクリートブロック壁撤去範囲
	壁仕上げ撤去範囲(下地モルタル共)
	壁仕上げ撤去範囲
	壁仕上げ撤去範囲(クロスのみ)
	壁仕上げ撤去範囲(仕上建材又は塗装)
	撤去物を示す。

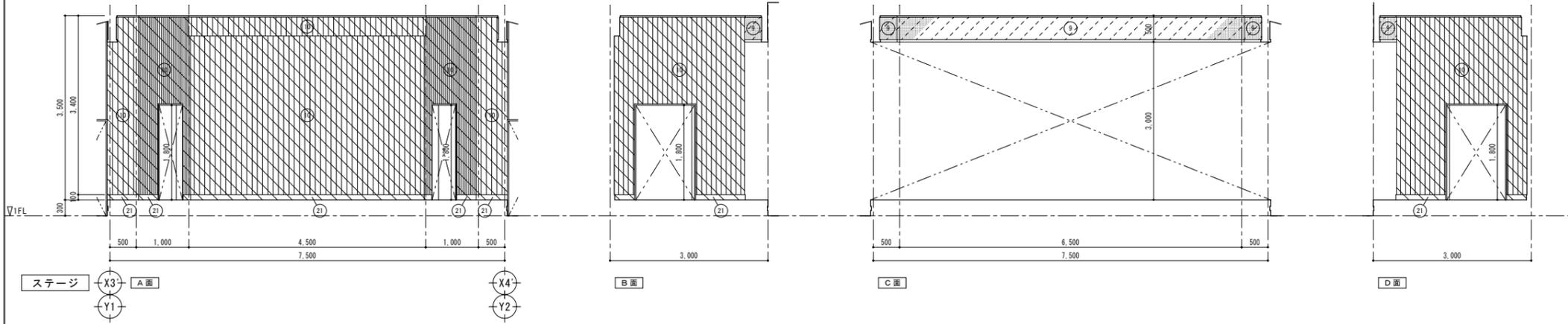


凡例

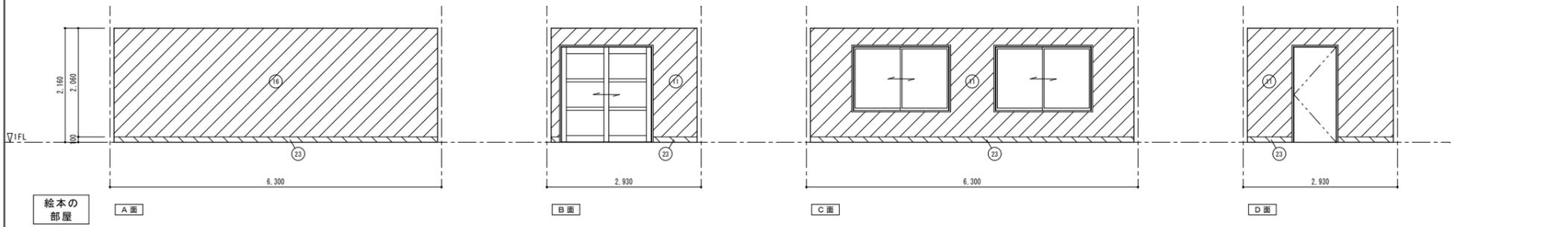
番号	仕上
4	下地モルタルの上100角タイル張り 既存のまま
12	人造石研出し仕上げ 既存のまま
13	人造石研出し仕上げの上塗装 既存のまま
14	外装合板t=5張り 既存のまま
A	モルタル面下地調整の上EP-6塗り 塗替え
B	下地モルタルの上100角タイル張り 新設(下地モルタル共)
C	モルタル面素地ごしらえの上ビニルクロス張り 新設(クロスのみ)
D	ボード面素地ごしらえの上ビニルクロス張り 新設(クロスのみ)
E	ベニヤ面素地ごしらえの上掲赤板用ビニルクロス張り 新設(クロスのみ)
F	ベニヤ面下地調整の上EP-6塗り 塗替え
G	ラワン合板t=5.5下張りの上天然木化粧合板t=6張り 自然塗料塗り 新設(下張り共)
H	せっこうボードt=12.5+いれ酸カルシウム板t=6張りの上EP-6塗り 新設(LSS壁共)
I	せっこうボードt=12.5張りの上100角タイル張り 新設(LSS壁共)
J	ラワン合板t=4下張りの上掲赤板用ビニルクロス張り 新設(下張り共)
K	ボード面素地ごしらえの上ビニルクロス張り 新設(クロスのみ)
L	ベニヤ面素地ごしらえの上ビニルクロス張り 新設(クロスのみ)
M	当て木のせっこうボードt=12.5張り 新設
N	縦目補修の上EP-6塗り
a	巾木：ラワン板面下地調整の上EP-6塗り H=100 塗替え
b	巾木：モルタル面下地調整の上EP-6塗り H=100 塗替え
c	巾木：ビニル巾木 H=100 新設
d	巾木：杉板 自然塗料塗り H=100 新設

	LSS壁下地新設範囲
	壁仕上げ新設範囲(下地モルタル共)
	壁仕上げ新設範囲
	壁仕上げ新設範囲(クロスのみ)
	壁仕上げ新設範囲(仕上建材又は塗装)
	新設物を示す。

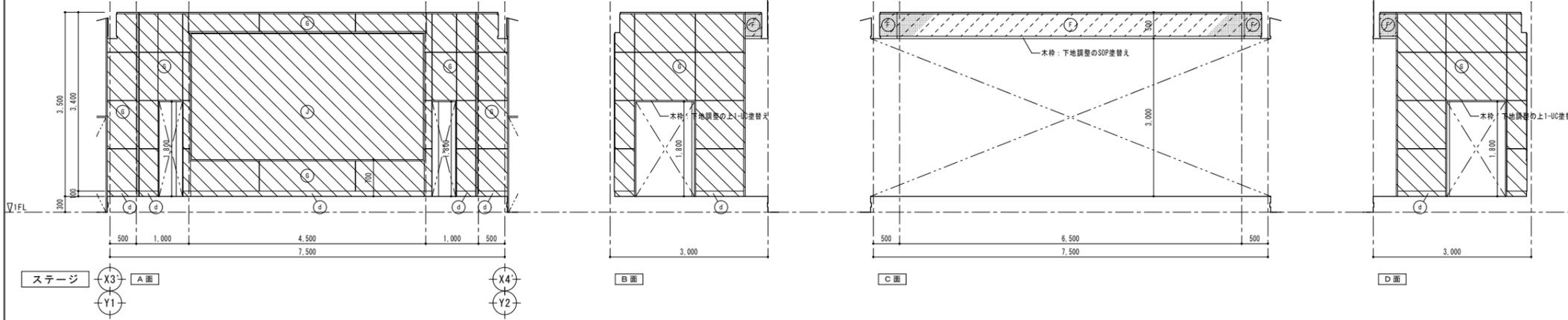
改修前



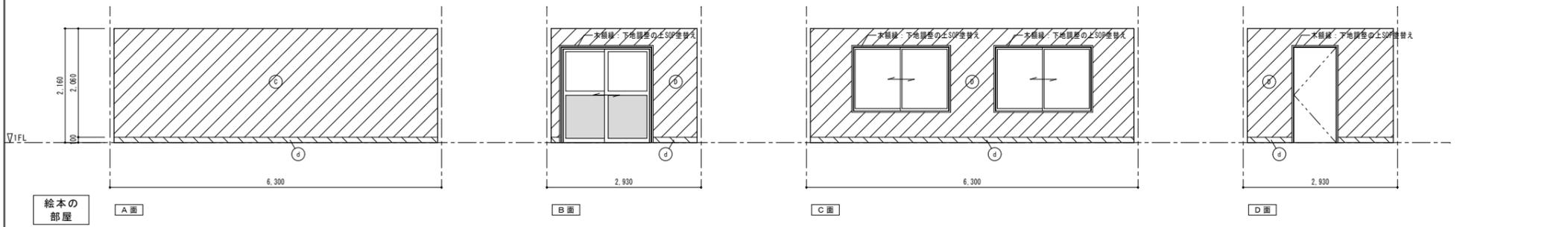
凡 例	仕 上
①	モルタル金こて押え VP塗り
②	モルタル金こて押え AEP塗り
③	モルタル金こて押え OP塗り
④	下地モルタルの上100角タイル張り
⑤	モルタル金こて押えの上ジュラクサテン吹付
⑥	モルタル金こて押えの上難燃ビニルクロス (0級)張り
⑦	せっこうボードt=9下張の上難燃ビニルクロス (0級)張り
⑧	ベニヤt=4下張りの上掲示板用ビニルクロス張り
⑨	有孔しなベニヤt=6 0張り AEP塗り
⑩	コペンハーゲンリブ張り OSV塗り
⑪	インシュレーションボードt=12張りの上紙クロス張り
⑫	人造石研出し仕上げ
⑬	人造石研出し仕上げの上塗装
⑭	外装合板t=5張り
⑮	有孔しなベニヤt=6・0+普通合板t=4増張りの上ビニルクロス張り
⑯	モルタル金こて押えの上紙クロス張り
⑰	普通合板張り SOP塗り
⑱	巾木：ラワン板t=13 OS塗り H=100
⑲	巾木：モルタル金こて押え VP塗り H=100
⑳	巾木：ビニル巾木 H=100



改修後

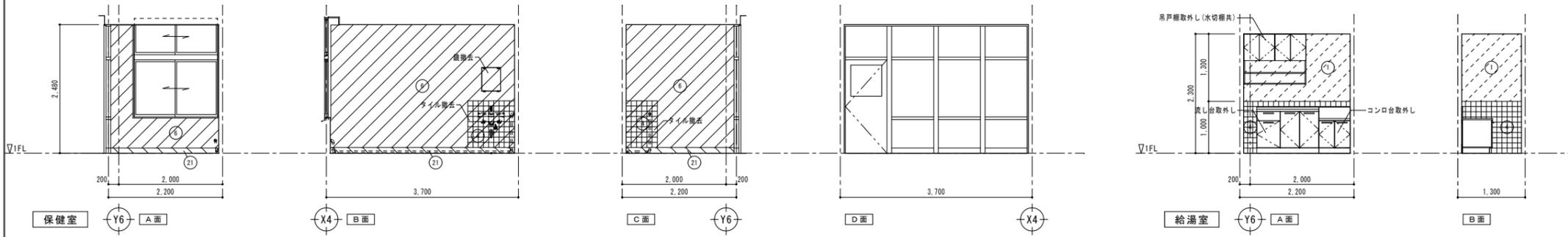


凡 例	仕 上
④	下地モルタルの上100角タイル張り 既存のまま
⑫	人造石研出し仕上げ 既存のまま
⑬	人造石研出し仕上げの上塗装 既存のまま
⑭	外装合板t=5張り 既存のまま
⑮	モルタル下地調整の上EP-6塗り 塗替え
⑯	下地モルタルの上100角タイル張り 新設(下地モルタル共)
⑰	モルタル面素地ごしらえの上ビニルクロス張り 新設(クロスのみ)
⑱	ボード面素地ごしらえの上ビニルクロス張り 新設(クロスのみ)
㉑	ベニヤ面素地ごしらえの上掲示板用ビニルクロス張り 新設(クロスのみ)
㉒	ベニヤ面下地調整の上EP-6塗り 塗替え
㉓	ラワン合板t=5.5下張りの上天然木化粧合板t=6張り 自然塗料塗り 新設(下張り共)
㉔	せっこうボードt=12.5+けい酸カルシウム板t=6張りの上EP-6塗り 新設(LGS壁共)
㉕	せっこうボードt=12.5張りの上100角タイル張り 新設(LGS壁共)
㉖	ラワン合板t=4下張りの上掲示板用ビニルクロス張り 新設(下張り共)
㉗	ボード面素地ごしらえの上ビニルクロス張り 新設(クロスのみ)
㉘	ベニヤ面素地ごしらえの上ビニルクロス張り 新設(クロスのみ)
㉙	当て木の上せっこうボードt=12.5張り 新設
㉚	縦目補修の上EP-6塗り
㉛	巾木：ラワン板下地調整の上OS塗り H=100 塗替え
㉜	巾木：モルタル下地調整の上EP-6塗り H=100 塗替え
㉝	巾木：ビニル巾木 H=100 新設
㉞	巾木：杉板 自然塗料塗り H=100 新設



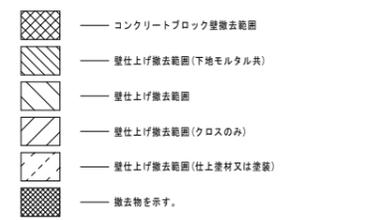


改修前

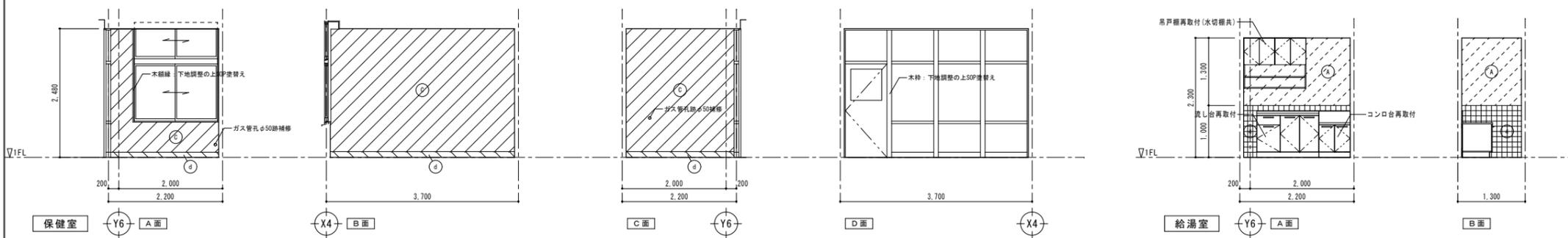


凡例

番号	仕上
①	モルタル金こて押え VP塗り
②	モルタル金こて押え AEP塗り
③	モルタル金こて押え OP塗り
④	下地モルタルの上100角タイル張り
⑤	モルタル金こて押えの上ジュラクサテン吹付
⑥	モルタル金こて押えの上種間ビニルクロス(0級)張り
⑦	せっこうボードt=9下張の上種間ビニルクロス(0級)張り
⑧	ベニヤt=4下張りの上掲示板用ビニルクロス張り
⑨	有孔しなベニヤt=6 0張り AEP塗り
⑩	コベニヤt=9張り OSV塗り
⑪	インシュレーションボードt=12張りの上縦クロス張り
⑫	人造石研出し仕上げ
⑬	人造石研出し仕上げの上塗装
⑭	外装合板t=5張り
⑮	有孔しなベニヤt=6 0+普通合板t=4増張りの上ビニルクロス張り
⑯	モルタル金こて押えの上縦クロス張り
⑰	普通合板張り SOP塗り
⑱	巾木：ラワン板t=13 OS塗り H=100
⑲	巾木：モルタル金こて押え VP塗り H=100
㉑	巾木：ビニル巾木 H=100

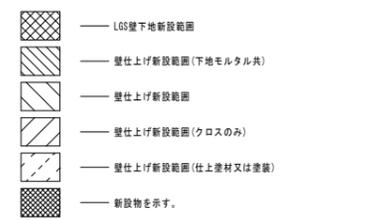


改修後

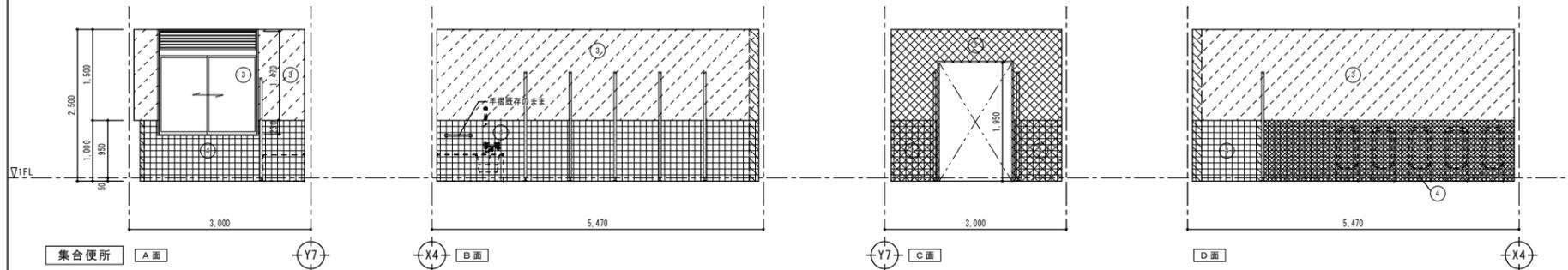
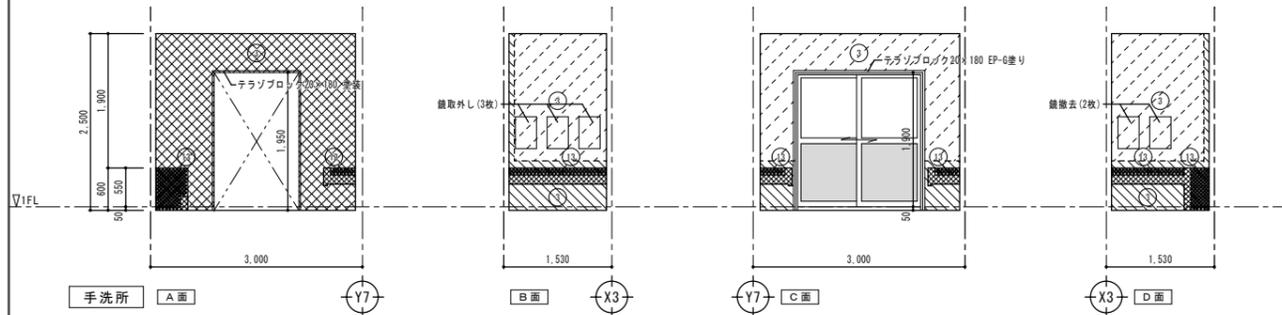


凡例

番号	仕上
④	下地モルタルの上100角タイル張り 既存のまま
⑫	人造石研出し仕上げ 既存のまま
⑬	人造石研出し仕上げの上塗装 既存のまま
⑭	外装合板t=5張り 既存のまま
A	モルタル下地調整の上EP-6塗り 塗替え
B	下地モルタルの上100角タイル張り 新設(下地モルタル共)
C	モルタル面素地ごしらえの上ビニルクロス張り 新設(クロスのみ)
D	ボード面素地ごしらえの上ビニルクロス張り 新設(クロスのみ)
E	ベニヤ面素地ごしらえの上掲示板用ビニルクロス張り 新設(クロスのみ)
F	ベニヤ面下地調整の上EP-6塗り 塗替え
G	ラワン合板t=5.5下張りの上天然木化粧合板t=6張り 自然塗料塗り 新設(下張り共)
H	せっこうボードt=12.5+けい酸カルシウム板t=6張りの上EP-6塗り 新設(LGS壁共)
I	せっこうボードt=12.5張りの上100角タイル張り 新設(LGS壁共)
J	ラワン合板t=4下張りの上掲示板用ビニルクロス張り 新設(下張り共)
K	ボード面素地ごしらえの上ビニルクロス張り 新設(クロスのみ)
L	ベニヤ面素地ごしらえの上ビニルクロス張り 新設(クロスのみ)
M	当て木のせっこうボードt=12.5張り 新設
N	縦目補修の上EP-6塗り
O	巾木：ラワン板下地調整の上OS塗り H=100 塗替え
P	巾木：モルタル下地調整の上EP-6塗り H=100 塗替え
Q	巾木：ビニル巾木 H=100 新設
R	巾木：杉板 自然塗料塗り H=100 新設



改修前

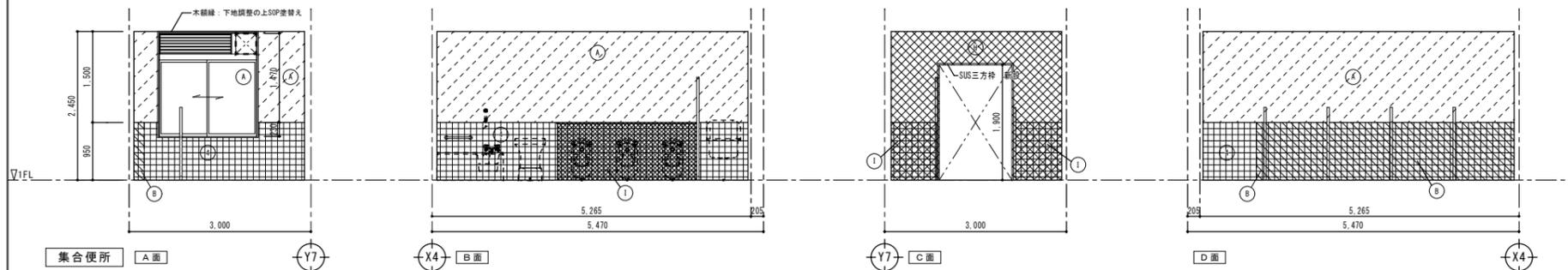
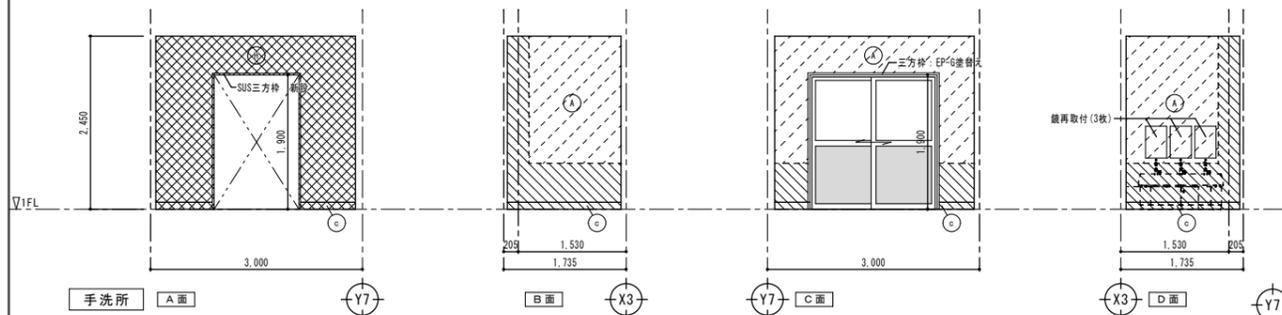


凡例

番号	仕上
①	モルタル金こて押え VP塗り
②	モルタル金こて押え AEP塗り
③	モルタル金こて押え OP塗り
④	下地モルタルの上100角タイル張り
⑤	モルタル金こて押えの上ジュラクサテン吹付
⑥	モルタル金こて押えの上種間ビニルクロス(0級)張り
⑦	せっこうボードt=9下張の上種間ビニルクロス(0級)張り
⑧	ベニヤt=4下張りの上掲示板用ビニルクロス張り
⑨	有孔しなベニヤt=6 0張り AEP塗り
⑩	コペンハーゲンt張り OSV塗り
⑪	インシュレーションボードt=12張りの上紙クロス張り
⑫	人造石研出し仕上げ
⑬	人造石研出し仕上げの上塗装
⑭	外装合板t=5張り
⑮	有孔しなベニヤt=6.0+普通合板t=4増張りの上ビニルクロス張り
⑯	モルタル金こて押えの上紙クロス張り
⑰	普通合板張り SOP塗り
⑱	巾木：ラワン板t=13 OS塗り H=100
⑲	巾木：モルタル金こて押え VP塗り H=100
⑳	巾木：ビニル巾木 H=100

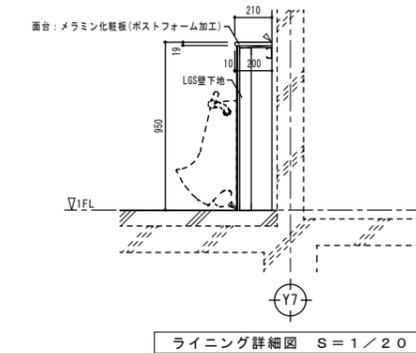
	コンクリートブロック壁撤去範囲
	壁仕上げ撤去範囲(下地モルタル共)
	壁仕上げ撤去範囲
	壁仕上げ撤去範囲(クロスのみ)
	壁仕上げ撤去範囲(仕上塗材又は塗装)
	撤去物を示す。

改修後

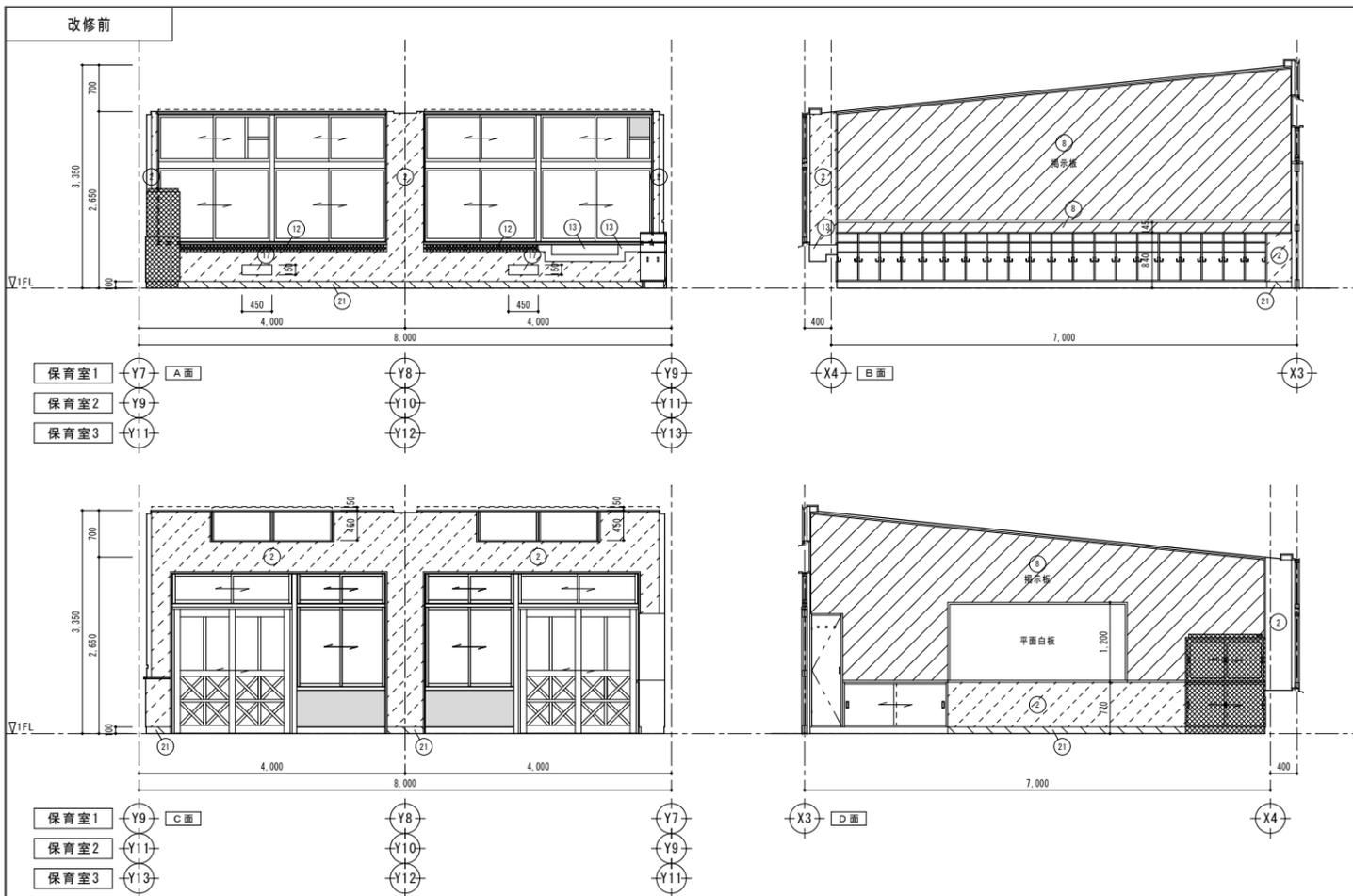


凡例

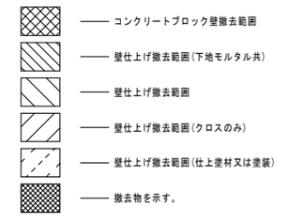
番号	仕上
④	下地モルタルの上100角タイル張り 既存のまま
⑫	人造石研出し仕上げ 既存のまま
⑬	人造石研出し仕上げの上塗装 既存のまま
⑭	外装合板t=5張り 既存のまま
⑰	モルタル面下地調整の上EP-6塗り 塗替え
⑱	下地モルタルの上100角タイル張り 新設(下地モルタル共)
⑲	モルタル面素地ごしらえの上ビニルクロス張り 新設(クロスのみ)
⑳	ボード面素地ごしらえの上ビニルクロス張り 新設(クロスのみ)
㉑	ベニヤ面素地ごしらえの上掲示板用ビニルクロス張り 新設(クロスのみ)
㉒	ベニヤ面下地調整の上EP-6塗り 塗替え
㉓	ラワン合板t=5.5下張りの上天然木化粧合板t=6張り 自然塗料塗り
㉔	新設(下張り共)
㉕	せっこうボードt=12.5+けい酸カルシウム板t=6張りの上EP-6塗り
㉖	新設(LSS壁共)
㉗	せっこうボードt=12.5張りの上100角タイル張り 新設(LSS壁共)
㉘	ラワン合板t=4下張りの上掲示板用ビニルクロス張り 新設(下張り共)
㉙	ボード面素地ごしらえの上ビニルクロス張り 新設(クロスのみ)
㉚	ベニヤ面素地ごしらえの上ビニルクロス張り 新設(クロスのみ)
㉛	当て木の上せっこうボードt=12.5張り 新設
㉜	継目補修の上EP-6塗り
㉝	巾木：ラワン板面下地調整の上OS塗り H=100 塗替え
㉞	巾木：モルタル面下地調整の上EP-6塗り H=100 塗替え
㉟	巾木：ビニル巾木 H=100 新設
㊱	巾木：杉板 自然塗料塗り H=100 新設



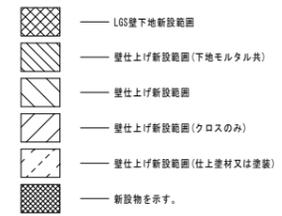
	LSS壁下地新設範囲
	壁仕上げ新設範囲(下地モルタル共)
	壁仕上げ新設範囲
	壁仕上げ新設範囲(クロスのみ)
	壁仕上げ新設範囲(仕上塗材又は塗装)
	新設物を示す。



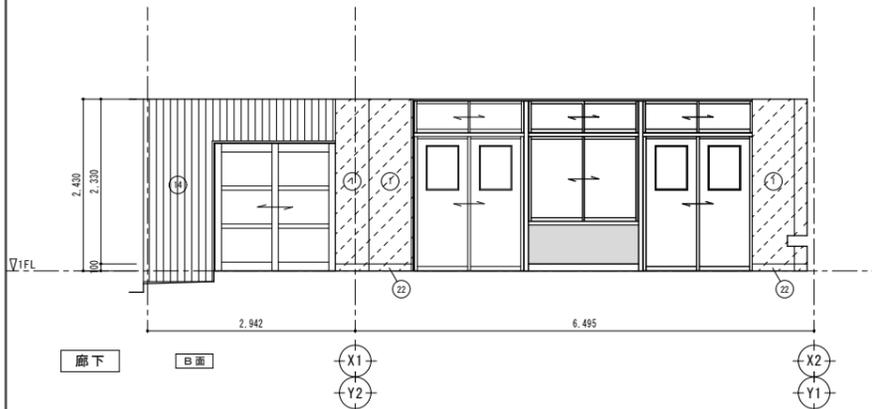
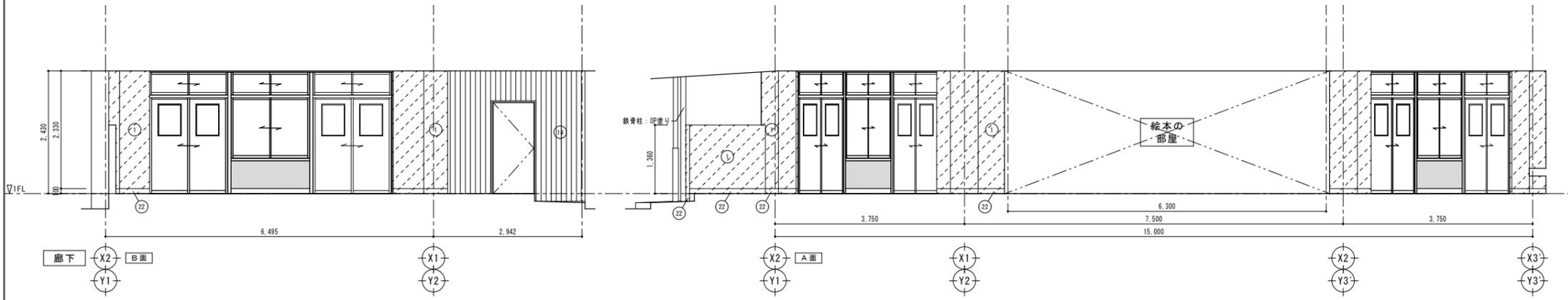
番号	仕上
①	モルタル金こて押え VP塗り
②	モルタル金こて押え AEP塗り
③	モルタル金こて押え OP塗り
④	下地モルタルの上100角タイル張り
⑤	モルタル金こて押えの上ジュラクサテン吹付
⑥	モルタル金こて押えの上種間ビニルクロス(0織)張り
⑦	せっこうボードt=9下張りの上種間ビニルクロス(0織)張り
⑧	ベニヤt=4下張りの上掲示板用ビニルクロス張り
⑨	有孔しなベニヤt=6 OP張り AEP塗り
⑩	コベハゲンゾリ張り OSV塗り
⑪	インシュレーションボードt=12張りの上紙クロス張り
⑫	人造石研出し仕上げ
⑬	人造石研出し仕上げの上塗装
⑭	外装合板t=5張り
⑮	有孔しなベニヤt=6・0普通合板t=4増張りの上ビニルクロス張り
⑯	モルタル金こて押えの上紙クロス張り
⑰	普通合板張り SOP塗り
⑱	巾木：ラワン板t=13 OS塗り H=100
⑳	巾木：モルタル金こて押え VP塗り H=100
㉑	巾木：ビニル巾木 H=100



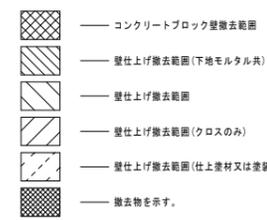
番号	仕上
④	下地モルタルの上100角タイル張り 既存のまま
⑫	人造石研出し仕上げ 既存のまま
⑬	人造石研出し仕上げの上塗装 既存のまま
⑭	外装合板t=5張り 既存のまま
⑯	モルタル下地調整の上EP-6塗り 塗替え
⑰	下地モルタルの上100角タイル張り 新設(下地モルタル共)
⑱	モルタル面素地ごしらえの上ビニルクロス張り 新設(クロスのみ)
㉑	ボード面素地ごしらえの上ビニルクロス張り 新設(クロスのみ)
㉒	ベニヤ面素地ごしらえの上掲示板用ビニルクロス張り 新設(クロスのみ)
㉓	ベニヤ面下地調整の上EP-6塗り 塗替え
㉔	ラワン合板t=5.5下張りの上天然木化粧合板t=6張り 自然塗料塗り
㉕	新設(下張り共)
㉖	せっこうボードt=12.5+けい酸カルシウム板t=6張りの上EP-6塗り
㉗	新設(LGS壁共)
㉘	せっこうボードt=12.5張りの上100角タイル張り 新設(LGS壁共)
㉙	ラワン合板t=4下張りの上掲示板用ビニルクロス張り 新設(下張り共)
㉚	ボード面素地ごしらえの上ビニルクロス張り 新設(クロスのみ)
㉛	ベニヤ面素地ごしらえの上ビニルクロス張り 新設(クロスのみ)
㉜	当て木の上せっこうボードt=12.5張り 新設
㉝	継目補修の上EP-6塗り
㉞	巾木：ラワン板面下地調整の上OS塗り H=100 塗替え
㉟	巾木：モルタル面下地調整の上EP-6塗り H=100 塗替え
㊱	巾木：ビニル巾木 H=100 新設
㊲	巾木：杉板 自然塗料塗り H=100 新設



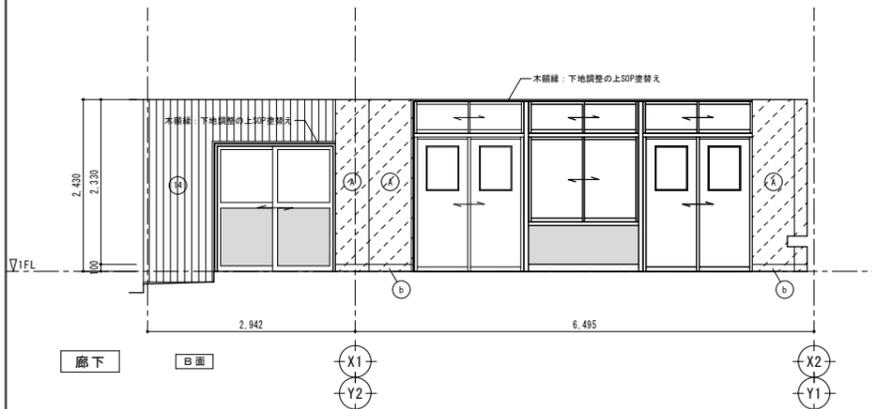
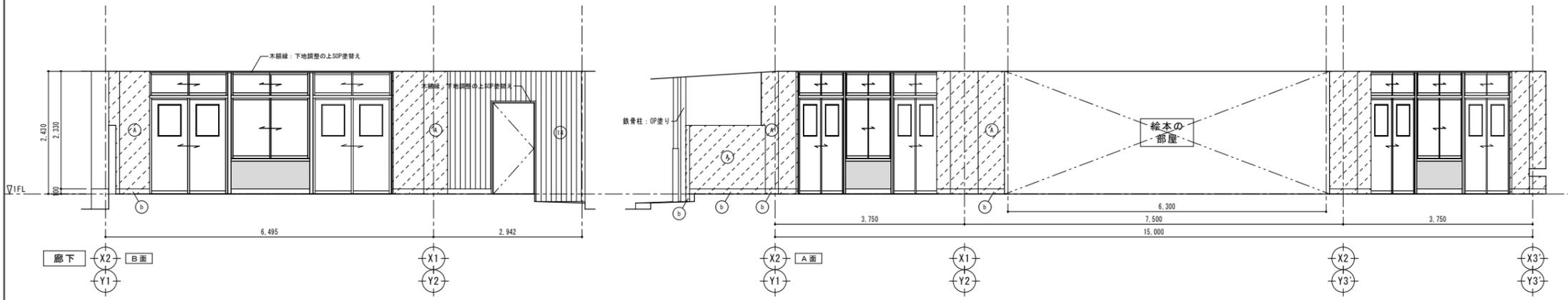
改修前



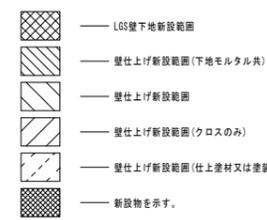
凡 例	番 号	仕 上
①	モルタル金こて押え VP塗り	
②	モルタル金こて押え AEP塗り	
③	モルタル金こて押え OP塗り	
④	下地モルタルの上100角タイル張り	
⑤	モルタル金こて押えの上ジュラクサテン吹付	
⑥	モルタル金こて押えの上種徳ビニルクロス (0級)張り	
⑦	せっこうボードt=9下張の上種徳ビニルクロス (0級)張り	
⑧	ベニヤt=4下張りの上掲示板用ビニルクロス張り	
⑨	有孔しなベニヤt=6 0張り AEP塗り	
⑩	コペンハーゲンリブ張り OSV張り	
⑪	インシュレーションボードt=12張りの上縦クロス張り	
⑫	人造石研出し仕上げ	
⑬	人造石研出し仕上げの上塗装	
⑭	外装合板t=5張り	
⑮	有孔しなベニヤt=6・0+普通合板t=4増張りの上ビニルクロス張り	
⑯	モルタル金こて押えの上縦クロス張り	
⑰	普通合板張り SOP塗り	
⑱	巾木：ラワン板t=13 OS塗り H=100	
⑲	巾木：モルタル金こて押え VP塗り H=100	
⑳	巾木：ビニル巾木 H=100	



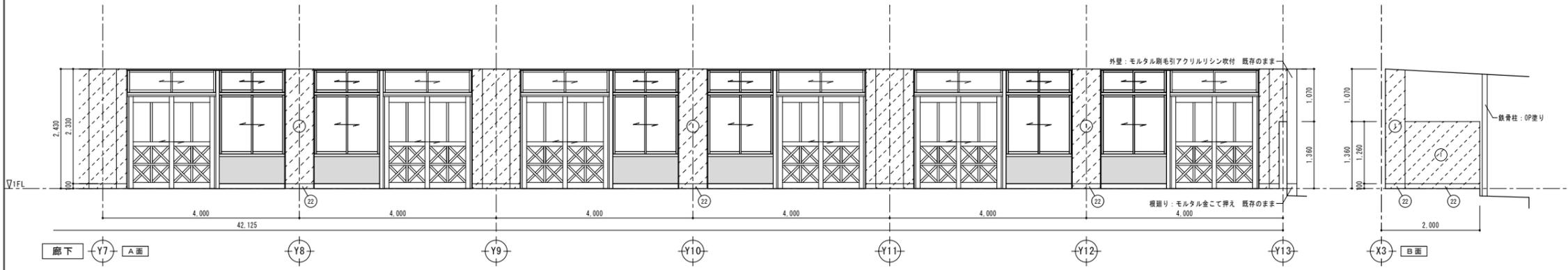
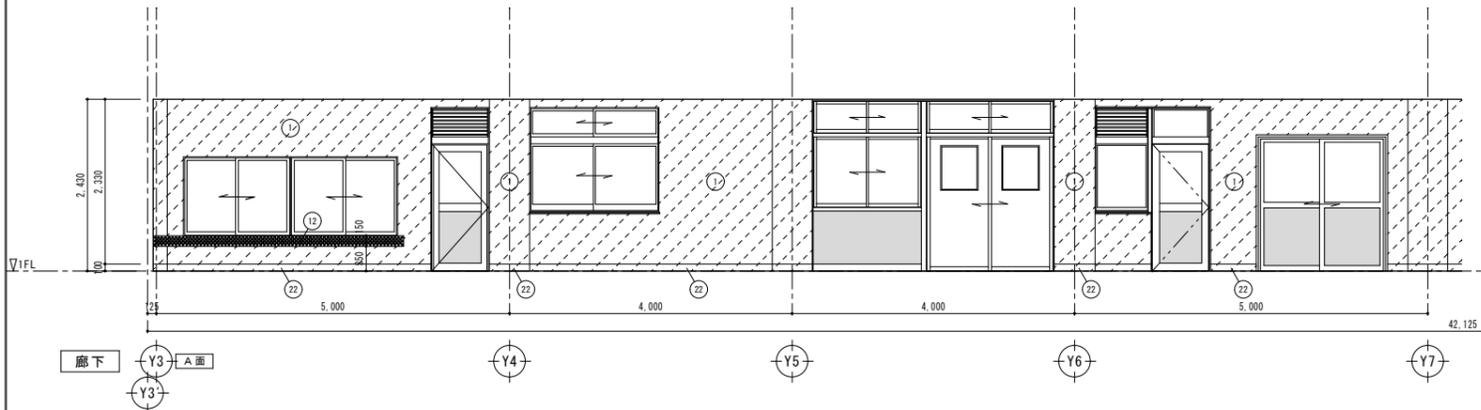
改修後



凡 例	番 号	仕 上
④	下地モルタルの上100角タイル張り 既存のまま	
⑫	人造石研出し仕上げ 既存のまま	
⑬	人造石研出し仕上げの上塗装 既存のまま	
⑭	外装合板t=5張り 既存のまま	
A	モルタル下地調整の上EP-6塗り 塗替え	
B	下地モルタルの上100角タイル張り 新設(下地モルタル共)	
C	モルタル面素地ごしらえの上ビニルクロス張り 新設(クロスのみ)	
D	ボード面素地ごしらえの上ビニルクロス張り 新設(クロスのみ)	
E	ベニヤ面素地ごしらえの上掲示板用ビニルクロス張り 新設(クロスのみ)	
F	ベニヤ面下地調整の上EP-6塗り 塗替え	
G	ラワン合板t=5.5下張りの上天然木化粧合板t=6張り 自然塗料塗り 新設(下張り共)	
H	せっこうボードt=12.5+けい酸カルシウム板t=6張りの上EP-6塗り 新設(LGS壁共)	
I	せっこうボードt=12.5張りの上100角タイル張り 新設(LGS壁共)	
J	ラワン合板t=4下張りの上掲示板用ビニルクロス張り 新設(下張り共)	
K	ボード面素地ごしらえの上ビニルクロス張り 新設(クロスのみ)	
L	ベニヤ面素地ごしらえの上ビニルクロス張り 新設(クロスのみ)	
M	当て木の上せっこうボードt=12.5張り 新設	
N	縦目補修の上EP-6塗り	
a	巾木：ラワン板面下地調整の上CL塗り H=100 塗替え	
b	巾木：モルタル下地調整の上EP-6塗り H=100 塗替え	
c	巾木：ビニル巾木 H=100 新設	
d	巾木：杉板 自然塗料塗り H=100 新設	

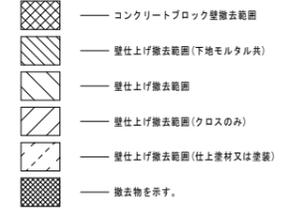


改修前

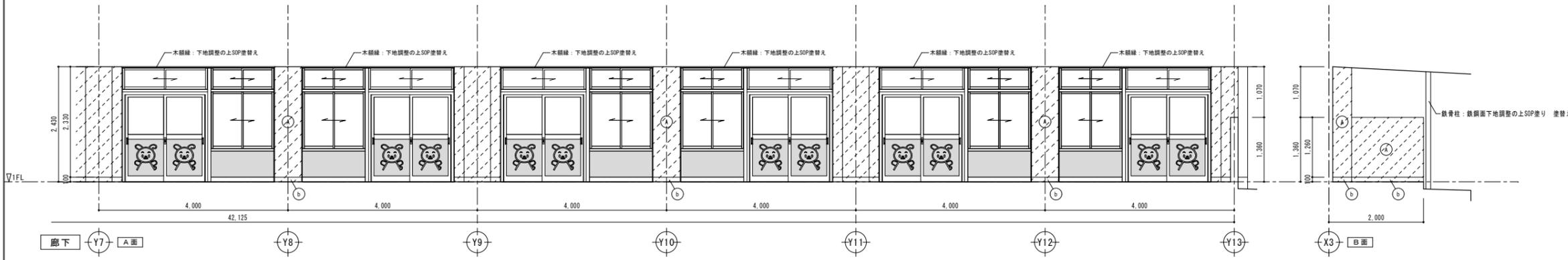
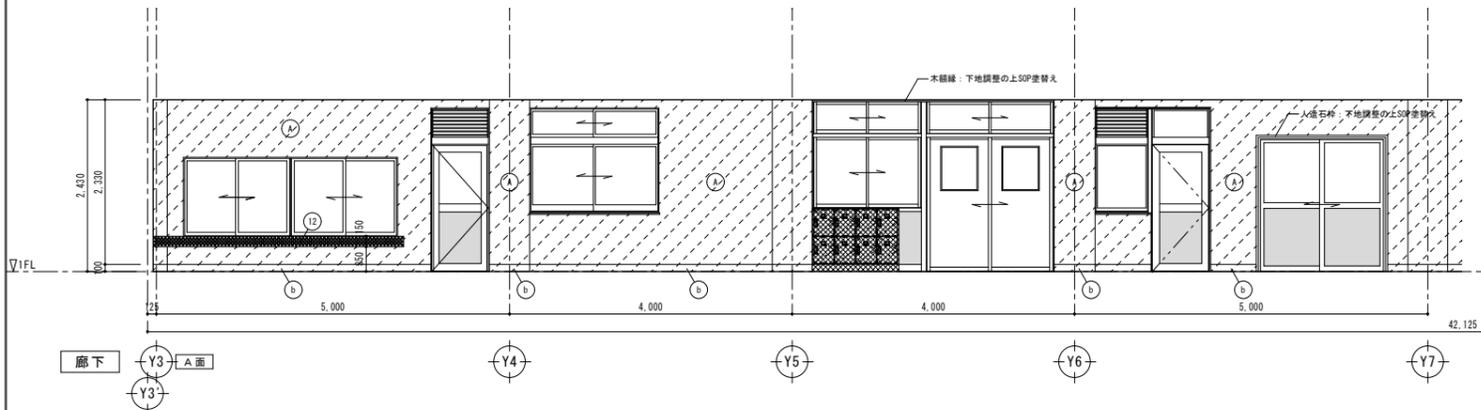


凡例

番号	仕上
①	モルタル金こて押え VP塗り
②	モルタル金こて押え AEP塗り
③	モルタル金こて押え OP塗り
④	下地モルタルの上100角タイル張り
⑤	モルタル金こて押えの上ジュラクサテン吹付
⑥	モルタル金こて押えの上種鹿ビニルクロス(0級)張り
⑦	せっこうボードt=9下張りの上種鹿ビニルクロス(0級)張り
⑧	ベニヤt=4下張りの上掲示板用ビニルクロス張り
⑨	有孔しなベニヤt=6 0張り AEP塗り
⑩	コペンハーゲンリブ張り OSV塗り
⑪	インシュレーションボードt=12張りの上絨クロス張り
⑫	人造石研出し仕上げ
⑬	人造石研出し仕上げの上塗装
⑭	外装合板t=5張り
⑮	有孔しなベニヤt=6・0+普通合板t=4増張りの上ビニルクロス張り
⑯	モルタル金こて押えの上絨クロス張り
⑰	普通合板張り SOP塗り
⑱	巾木：ラワン板t=13 OS塗り H=100
⑳	巾木：モルタル金こて押え VP塗り H=100
㉑	巾木：ビニル巾木 H=100

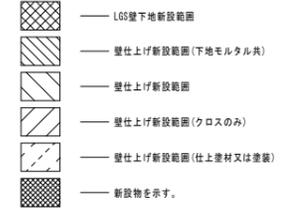


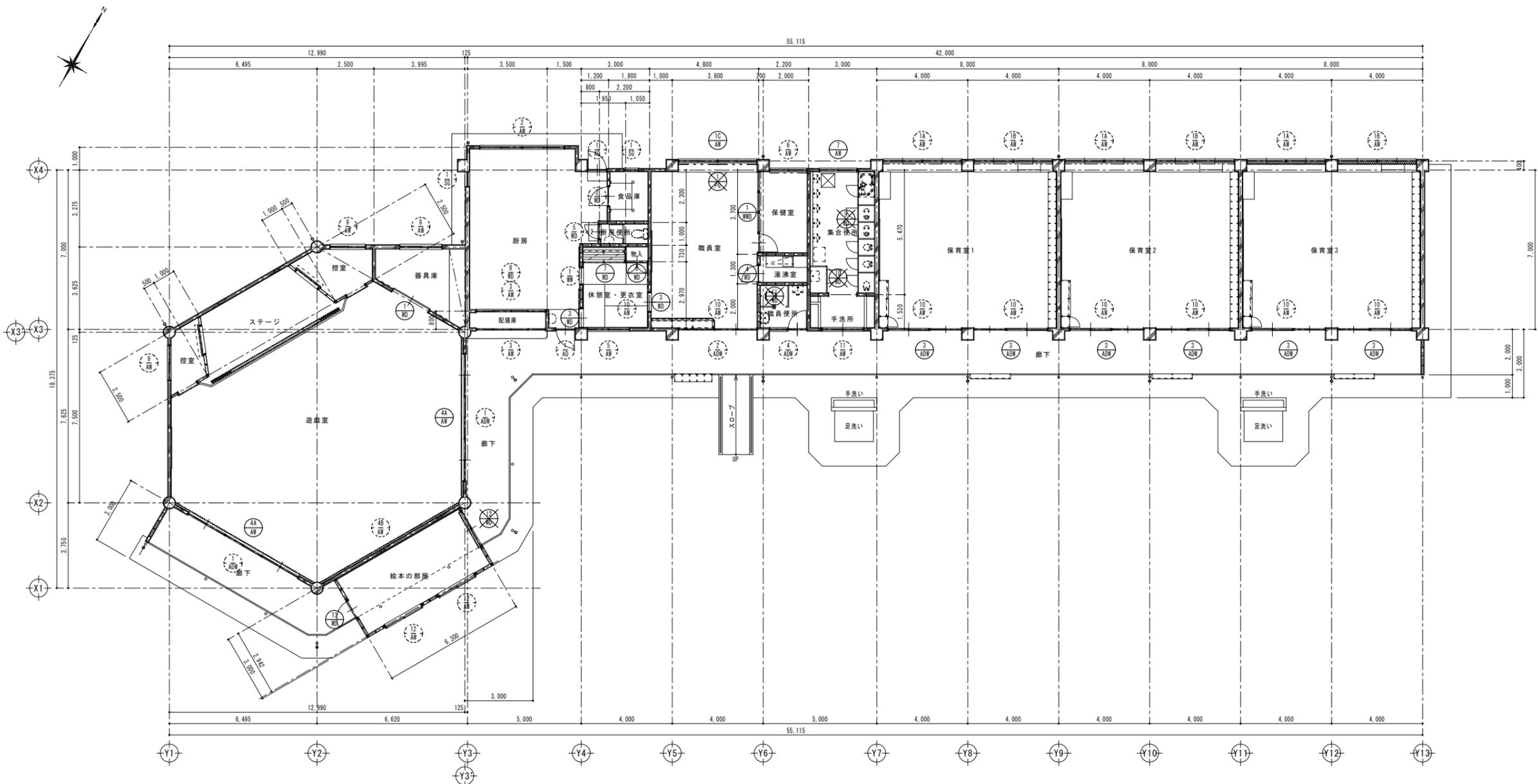
改修後



凡例

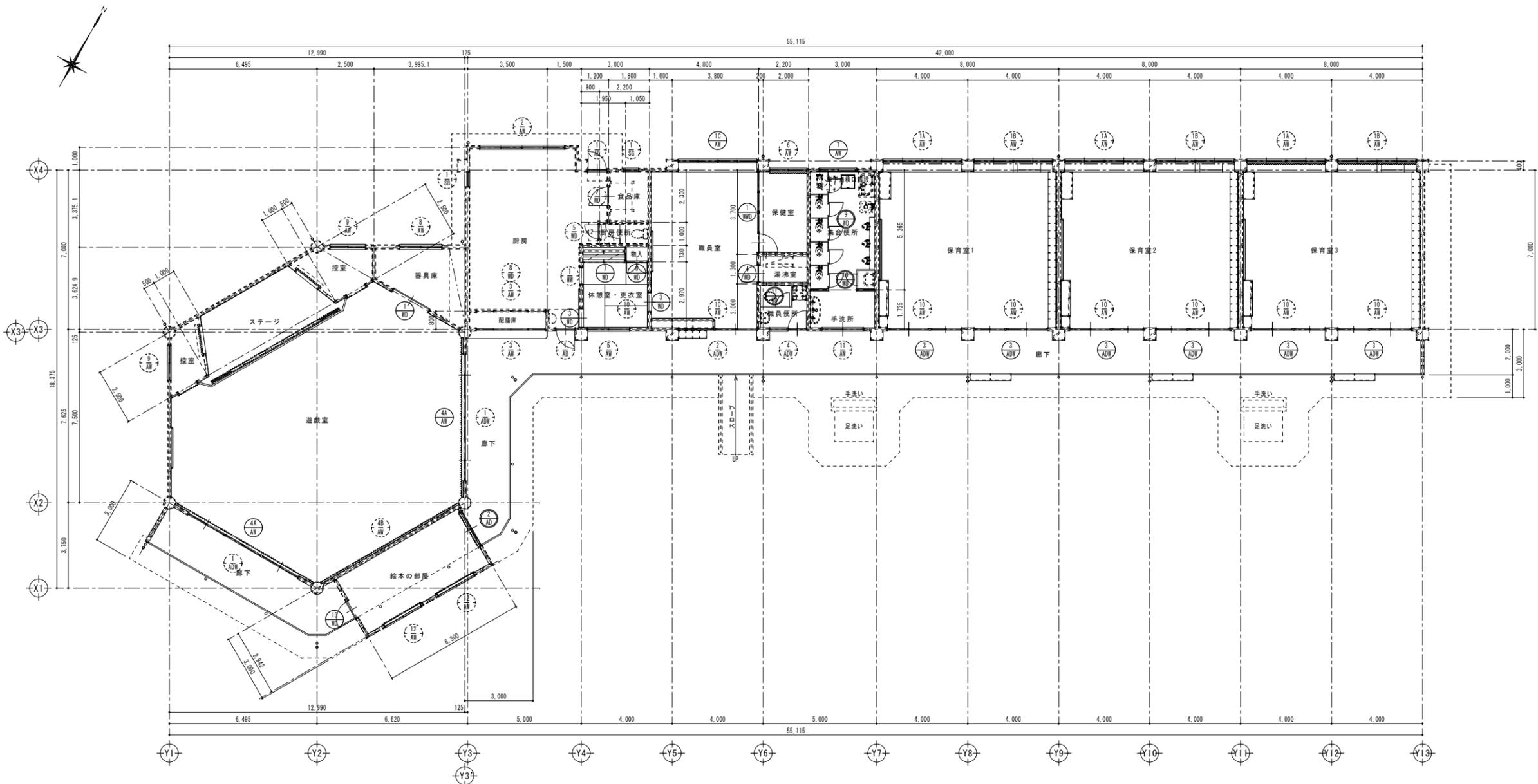
番号	仕上
④	下地モルタルの上100角タイル張り 既存のまま
⑫	人造石研出し仕上げ 既存のまま
⑬	人造石研出し仕上げの上塗装 既存のまま
⑭	外装合板t=5張り 既存のまま
⑮	モルタル下地調整の上EP-6塗り 塗替え
⑯	下地モルタルの上100角タイル張り 新設(下地モルタル共)
⑰	モルタル面素地ごしらえの上ビニルクロス張り 新設(クロスのみ)
⑱	ボード面素地ごしらえの上ビニルクロス張り 新設(クロスのみ)
㉑	ベニヤ面素地ごしらえの上掲示板用ビニルクロス張り 新設(クロスのみ)
㉒	ベニヤ面下地調整の上EP-6塗り 塗替え
㉓	ラワン合板t=5.5下張りの上天然木化粧合板t=6張り 自然塗料塗り 新設(下張り共)
㉔	せっこうボードt=12.5+けい酸カルシウム板t=6張りの上EP-6塗り 新設(LSS壁共)
㉕	せっこうボードt=12.5張りの上100角タイル張り 新設(LSS壁共)
㉖	ラワン合板t=4下張りの上掲示板用ビニルクロス張り 新設(下張り共)
㉗	ボード面素地ごしらえの上ビニルクロス張り 新設(クロスのみ)
㉘	ベニヤ面素地ごしらえの上ビニルクロス張り 新設(クロスのみ)
㉙	当木の上せっこうボードt=12.5張り 新設
㉚	縦目補修の上EP-6塗り
㉛	巾木：ラワン板下地調整の上OS塗り H=100 塗替え
㉜	巾木：モルタル下地調整の上EP-6塗り H=100 塗替え
㉝	巾木：ビニル巾木 H=100 新設
㉞	巾木：杉板 自然塗料塗り H=100 新設





平面図 (改修前) S=1/100

- 凡例
- 建築既存のまま
 - 建築改修
 - 建築除去



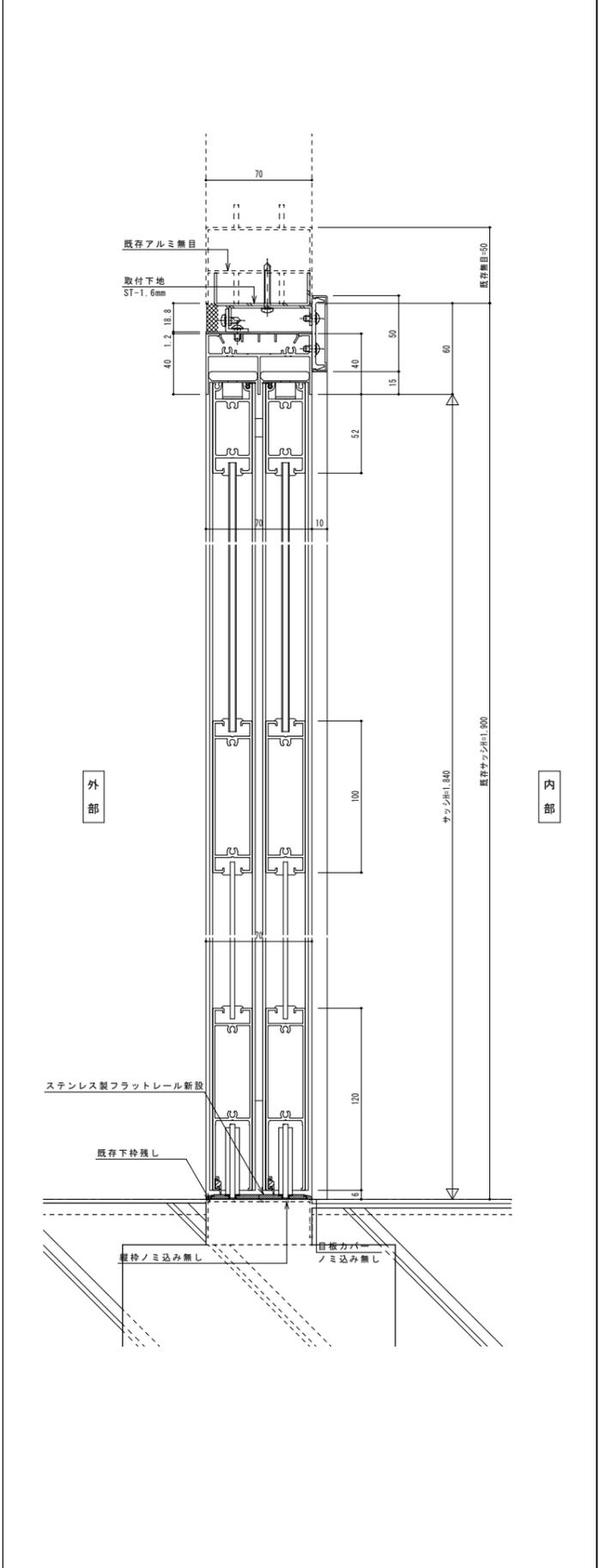
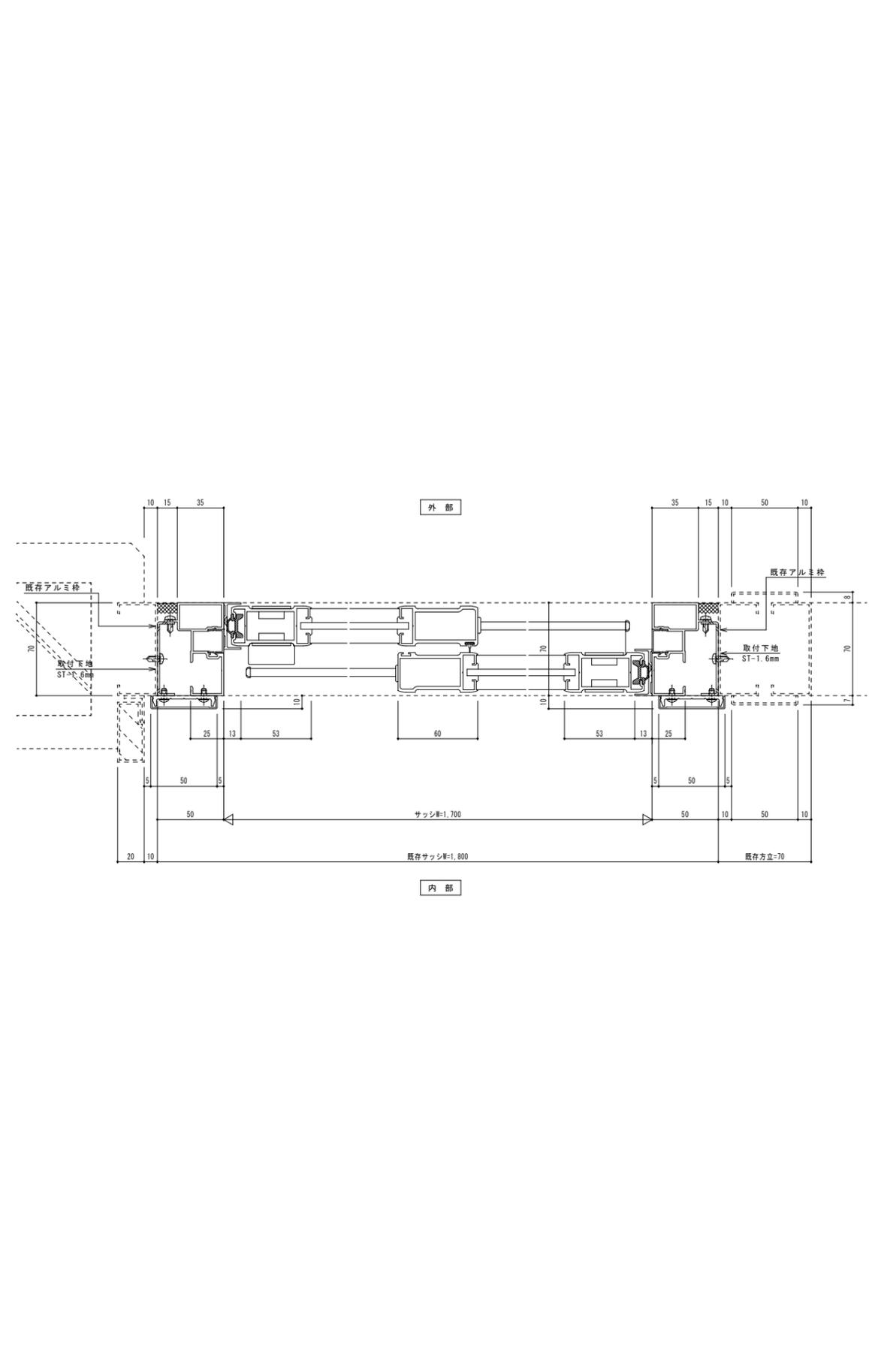
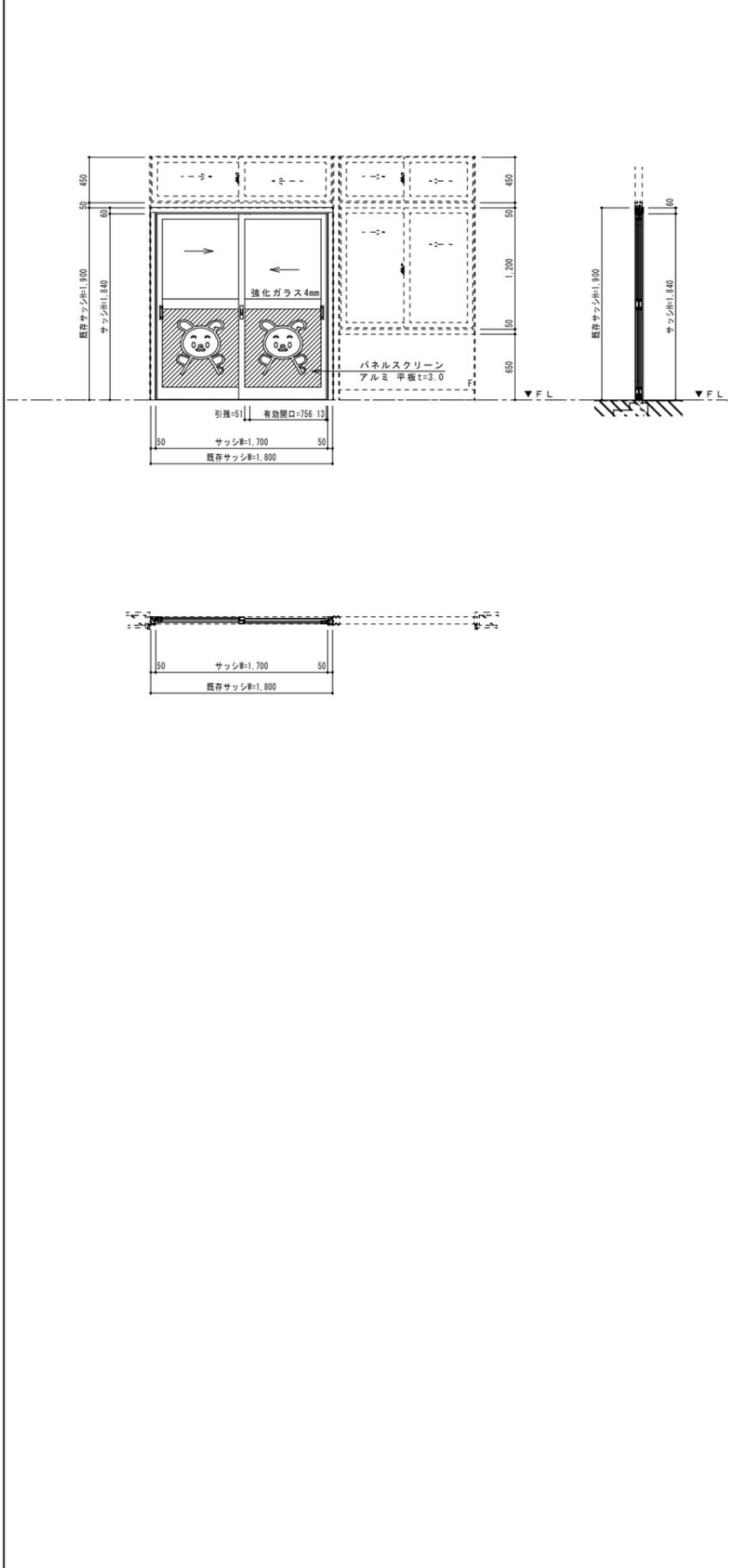
平面図 (改修後) S=1/100

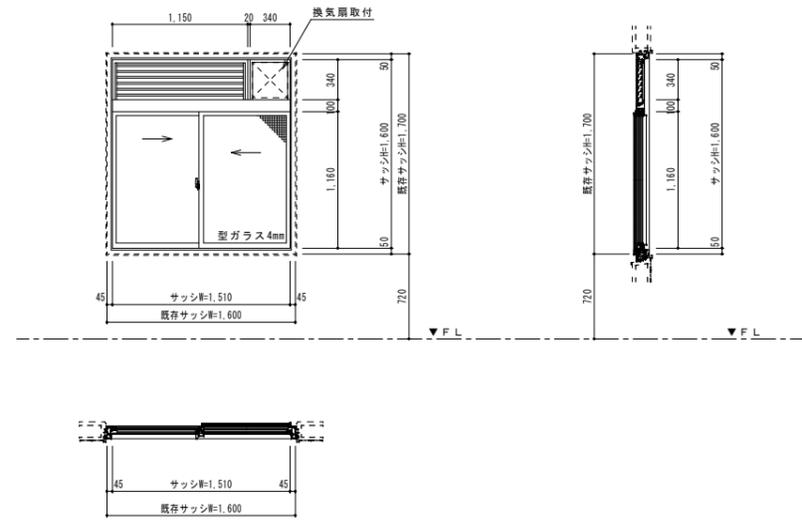
- 凡例
- 建具既存のまま
 - 建具改修
 - 建具新設

記号・仕様	既存のまま	学校間仕切	既存のまま	学校間仕切	3 ADP 建具改修	学校間仕切	既存のまま	袖FIX窓+欄間付き片開き戸
図面・寸法								
場所・数量	遊戯室	2	職員室	1	保育室1~3	6	職員便所	1
見込・枠形状	60	-	60	-	60	-	かぶせ工法	60
硝子	透明硝子3		透明硝子3		透明硝子3		強化硝子4	透明硝子3 型板硝子4
仕上	枠：着色アルミライト仕上 扉・パネル：ポリエステル化粧合板パネル		枠：着色アルミライト仕上 扉・パネル：ポリエステル化粧合板パネル		枠：着色アルミライト仕上 扉・パネル：ポリエステル化粧合板パネル		枠：アルミカラー(既存と同色) パネル：ポリカーボネートt=3(パネルスクリーン)※建具工事	枠：着色アルミライト仕上 アルミパネル
金物等	クレセント 引戸錠 ステンレス網戸 アンクルピース 付属金物一式		クレセント 引戸錠 ステンレス網戸 アンクルピース 付属金物一式		クレセント 引戸錠 ステンレス網戸 アンクルピース 付属金物一式		引戸錠 フラットレール 付属金物一式	ユニロック ドアチェック アンクルピース ガラリ 付属金物一式
記号・仕様	既存のまま	欄間付片開き戸	既存のまま	欄間付引違い窓	既存のまま	欄間付引違い窓	7 ADP 建具改修	欄間付引違い窓
図面・寸法								
場所・数量	厨房	2	保育室1~3	3	保育室1~3	3	職員室	1
見込・枠形状	60	RC枠	60	RC枠	60	RC枠	60	RC枠
硝子	透明硝子3		透明硝子3		透明硝子3		透明硝子3	透明硝子3
仕上	枠：着色アルミライト仕上 アルミパネル		枠：着色アルミライト仕上		枠：着色アルミライト仕上 メガネ石		枠：着色アルミライト仕上 パネル：アルミパネル(穴あけ加工)	パネル：アルミパネルt=3(穴あけ加工)
金物等	ユニロック ドアチェック アンクルピース ガラリ 付属金物一式		クレセント ステンレス網戸 アンクルピース 二重水切板 付属金物一式		クレセント ステンレス網戸 アンクルピース 二重水切板 付属金物一式		クレセント 目隠しフィルム ステンレス網戸 アンクルピース 二重水切板 付属金物一式	目隠しフィルム
記号・仕様	2 ADP 既存のまま	引違い窓	3 ADP 既存のまま	4 ADP 既存のまま	4A ADP 建具改修	FIX窓	7 ADP 建具改修	欄間付引違い窓
図面・寸法								
場所・数量	厨房	1	配膳庫	2	遊戯室	2	職員室	2
見込・枠形状	60	RC枠	60	RC枠	60	RC枠	60	RC枠
硝子	透明硝子3		透明硝子3		型板硝子4		型板硝子4	型板硝子4
仕上	枠：着色アルミライト仕上		枠：着色アルミライト仕上		枠：着色アルミライト仕上		パネル：アルミパネルt=3(穴あけ加工)	枠：アルミカラー(既存と同色)
金物等	クレセント ステンレス網戸 アンクルピース 二重水切板 付属金物一式		クレセント ステンレス網戸 アンクルピース 付属金物一式		アンクルピース 二重水切板 付属金物一式			クレセント 網戸 ガラリ 付属金物一式
記号・仕様	4B ADP 既存のまま	FIX窓	5 ADP 既存のまま	欄間付引違い窓	6 ADP 既存のまま	欄間付引違い窓	7 ADP 建具改修	欄間付引違い窓
図面・寸法								
場所・数量	遊戯室	1	休憩室・更衣室	1	保健室	1	集合便所	1
見込・枠形状	60	RC枠	60	RC枠	60	RC枠	60	RC枠
硝子	型板硝子4		型板硝子4		透明硝子3		型板硝子4	型板硝子4
仕上	枠：着色アルミライト仕上		枠：着色アルミライト仕上		枠：着色アルミライト仕上		枠：着色アルミライト仕上	枠：アルミカラー(既存と同色)
金物等	アンクルピース 二重水切板 付属金物一式		クレセント アンクルピース 二重水切板 付属金物一式		クレセント ステンレス網戸 アンクルピース 二重水切板 付属金物一式		クレセント 網戸 アンクルピース 二重水切板 ガラリ 付属金物一式	クレセント 網戸 ガラリ 付属金物一式

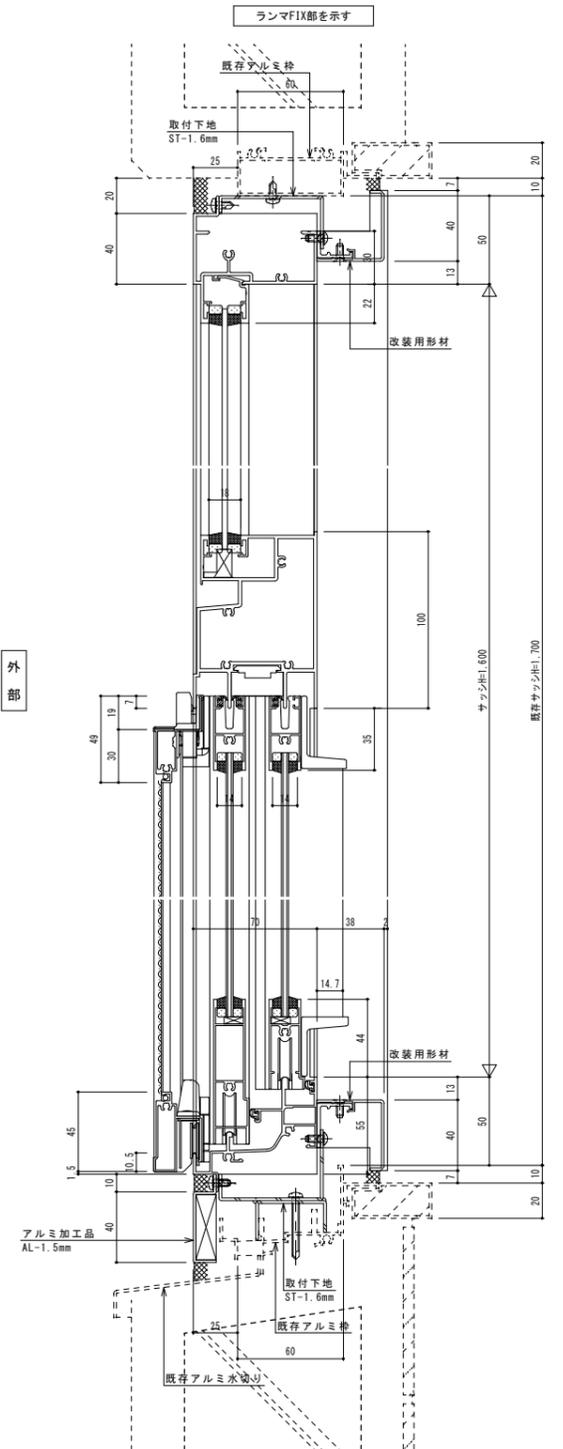
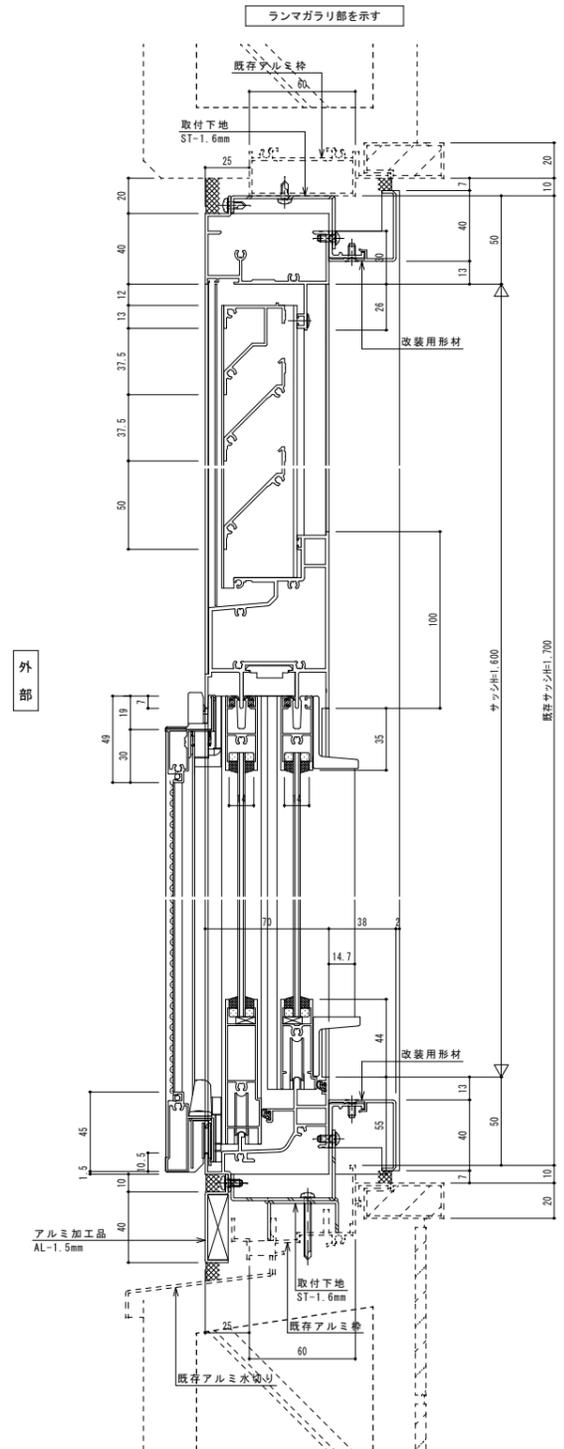
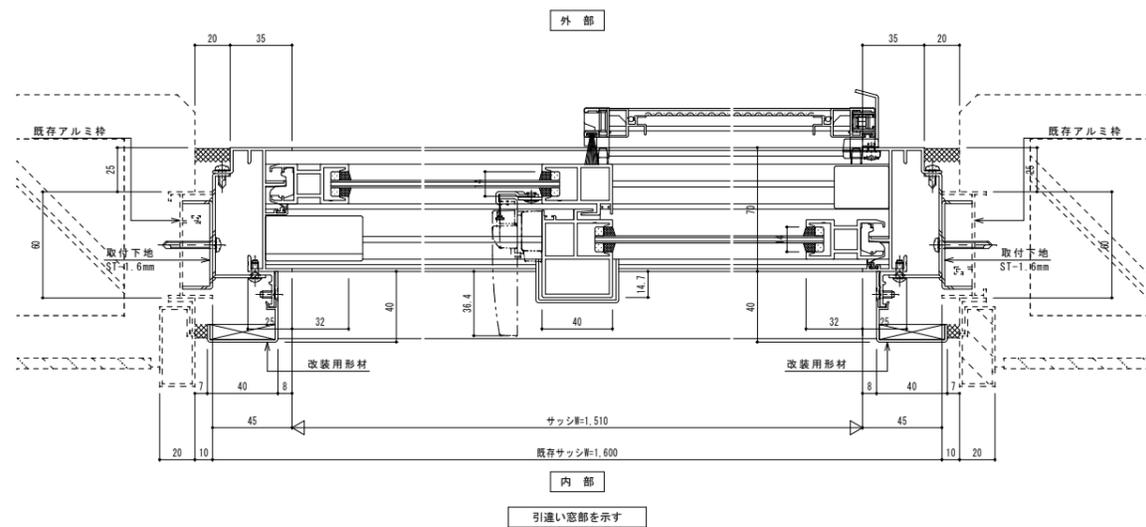
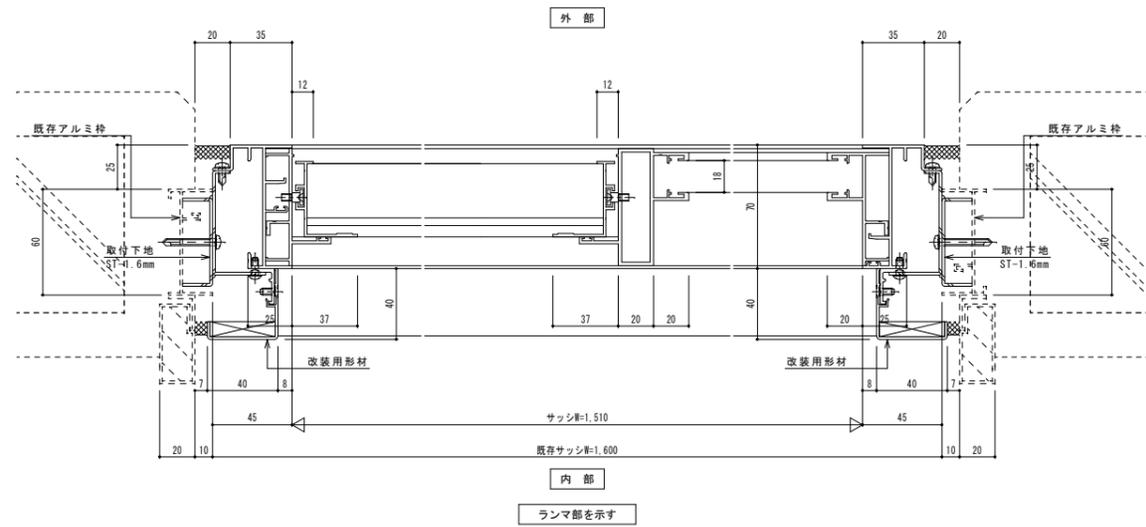
記号・仕様	⑧ 既存のまま 引違い窓	⑨ 既存のまま 引違い窓	⑩ 既存のまま FIX窓	⑪ 既存のまま 引違い戸	⑫ 既存のまま 引違い窓
図面・寸法					
場所・数量	器具庫 1	控室 2	保育室1~3 職員室 休憩室・更衣室 8	手洗所 1	絵本の部屋 2
見込・枠形状	60 RC枠	60 RC枠	60 RC枠	60 RC枠	60 外付
硝子	型板硝子4	透明硝子3	型板硝子4	透明硝子3	透明硝子3
仕上	枠：着色アルミライト仕上	枠：着色アルミライト仕上	枠：着色アルミライト仕上	枠：着色アルミライト仕上	枠：着色アルミライト仕上
金物等	クレセント ステンレス網戸 アンクルピース 二重水切板 付属金物一式	クレセント ステンレス網戸 アンクルピース 二重水切板 付属金物一式	アンクルピース 二重水切板 付属金物一式	引戸錠 アンクルピース 付属金物一式	クレセント アンクルピース 付属金物一式
記号・仕様	⑬ 既存のまま 固定ガラリ				
図面・寸法					
場所・数量	厨房 2				
見込・枠形状	60 -				
硝子	-				
仕上	ガラリ・枠：OP塗り				
金物等	二重水切板 付属金物一式				
記号・仕様	⑭ 建具改修 木製開仕切(欄間付き片開き戸+FIX窓)	⑮ 建具改修 木製引分戸	⑯ 既存のまま 木製片開戸		
図面・寸法					
場所・数量	職員室-保健室 1	器具庫 1	食品庫 1		
見込・枠形状	90 32	32	32		
硝子	透明硝子3	-	型板硝子4		
仕上	枠：OP塗り 扉：しなベニヤフラッシュ OP塗り	枠：OP塗り 扉：しなベニヤフラッシュ OP塗り	枠：下地調整の上SOP塗替え 扉：しなベニヤフラッシュ OP塗り	枠：下地調整の上SOP塗替え 扉：しなベニヤフラッシュ OP塗り	
金物等	ユニロック 丁番 ストッパー 戸当ゴム	ドアクローザ	ハンガーレール ガイドレール 戸車	ユニロック 丁番 ストッパー	
記号・仕様	⑰ 建具改修 片引戸ふすま	⑱ 建具改修 木製片開戸	⑲ 既存のまま 木製片開戸		
図面・寸法					
場所・数量	休憩室・更衣室 2	湯沸室 1	厨房便所 2		
見込・枠形状	32 -	32	32		
硝子	-	型板硝子4	-		
仕上	枠：OP塗り/素地 扉：しなベニヤフラッシュ ふすま紙張り/OP塗り	枠：下地調整の上SOP塗替え(職員室側のみ) 扉：ビニルふすま紙張替え 下地処理の上SOP塗替え(職員室側のみ)	枠：OP塗り 扉：しなベニヤフラッシュ OP塗り	枠：OP塗り 扉：しなベニヤフラッシュ OP塗り	
金物等	引手 戸車 戸車レール	ユニロック 丁番 ストッパー	ドアクローザ	握玉 丁番 ラッチ錠	

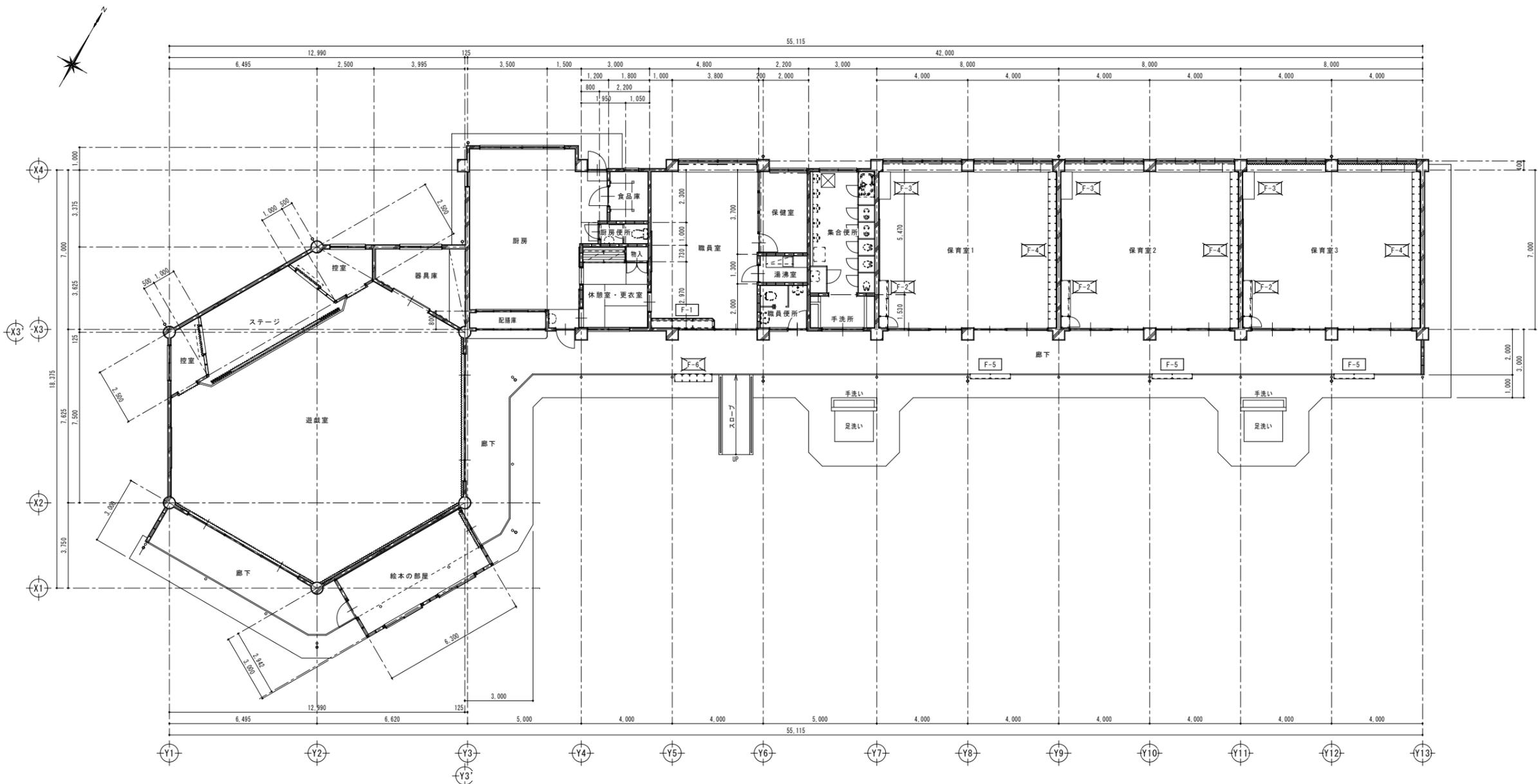
記号・仕様	⑤ 建具改修 同開戸ふすま	⑦ 建具改修 引違戸ふすま	⑧ 既存のまま 4枚引違戸
姿図・寸法			
場所・数量	休憩室・更衣室 1	休憩室・更衣室 1	厨房 1
見込・枠形状	24	24	32
硝子	-	-	-
仕上	枠: 素地 扉: しなベニヤフラッシュ ふすま紙張り/素地	枠: 素地 扉: しなベニヤフラッシュ ふすま紙張り/素地	OP 扉: しなベニヤフラッシュ
金物等	引手 丁番	引手	引手 戸車 戸車レール
記号・仕様	⑨ 建具撤去 トイレブース	⑩ 建具新設 トイレブース	⑪ 建具撤去 トイレブース
記号・仕様	⑫ 建具撤去 トイレブース	⑬ 建具新設 トイレブース	⑭ 建具新設 トイレブース
姿図・寸法			
場所・数量	集合便所 1	集合便所 1	集合便所 1
見込・枠形状	40	40	40
硝子	-	-	-
仕上	OP 耐水しなベニヤフラッシュ	表面材: 高圧メラミン化粧板 枠材: LVL(単板積層材) 心材: ペーパーコア アルミ窓木 アルミエッジ SUS巾木 アルミ床レール アルミ壁レール アルミコーナーレール	OP 耐水しなベニヤフラッシュ
金物等	ラバトリーヒンジ ラバトリーストライク 握玉 表示錠 Y字隔金物 つなぎ金物 ステンレスアングル 天端金物 戸当りゴム	PC丸棒ハンドル 打掛錠(外開き用) 丁番型グレビティヒンジ 標準金物一式	ラバトリーヒンジ ラバトリーストライク 引手 Y字隔金物 つなぎ金物 ステンレスアングル 天端金物 戸当りゴム
記号・仕様	⑮ 建具撤去 トイレブース	⑯ 建具新設 トイレブース	⑰ 建具改修 木製片開戸
記号・仕様	⑱ 建具撤去 木製引違戸	⑲ 建具新設 引違い戸	⑳ 建具改修 木製片開戸
姿図・寸法			
場所・数量	職員便所 1	絵本の部屋 1	絵本の部屋 1
見込・枠形状	40	33	40
硝子	-	-	-
仕上	OP 耐水しなベニヤフラッシュ	表面材: 高圧メラミン化粧板 枠材: LVL(単板積層材) 心材: ペーパーコア アルミ窓木 アルミエッジ SUS巾木 アルミ床レール アルミ壁レール アルミコーナーレール	枠: OP塗り 扉: しなベニヤフラッシュ 紙クロス張り/OP塗り
金物等	Y字隔金物 つなぎ金物 ステンレスアングル 天端金物 戸当りゴム	表示付スライドボルト ストライク グレビティヒンジ 笠木戸当り 標準金物一式	引違錠 レール 戸車 引手 付属金物一式
記号・仕様	㉑ 既存のまま 木製FIX窓	㉒ 建具撤去 ガラリ	
姿図・寸法			
場所・数量	休憩室・更衣室 1	職員室 1	
見込・枠形状	-	-	
硝子	型板硝子4	-	
仕上	OP	プラスチック製 調節式	
金物等			





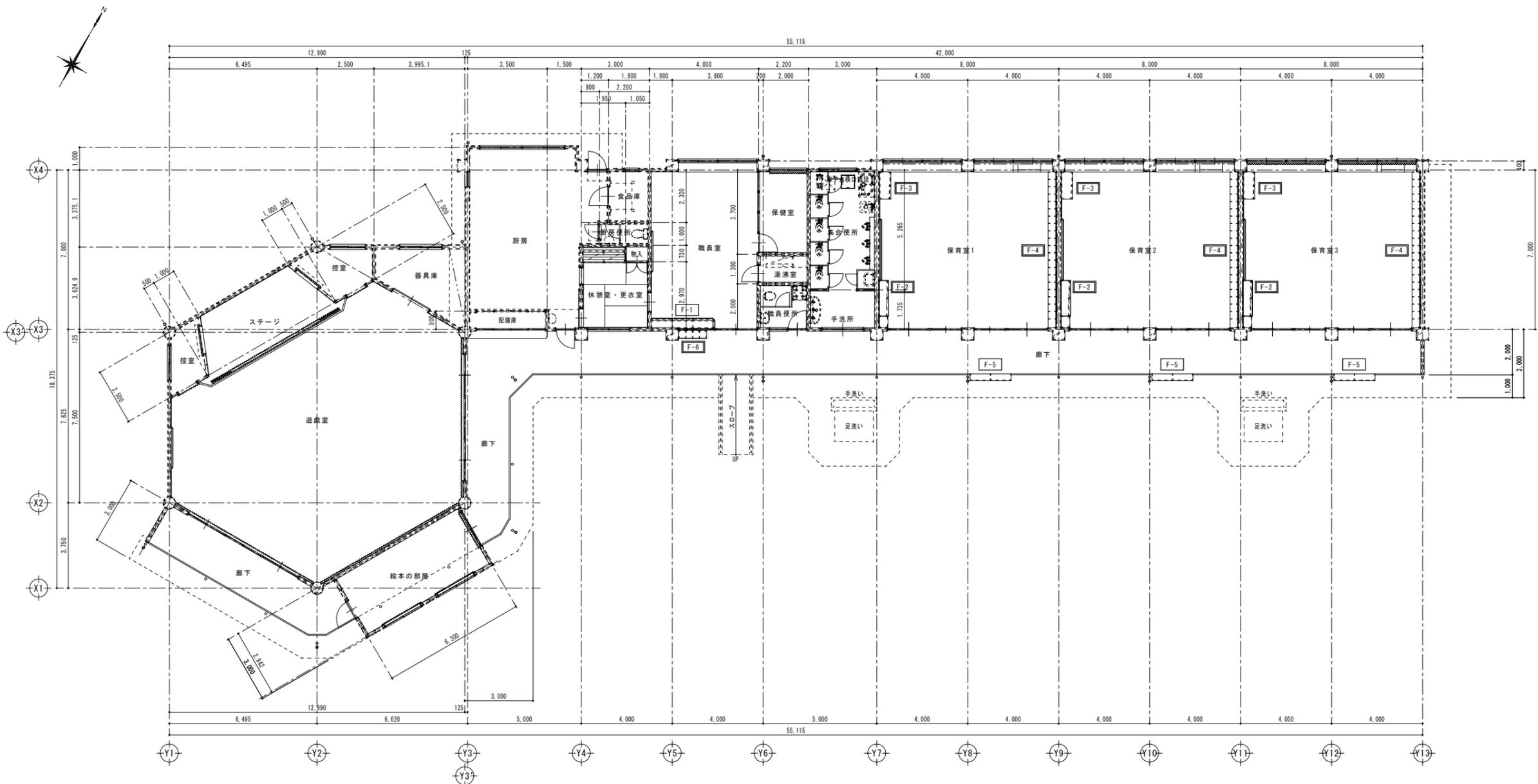
横断面図





平面図 (改修前) S=1/100

- 凡例
- F-1 家具改修
 - F-2 家具撤去



平面図 (改修後) S=1/100

- 凡例
- F-1 家具改修
 - F-3 家具新設

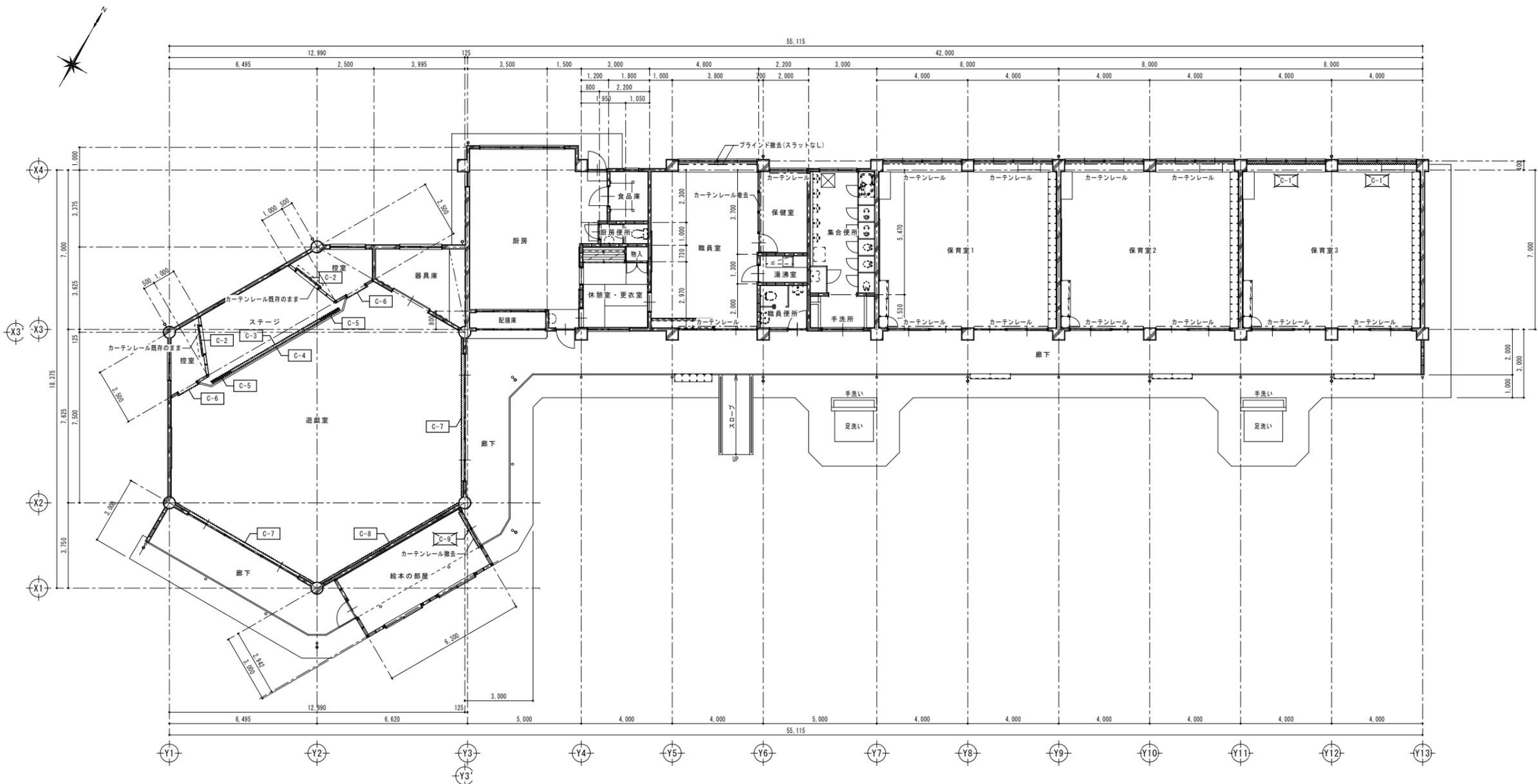
F-1	カウンター (木製)	1ヶ所	F-2	掃除具入、戸棚 (木製)	3ヶ所
<p>家具改修</p> <p>※特記なき限り、O塗替え (種別A種)</p> <p>天井: 高圧メラミン化粧板張替え カウンター小口: O塗替え 扉: メラミン化粧板張り (既存のまま) 巾木: O塗替え</p>	<p>家具撤去</p> <p>家具新設</p> <p>【仕様】 本体: メラミン化粧板t=1.2両面張 フラッシュt=25 小ロスプルス 建具: メラミン化粧板t=1.2両面張 フラッシュt=20 小ロスプルス 棚板: メラミン化粧板t=1.2両面張 フラッシュt=20 小ロスプルス 巾木: スプルス100×25 金物: 引戸: 振込引手 戸車 レール 引戸錠 ※家具は床又は壁に固定すること。 ※建具金物はステンレスを標準とする。 ※木部は全てO塗替え (種別A種)とする。 可動棚: 棚柱 棚受</p>				

F-3	教材戸棚 (スチール製)	3ヶ所	F-3	教材戸棚 (木製)	3ヶ所
<p>家具撤去</p>	<p>家具新設</p> <p>巾木: O塗替え</p> <p>【仕様】 本体: メラミン化粧板t=1.2両面張 フラッシュt=25 小ロスプルス 建具: メラミン化粧板t=1.2両面張 フラッシュt=20 小ロスプルス 棚板: メラミン化粧板t=1.2両面張 フラッシュt=20 小ロスプルス 巾木: スプルス100×25 金物: 引戸: 振込引手 戸車 レール 引戸錠 可動棚: 棚柱 棚受 ※家具は床又は壁に固定すること。 ※建具金物はステンレスを標準とする。 ※木部は全てO塗替え (種別A種)とする。</p>				

F-4	ロッカー戸棚 (木製)	3ヶ所	F-4	ロッカー戸棚 (木製)	3ヶ所
<p>家具撤去</p>	<p>家具新設</p> <p>【仕様】 本体: メラミン化粧板t=1.2両面張 フラッシュt=25 小ロスプルス 棚板: メラミン化粧板t=1.2両面張 フラッシュt=20 小ロスプルス 巾木: スプルス100×25 金物: 荷物掛けフック ※家具は床又は壁に固定すること。 ※建具金物はステンレスを標準とする。 ※木部は全てO塗替え (種別A種)とする。</p>				

<p>F-5 幼児用下駄箱(木製)</p> <p>※特記なき限り、珪藻土塗り(一部SOP塗り) 下地処理の上SOP塗り(塗替え)</p> <p>家具 改修 (取外し再取付含む)</p>	<p>3ヶ所</p> <p>家具 撤去</p> <p>職員用下駄箱(木製)</p> <p>※特記なき限り、珪藻土塗り(一部SOP塗り)</p>	<p>1ヶ所</p> <p>F-6 職員用下駄箱(木製)</p> <p>家具 新設</p> <p>【仕様】 本体：ラワン食板(T1)t=4両面種 フラッシュt=25 小ロススルス 建具：ラワン食板(T1)t=4両面種 フラッシュt=20 小ロススルス 棚板：ラワン食板(T1)t=4両面種 フラッシュt=20 小ロススルス 巾木：スルス100×25 ※家具は床又は壁に固定すること。 ※木部は全てSOP塗とする。</p>



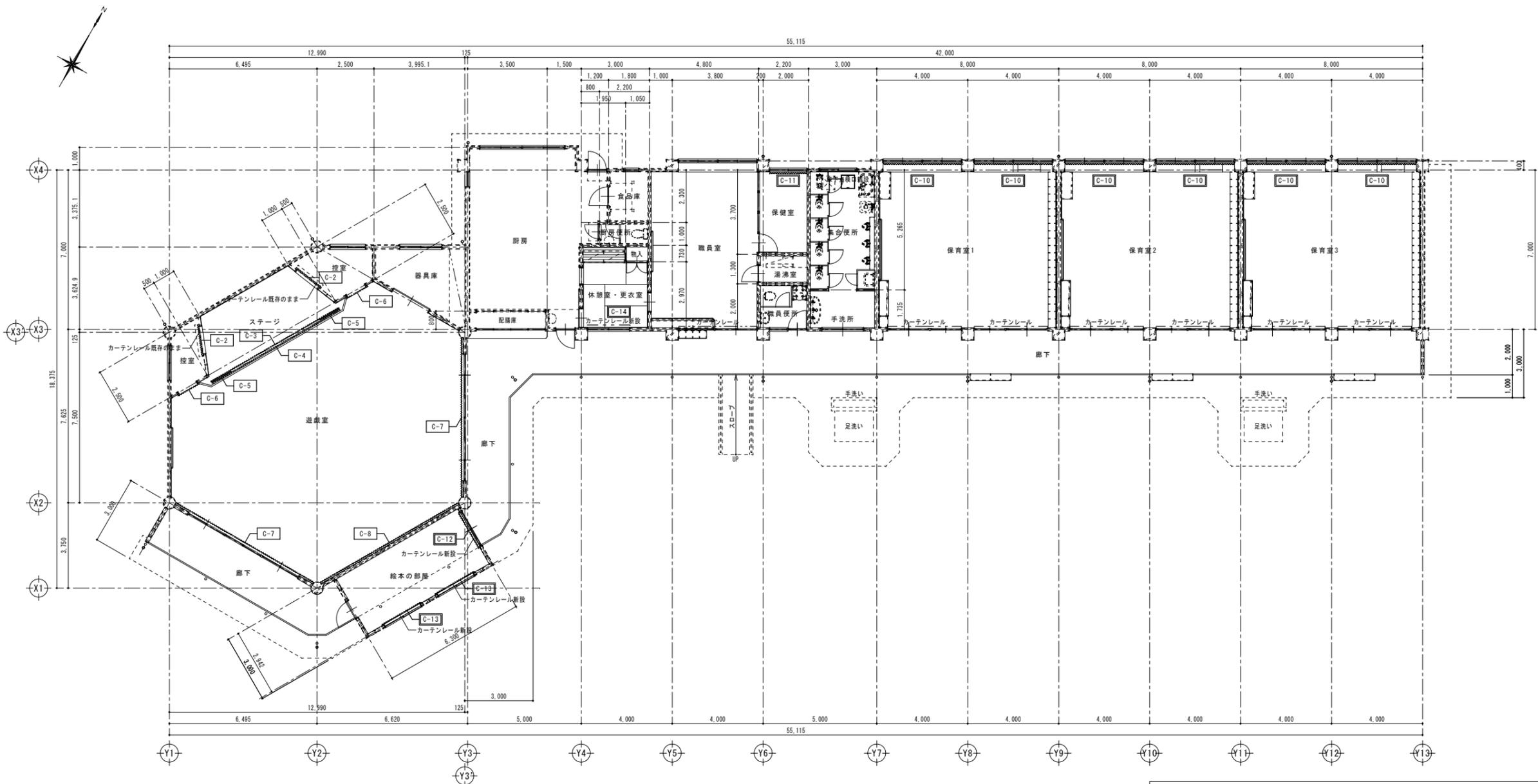


平面図 (改修前) S=1/100

- 凡例
- C-2 — カーテン取外し(再使用)
 - C-1 — カーテン撤去
 - カーテンレール
※特記なき限り取外し(再使用)

カーテンリスト							
室名	符号	生地の種類	形式	開閉操作方式	製作寸法(W×H)	数量	備考
保育室3	C-1	ドレープ(遮光)	引分け	手引き式	3,400 × 2,000	2	カーテンレール再取付
控室	C-2	ドレープ(遮光)	片引き	手引き式	1,400 × 1,900	2	カーテンレール既存のまま
ステージ	C-3	ドレープ(引割幕)	引分け	手引き式	6,500 × 3,500	1	カーテンレール再取付
ステージ	C-4	ドレープ(-文字幕)	—	—	6,500 × 300	1	カーテンレールなし
ステージ	C-5	ドレープ(絨幕)	—	—	1,000 × 3,100	2	カーテンレールなし
遊戯室	C-6	ドレープ(遮光)	片引き	手引き式	1,100 × 1,900	2	カーテンレール再取付
遊戯室	C-7	ドレープ(遮光)	引分け	手引き式	7,000 × 3,400	2	カーテンレール再取付
遊戯室	C-8	ドレープ(遮光)	—	—	7,000 × 600	1	カーテンレール再取付
絵本の部屋	C-9	ドレープ(遮光)	片引き	手引き式	2,000 × 2,000	1	カーテンレール撤去

※製作寸法は設計寸法とし、割増率は含んでいません。



平面図 (改修後) S=1/100

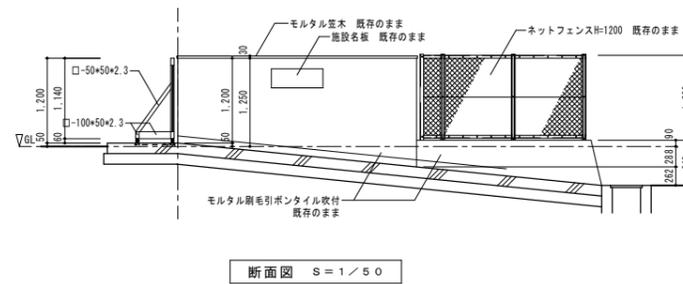
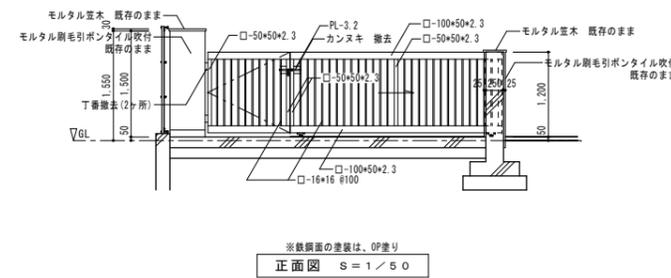
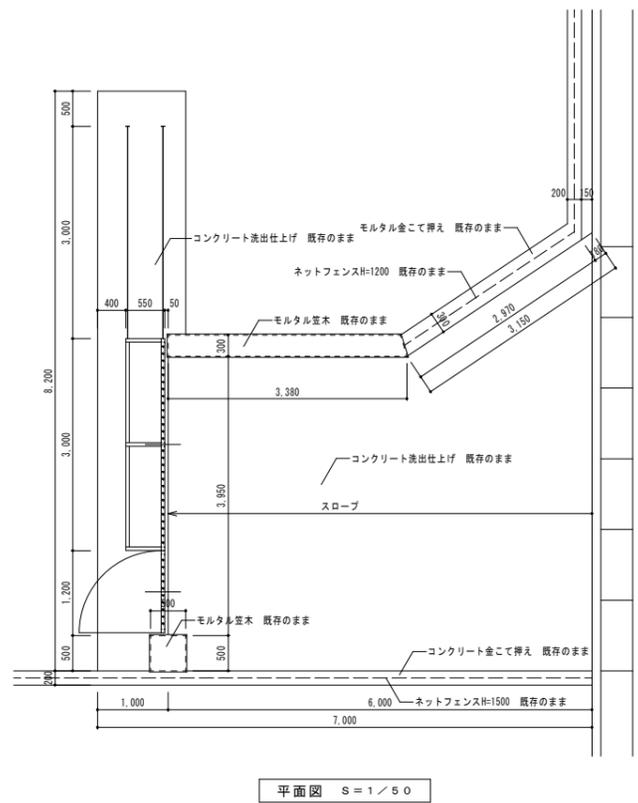
- 凡例
- C-1 — カーテン再取付
 - C-10 — カーテン新設
 - カーテンレール
※特記なき限り再取付

カーテンリスト							
室名	符号	生地の種類	形式	開閉操作方式	製作寸法 (W×H)	数量	備考
保育室1	C-10	ドレープ (透光)	引分け	手引き式	3,400 × 2,000	2	カーテンレール再取付
保育室2	C-10	ドレープ (透光)	引分け	手引き式	3,400 × 2,000	2	カーテンレール再取付
保育室3	C-10	ドレープ (透光)	引分け	手引き式	3,400 × 2,000	2	カーテンレール再取付
保健室	C-11	ドレープ (透光)	引分け	手引き式	1,600 × 2,000	1	カーテンレール再取付
絵本の部屋	C-12	ドレープ (透光)	片引き	手引き式	2,000 × 1,800	1	カーテンレール新設
絵本の部屋	C-13	ドレープ (透光)	引分け	手引き式	2,000 × 1,400	2	カーテンレール新設
休憩室・更衣室	C-14	ドレープ (透光)	引分け	手引き式	2,000 × 1,600	1	カーテンレール新設
控室	C-2	ドレープ (透光)	片引き	手引き式	1,400 × 1,900	2	カーテンレール既存のまま
ステージ	C-3	ドレープ (引割幕)	引分け	手引き式	6,500 × 3,500	1	カーテンレール再取付
ステージ	C-4	ドレープ (一文字幕)	—	—	6,500 × 300	1	カーテンレールなし
ステージ	C-5	ドレープ (軸幕)	—	—	1,000 × 3,100	2	カーテンレールなし
遊戯室	C-6	ドレープ (透光)	片引き	手引き式	1,100 × 1,900	2	カーテンレール再取付
遊戯室	C-7	ドレープ (透光)	引分け	手引き式	7,000 × 3,400	2	カーテンレール再取付
遊戯室	C-8	ドレープ (透光)	—	—	7,000 × 600	1	カーテンレール再取付

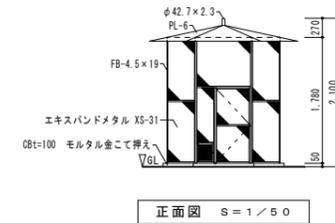
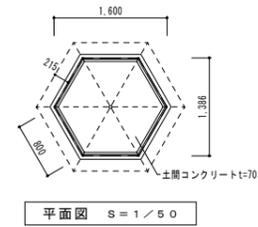
※製作寸法は設計寸法とし、割増率は含んでいません。

正門改修

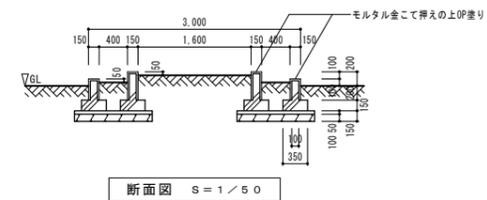
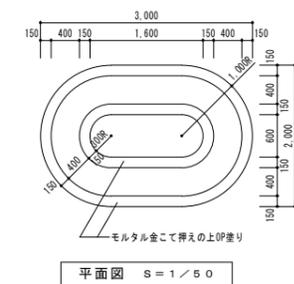
改修前



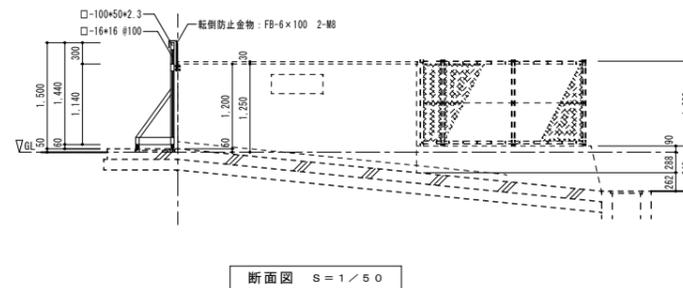
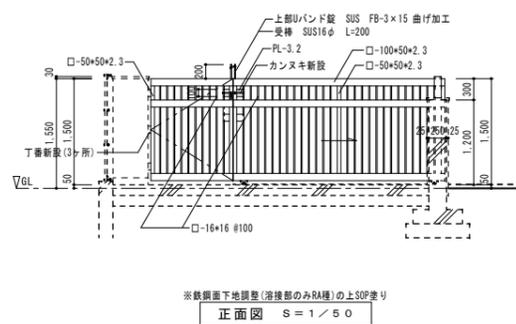
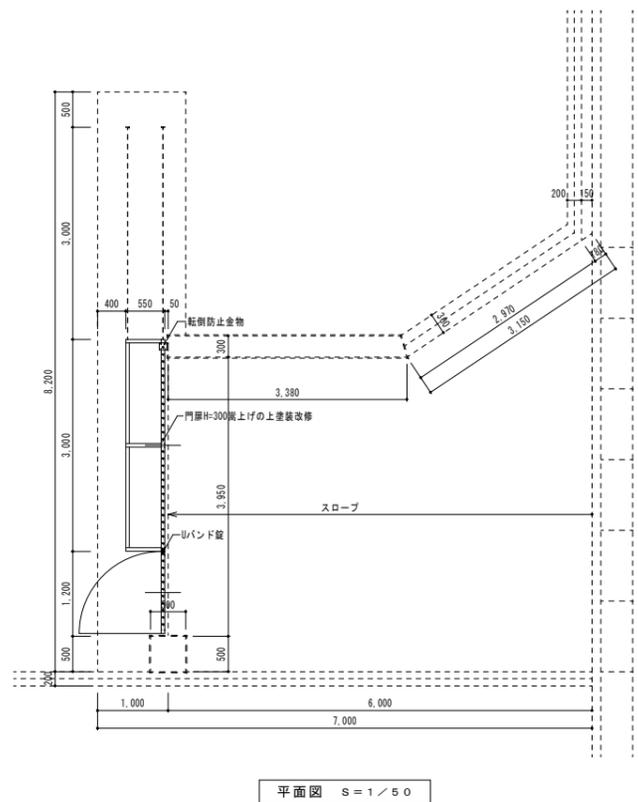
飼育小屋撤去



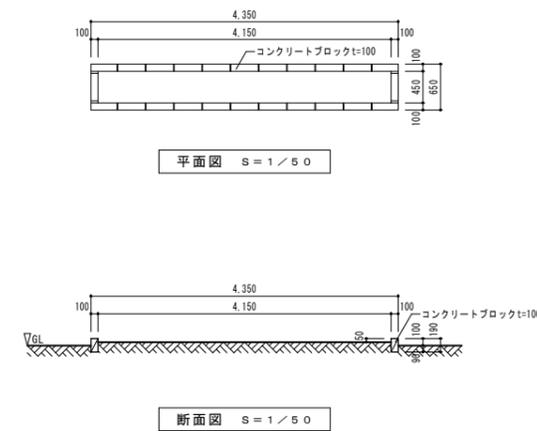
花壇A撤去



改修後

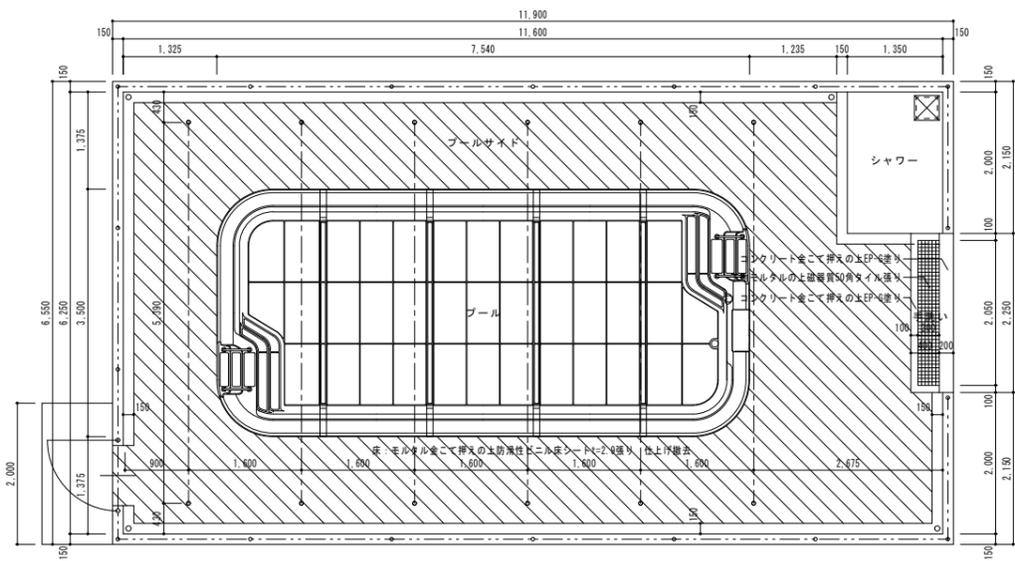


花壇B撤去

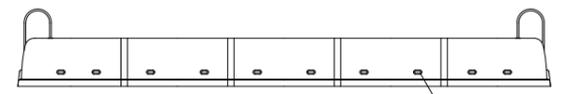


プール廻り改修

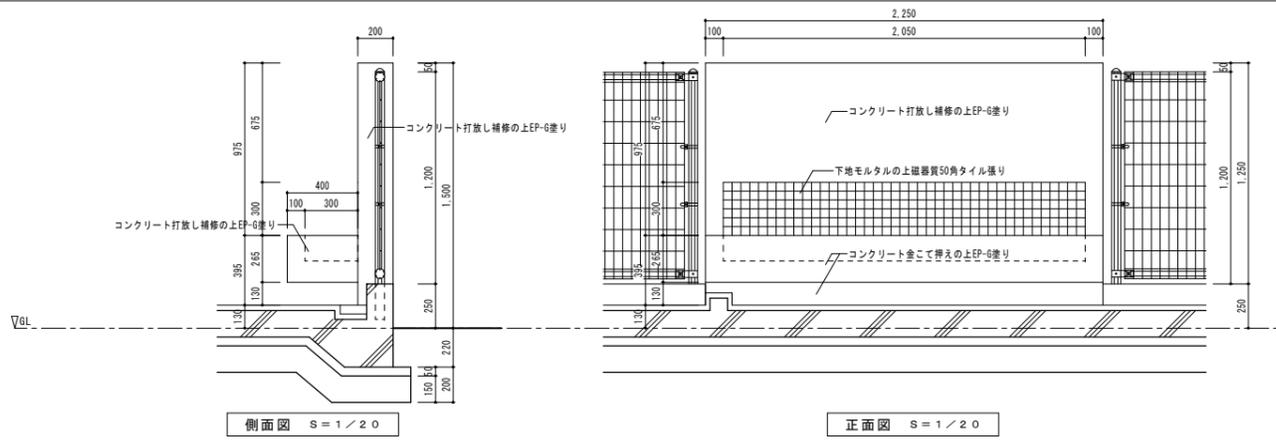
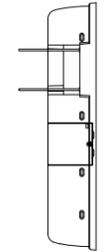
改修前



平面詳細図 S=1/50

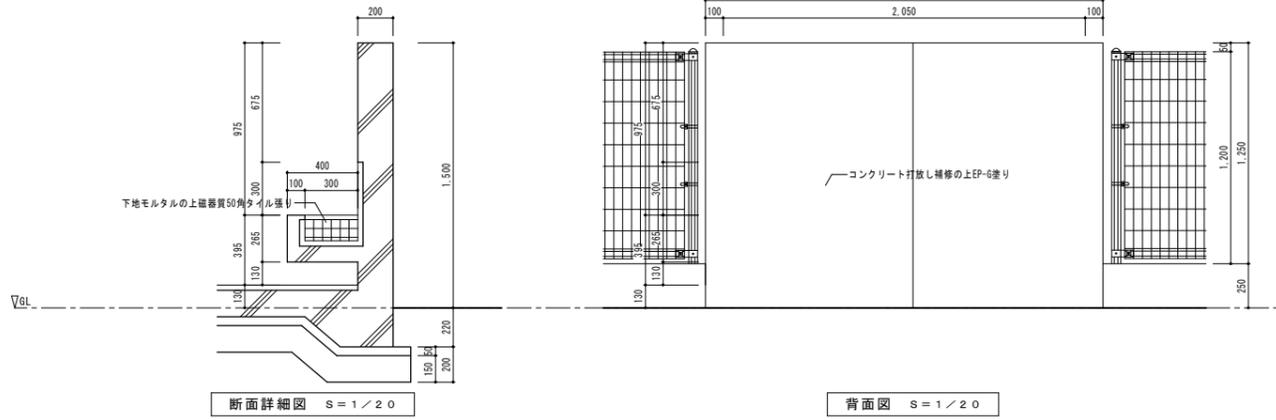


プールカーパーフック撤去 計28個



側面図 S=1/20

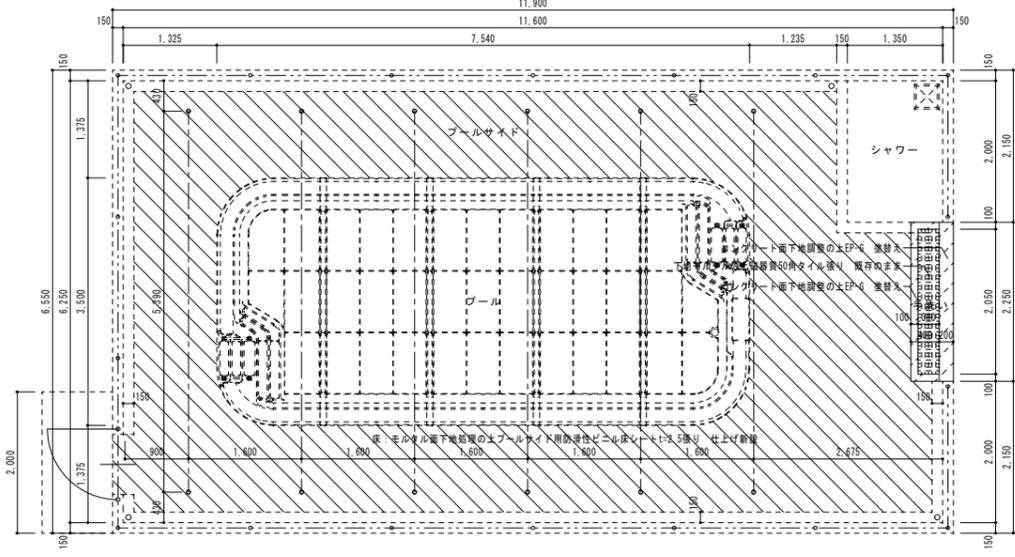
正面図 S=1/20



断面詳細図 S=1/20

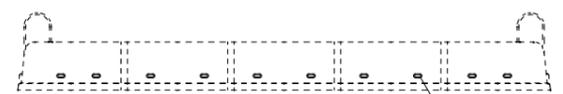
背面図 S=1/20

改修後

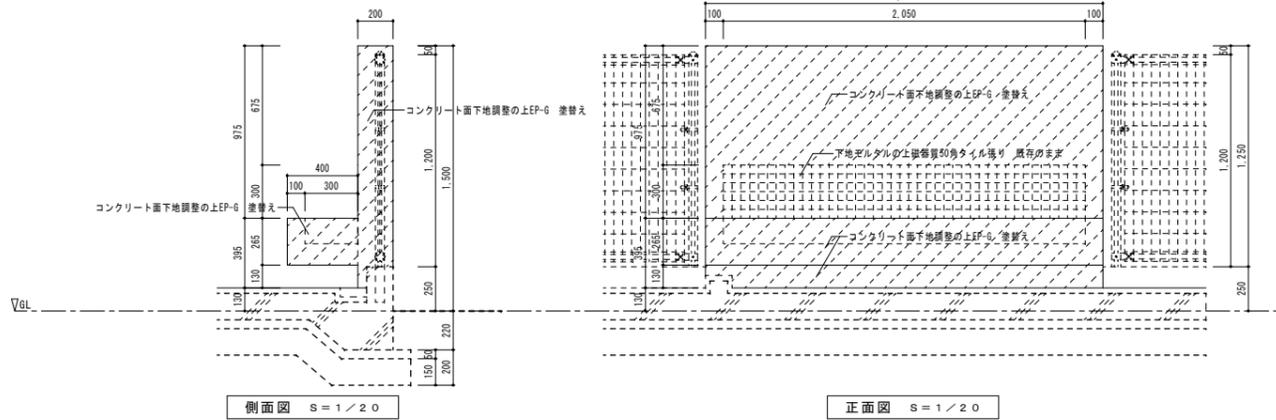
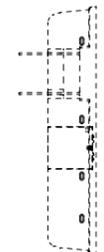


平面詳細図 S=1/50

※プールサイド用防漏性ビニル床シートは、TAJIMA ビュージスタAQUA同等品

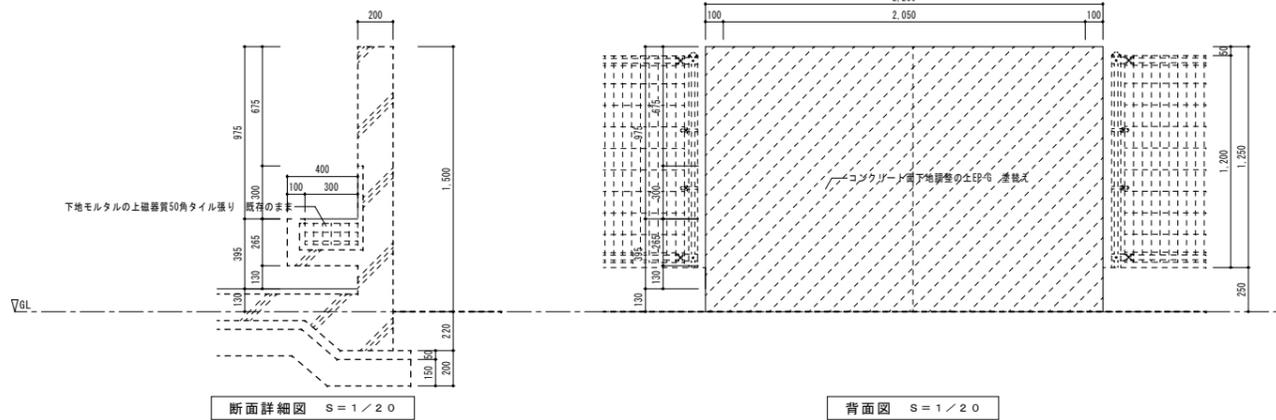


プールカーパーフック新設 計28個



側面図 S=1/20

正面図 S=1/20



断面詳細図 S=1/20

背面図 S=1/20



有限会社 ティーズ設計事務所
〒720-2412 広島県福山市加茂町下加茂68-5
Tel. 084-949-3632
一級建築士登録 第239406号 戸根 好喜

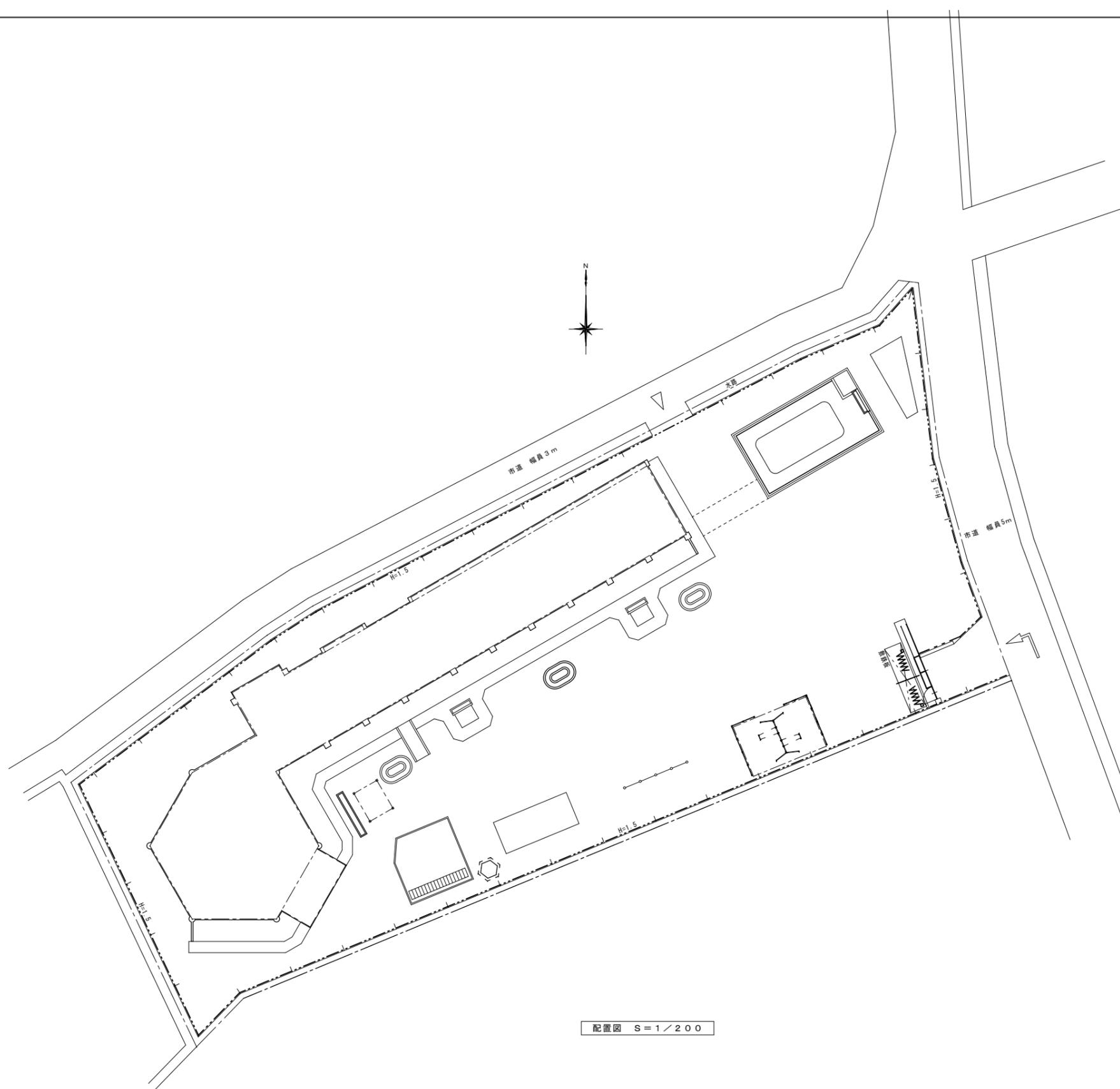


福山市建設局建築部営繕課
設計 2024年 1月

工事名称 福山市立道上幼稚園園舎改修工事
図面名称 外構詳細図(2) (改修前・改修後)

1/50 1/20

A1 100%
A2 71%
A3 52%

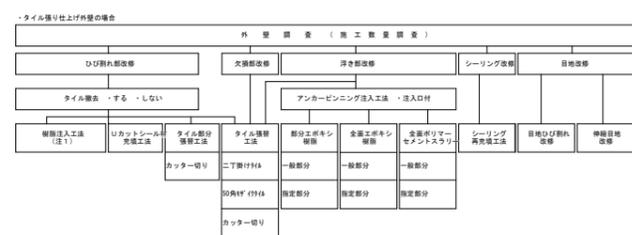
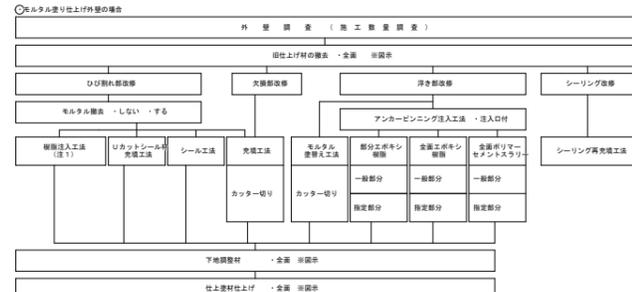
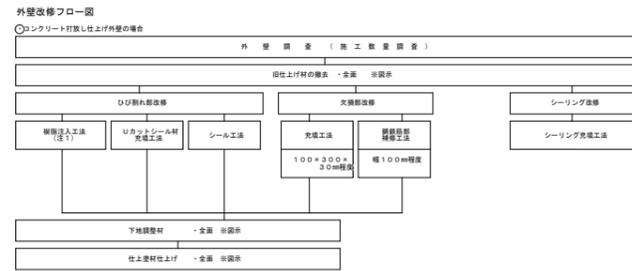


凡 例	
	仮囲い(既設フェンスへ養生シート張り) H=1.5m
	キャスターゲート W6.0m×H1.8m
	敷設板 1,524×6,096×22
	工事車両進入路

- 仮設工事特記事項
1. 仮設図に記載された仮設等は、発注者の考え方を示したものであって、実際の施工においては、事前に詳細な調査・検討を行い、より安全な施工に努めること。
 2. 仮設計画は、監督員の承諾を得ること。

外壁改修工事特記仕様書

①	① 外壁改修材料 [4.2.4], [4.3.5] [4.4.5], [4.5.2]	※ 4.2.2によるほか、監理員の承認する材料 ※ セメント系和剤重量比配合材を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。
②	① ひび割れ部改修工法 [4.1.4] [4.2.4-7]	※ 補修注入工法 工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (ml/m) ※ A・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上0.3未満 ※ 40 - 0.3以上0.5未満 200~300 ※ 40 - 0.5以上1.0未満 ※ 70 - ※ B・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上0.3未満 50~100 ※ 40 - 0.3以上0.5未満 100~200 ※ 70 - ※ C・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上1.0未満 150~250 ※ 130 - 0.5以上1.0未満 150~250 ※ 130 - ※ D・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上1.0未満 150~250 ※ 130 - ※ 補修方法 (ポリマーセメントモルタル充填) ※ 建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A6024) による (※ 低粘度形・中粘度形) ※ 建築補修用エポキシ樹脂 (中粘度形又は低粘度形) ① Uカットシーリング材充填工法 ※ 可とう性エポキシ樹脂 ※ シーリング材料 (※ 1成分又は2成分ポリウレタン系・農 3.7.1による) ※ シーリング材のうえにポリマーセメントモルタル充填 ※ 行う・行わない ① シール工法 ※ ひび割れシーリング材 ※ パウチエポキシ樹脂 ※ 可とう性エポキシ樹脂
③	② 欠損部改修工法 [4.1.4] [4.2.4, 8]	※ 充填工法 欠損部充填材 ※ ポリマーセメントモルタル・エポキシ樹脂モルタル
④	① ひび割れ部改修工法 [4.1.4] [4.3.5-8]	(下記配列は4-2コンクリート打放し仕上げの場合) ※ モルタルを除去して改修 (除去後の補修は充填工法 [4.3.9] による) ※ 樹脂注入工法 ○ Uカットシーリング材充填工法 シール工法 ① モルタルを除去しないで改修 ※ 樹脂注入工法 ○ Uカットシーリング材充填工法 シール工法
⑤	② 欠損部改修工法 [4.1.4] [4.3.5, 9, 10]	② 充填工法 (欠損部の面積が0.25㎡/箇所程度以下の場合) 充填材の種類 ※ ポリマーセメントモルタル・エポキシ樹脂モルタル ① モルタル塗替え工法 既製目地材・使用する (形状) 仕上げ厚又は全厚が25mmを超える場合の取組 ※ 図示
⑥	③ 浮き部改修工法 [4.1.4] [4.3.5, 11~16]	① モルタルを除去しないで改修 ① アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 (・注入口付・アンカーピンニング固定樹脂材料 (アンカーピンニング)) ※ 建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A6024) による硬質形で低粘度形又は中粘度形 ※ 建築補修用エポキシ樹脂 (中粘度形又は低粘度形) による硬質形で低粘度形又は中粘度形 ※ アンカーピンニング固定樹脂材料 (アンカーピンニング) ※ 注入材料 ポリマーセメントモルタル (実験等の資料を監理員に提出する) ② 充填工法 ③ モルタル塗替え工法



(注1) 樹脂注入工法の工法の種類を示す

名称	A 表面劣化部処理	B ひび割れ部処理	C 錆鉄筋部処理	D 浮き部処理	E 欠損部処理
記号・仕様	A-1 打放し面表面劣化部処理 [サンダー工法] A-2 モルタル面表面劣化部処理 [サンダー工法]	B-1 打放し面樹脂注入工法 [標仕4.2.5] ひび割れ幅 0.2~1.0mm B-2 打放し面Uカットシーリング材充填工法 [標仕4.2.6] ひび割れ幅 1.0mm超	C-1 打放し面錆鉄筋部処理 C-2 モルタル面錆鉄筋部処理	D-1 モルタル面はつり D-2 モルタル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.3.11] D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.9]	E-1 打放し面充填工法 [標仕4.2.8] E-2 打放し面欠損部処理 [標仕4.2.3] E-3 モルタル面欠損部処理 [標仕4.3.3]
改修前					
改修後					
工程	① 既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (・全面・部分) ② 高圧水洗浄 (150~200kg/cm) ③ セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)	① サンダーケレン ② ひび割れ部シーリング材注入 ③ エポキシ樹脂注入 ④ セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)	① カッター縁切り (C-3) ② 浮き部はつり ③ 錆落とし ④ 高圧水洗浄 (150~200kg/cm) ⑤ 防錆処理 ⑥ はつり部埋戻し整形 ⑦ セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)	① カッター縁切り (C-3) ② 浮き部はつり ③ 高圧水洗浄 (150~200kg/cm) ④ はつり部埋戻し整形 ⑤ セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)	① 欠損部はつり等での整形 ② 高圧水洗浄 (150~200kg/cm) ③ 欠損部はつり部埋戻し [I系 杉樹脂モルタル又はI系 杉樹脂モルタル] ④ セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)
設計数量	設計数量: m ²	設計数量: ひび割れ幅 0.2~0.5mm () m ひび割れ幅 0.5~1.0mm () m () 内は挙動ひび割れ数を示す	設計数量: 9.0 m	設計数量: 0.3 m	設計数量: m ²
名称	F 浮き部処理	G 浮き部処理	H 浮き部処理	I 浮き部処理	J 浮き部処理
記号・仕様	F-1 浮き部処理 [標仕4.3.11]	G-1 浮き部処理 [標仕4.3.11]	H-1 浮き部処理 [標仕4.3.11]	I-1 浮き部処理 [標仕4.3.11]	J-1 浮き部処理 [標仕4.3.11]
改修前					
改修後					
工程	① 穿孔 ② 孔内エアークリーニング ③ エポキシ樹脂注入 ④ ステンレスピン挿入	① 穿孔 ② 孔内エアークリーニング ③ エポキシ樹脂注入 ④ ステンレスピン挿入	① 穿孔 ② 孔内エアークリーニング ③ エポキシ樹脂注入 ④ ステンレスピン挿入	① 穿孔 ② 孔内エアークリーニング ③ エポキシ樹脂注入 ④ ステンレスピン挿入	① 穿孔 ② 孔内エアークリーニング ③ エポキシ樹脂注入 ④ ステンレスピン挿入
設計数量	設計数量: 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所	設計数量: 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所	設計数量: 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所	設計数量: 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所	設計数量: ①一般部分: 6.4 m ² ②指定部分: 5.0 m ² ③縦幅部: 9.9 m

参考数量書

§ 工事名称 福山市立道上幼稚園園舎改修工事

§ 工事場所 福山市神辺町大字道上1195番地1

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款1条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

設 計 書

工事名称 福山市立道上幼稚園園舎改修工事

工事場所 福山市神辺町大字道上1195番地1

【工事概要】

・改修工事 一式

【構造】
【建築面積】
【延床面積】

鉄筋コンクリート造 (一部 鉄骨造・木造) 平家建て
647.18㎡
646.08㎡

【別途工事】

- ・電気設備工事
- ・給排水衛生ガス設備工事
- ・冷暖房換気設備工事

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

名	称	数 量	単 位	金 額	備 考
建築工事		1	式		
	計				

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
1. 屋内改修	1	式		
2. 外壁改修	1	式		
3. ﾌﾟｰﾙ改修	1	式		
4. 門扉改修	1	式		
5. 既存飼育小屋・花壇撤去	1	式		
計				

1. 屋内改修						
名	称	数	量	単位	金額	備考
直接仮設		1		式		
とりこわし		1		式		
地業		1		式		
鉄筋		1		式		
コンクリート		1		式		
タイル		1		式		
木工		1		式		
金属		1		式		
左官		1		式		
建具		1		式		
塗装		1		式		
内外装		1		式		
ユニット及びその他		1		式		
カーテン		1		式		
アスベスト除去工事		1		式		
解体・撤去		1		式		
発生材処理		1		式		
	計					

2. 外壁改修						
名	称	数	量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1		式		
外壁改修工事		1		式		
発生材処理		1		式		
	計					

3.ﾌﾟｰﾙ改修						
名	称	数	量	単位	金額	備考
直接仮設		1		式		
ﾌﾟｰﾙ改修		1		式		
発生材処理		1		式		
	計					

4. 門扉改修						
名	称	数	量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1		式		
門扉改修		1		式		
	計					

5. 既存飼育小屋・花壇撤去									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
既存飼育小屋・花壇撤去		1		式					
発生材処理		1		式					
	計								

1. 屋内改修					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
とりこわし		1	式		
計					
地業		1	式		
計					
鉄筋		1	式		
計					
コンクリート		1	式		
計					
タイル		1	式		
計					
木工		1	式		
計					
金属		1	式		
計					
左官		1	式		
計					
建具		1	式		
計					

1. 屋内改修					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
塗装	外部	1	式		
塗装	内部	1	式		
計					
内外装	外部	1	式		
内外装	内部	1	式		
計					
ユニット及びその他		1	式		
計					
カーテン		1	式		
計					
アスベスト除去工事	撤去	1	式		
計					
解体・撤去		1	式		
計					
発生材処理	運搬	1	式		
発生材処理	処分	1	式		
計					

2. 外壁改修					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
外壁改修工事	外壁劣化改修工事	1	式		
外壁改修工事	塗装改修工事	1	式		
外壁改修工事	防水改修工事	1	式		
外壁改修工事	樋改修工事	1	式		
外壁改修工事	その他工事	1	式		
計					
発生材処理		1	式		
計					

3.7°-ル改修					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
7°-ル改修	撤去	1	式		
7°-ル改修	改修	1	式		
計					
発生材処理	運搬	1	式		
発生材処理	処分	1	式		
計					

4. 門扉改修					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
門扉改修	撤去	1	式		
門扉改修	改修	1	式		
計					

5. 既存飼育小屋・花壇撤去					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
既存飼育小屋・花壇撤去		1	式		
計					
発生材処理	運搬	1	式		
発生材処理	処分	1	式		
計					

1. 屋内改修		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
墨出し(内部改修)	複合改修	576	m ²			
養生(内部改修)	複合改修	576	m ²			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	576	m ²			
内部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 120日 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 脚立足場 階高4.0m以下	576	m ²			
計						

1. 屋内改修						
とりこわし						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
カッター入れ	コンクリート面 厚さ20～30mm	130	m			
土間コンクリート撤去	鉄筋切断共 コンクリートブレイカ 集積共	40.5	m ³			
床下防湿層撤去	集積共	270	㎡			
砂利地業撤去	集積共	3.5	m ³			
撤去機械運搬 (空気圧縮機)	可搬式、スクウェアエンジン掛	1	往復			
計						

1. 屋内改修 地業						
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
地業						
床下防湿層敷き	ポリエチレンフィルム 厚0.15	270	m ²			
土間下断熱材敷き	2種b 厚さ25mm	270	m ²			
計						

1. 屋内改修		コンクリート				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート						
普通コンクリート	JIS A5308 FC=21 S18 粗骨材20	40.5	m3			
嵩上げコンクリート	厚90 溶接金網 φ6×150×150	1	式			別紙 00-0002
コンクリート打設手間		1	式			別紙 00-0003
ポンプ圧送		1	式			別紙 00-0004
コンクリートポンプ圧送基本料金	30m3以上 50m3/回未満	1	回			
床スラブ開口塞ぎ	600角 D10 φ200 ｸﾞﾚｯﾄﾞ	1	か所			
計						

1. 屋内改修		タイル				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
内装壁タイル張り	エコータイル 有機系接着張り(タイプⅡ) Ⅲ類 施ゆう 100mm角 モルタル面	4.2	m ²			
内装壁タイル張り	エコータイル 有機系接着張り(タイプⅡ) Ⅲ類 施ゆう 100mm角 ボード面	4	m ²			
計						

1. 屋内改修		木工				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
床						
乾式二重床	床H100 パーティクルボード [®] 厚20共 材工共	270	m ²			
乾式二重床	際根太 H100 材工共	250	m			
床断熱材	ポリスチレンフォーム t=30 材工共	270	m ²			
床ラワン合板	厚 12.0 1類 材工共	292	m ²			
ケレン	床	292	m ²			
コルク床タイル	厚4.0 材工共	3.2	m ²			
床木見切り	桧30×20 材工共	12.7	m			
小計						
その他						
木製掲示板枠	杉 30×36 上小節 材工共	13.8	m			
木製出隅見切	杉 45×45 上小節 材工共	11.5	m			
小計						
計						

1. 屋内改修		金属				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
床						
あと施工アンカー	接着系 D10×490 横向打 材工共	1,220	本			
床点検口	屋内用 一般型貼物用 アルミ製枠 アルミ目地 鍵有 600角	1	か所			
小計						
天井						
軽量鉄骨天井下地 改修	19形(屋内) @150→@225	79.7	m ²			
軽量鉄骨天井下地 改修	19形(屋内) @300→@225	22.6	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @225 インサート別途	3.6	m ²			
軽量鉄骨天井下地 開口部補強		1	式			別紙 00-0005
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共額縁 450角	23	か所			
小計						
壁						
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りあり @450	7.1	m ²			
軽量鉄骨壁下地 開口部補強		1	式			別紙 00-0006
小計						
計						

1. 屋内改修		左官				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
床						
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごて 薄張物下地	293	m ²			
床モルタル塗り	金ごて ビニル系床材下地 厚40	163	m ²			
壁						
壁モルタル塗り	金ごて 内壁 厚20	5.4	m ²			
壁モルタル塗り	金ごて 内壁 厚20	1.4	m ²			
壁モルタル塗り	金ごて 内装タイル接着張り下地 -	4.2	m ²			
壁補修	保健室 タイル撤去壁面補修	1.4	m ²			
管孔跡補修	保健室 ガス管孔 φ30~50	2	か所			
計						

1. 屋内改修		建具				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【建具撤去】						
WD-12 木製建具撤去	W1,700×H1,800 扉のみ 集積共	1	か所			
PG-1 プラスチック製 レジスターガリ撤去	W450×H150 集積共	1	か所			
AW-1C 目隠しフィルム撤去	W700×H400×4枚 集積共	1	か所			
WD-9 トイレブース撤去	集積共	1	か所			
WD-10 トイレブース撤去	集積共	1	か所			
WD-11 トイレブース撤去	集積共	1	か所			
小計						
【建具改修】						
ADW-3 改修		1	式			別紙 00-0007
AW-1C 改修		1	式			別紙 00-0008
AW-4A 改修		1	式			別紙 00-0009
AW-7 改修		1	式			別紙 00-0010
WD3、WD6、WD7 改修		1	式			別紙 00-0011
WD-13 改修		1	式			別紙 00-0012
小計						
【建具新設】						
AD-2 新設		1	式			別紙 00-0013
WD-9 トイレブース		1	か所			
WD-10 トイレブース		1	か所			

1. 屋内改修		建具				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
WD-11 トイレブース		1	か所			
小計						
【運搬・取付】						
運搬, 取付け アルミニウム建具	ADW-3、AW-7、AD-2	1	式			
運搬, 取付け アルミパネ	AW-1C、AW-4A	1	式			
ADW-3 運搬, 取付け パネルスクリーン	ADW-3	1	式			
パネ取付手間	パネ別途 シーリング 清掃別途	12.9	m ²			
小計						
【ガラス】						
フロント板ガラス	厚さ3 特寸 2.18m ² 以下 シーリング 清掃別途 AW-1C、AD-2	0.4	m ²			
強化ガラス	厚さ4mm 特寸 2.0m ² 以下 シーリング 清掃別途 ADW-3	10.1	m ²			
型板ガラス	厚さ4 特寸 2.18m ² 以下 シーリング 清掃別途	1.8	m ²			
小計						
その他						
SOP塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	木部 工程B種 下地調整RB種(塗替え面)	91.7	m			
SOP塗り 改修仕様	木部 工程B種 塗料1種 - 下地RB種(塗替え面)	13.4	m ²			
トアクローサ撤去	集積共	2	か所			
トアクローサ取付け	材工共	2	か所			
三方枠取付け	スチール製 枠見込み120 材工共	2.4	m ²			
小計						

1. 屋内改修 建具						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
計						

1. 屋内改修		塗装			外部	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
外部塗装						
SOP塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	塩ビ面 工程B種 塗料1種 下地RB種(塗替え面)	18	m			
SOP塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	鉄鋼面 工程B種 塗料1種 錆止工程C塗料A 下地RB種(塗替え面)	35.7	m			
EP-G塗り	けい酸カルシウム板面 工程B種(見上) 素地B種	249	m ²			
EP-G塗り 改修仕様	コンクリート面 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	12	m ²			
計						

1. 屋内改修		塗装		内部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
内部塗装						
C L 塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	木部 工程A種 オイルステイン 下地調整RB種(塗替え面)	127	m			
S O P 塗り 改修仕様	木部 工程B種 塗料1種 - 下地RB種(塗替え面)	0.2	m ²			
S O P 塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	木部 工程B種 下地調整RB種(塗替え面)	394	m			
S O P 塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	鉄鋼面 工程B種 塗料1種 錆止工程C塗料A 下地RB種(塗替え面)	46.5	m			
E P - G 塗り 改修仕様	ベニヤ面 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	17.8	m ²			
E P - G 塗り 改修仕様	モルタル面 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	177	m ²			
E P - G 塗り 改修仕様	モルタル面 工程B種(見上) 下地調整RB種(塗替え面)	8.3	m ²			
E P - G 塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	モルタル面 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	36.3	m			
E P - G 塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	人造石面 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	5.6	m			
E P - G 塗り	モルタル面 工程B種(一般) 素地B種	3.6	m ²			
E P - G 塗り	ボード面 工程B種(一般) 素地B種	7.9	m ²			
自然塗料塗り	木部 素地B種	44.2	m ²			
自然塗料塗り	木部 素地B種	0.4	m ²			
自然塗料塗り (糸幅300mm以下)	木部 素地B種	132	m			
F-1 カンター C L 塗替え	木部 工程A種 オイルステイン 下地調整RB種(塗替え面)	1	か所			
F-2 掃除具入、戸 棚 C L 塗り	木部 工程A種 オイルステイン 素地B種	3	か所			
F-3 教材戸棚 C L 塗り	木部 工程A種 オイルステイン 素地B種	3	か所			
F-4 ロッカー戸棚 C L 塗り	木部 工程A種 オイルステイン 素地B種	3	か所			
F-5 幼児用下駄箱 S O P 塗替え	木部 工程B種 塗料1種 - 下地RB種(塗替え面)	3	か所			

1. 屋内改修		内外装	外部			
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
天井						
天井 けい酸 カルシウム板張り	タイプ2(ノンアス)0.8FK 厚 6 目透かし	249	m ²			
天井廻縁	塩化ビニル製	158	m			
計						

1. 屋内改修		内外装		内部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
家具等取外し						
F-5 幼児用下駄箱 取外し	再使用する	3	か所			
吊戸棚取外し	L=1200 水切棚共 再使用する	1	台			
流し台取外し	L=1200 再使用する	1	台			
コンロ台取外し	L=600 再使用する	1	台			
鏡 取外し	再使用する	4	枚			
手摺取外し	再使用する	1	か所			
室名札取外し	再使用する	3	か所			
小計						
床						
ビニル床シート	無 地 厚さ2.0 複層ビニル床シートFS 一般床 熱溶接工法	26.1	m ²			
ビニル床シート	無 地 厚さ2.8 発泡複層ビニル床シートHS 一般床 熱溶接工法	325	m ²			
ビニル床シート	防滑性 屋外用 厚さ2.5 発泡複層ビニル床シートHS 一般床 熱溶接工法	112	m ²			
アンダーレイシート	厚3.0 一般床	309	m ²			
床タイルカーペット	総厚6.5 500角 1種ルーフパイル 一般事務室用	17.5	m ²			
畳敷き	標仕D種 畳表C2 柄へり Ht 畳床KT-III 一畳 施工規模30枚以下程度	4	枚			
畳敷き	標仕D種 畳表C2 柄へり Ht 畳床KT-III 半畳 施工規模30枚以下程度	1	枚			
小計						
幅木・壁						
木製幅木	杉 15×105 上小節 材工共	107	m			

1. 屋内改修		内外装		内部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ビニル幅木	高さ100	6.1	m			
壁 せっこうボード 張り (GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付け -	11.9	m ²			
壁 けい酸 カルシウム板張り	タイプ2(ノンアス)0.8FK 厚 6 鋼製、木、ボード下地 目透かし -	7.9	m ²			
壁 壁紙張り	ビニルクロス ベニヤ面 素地B種	31.9	m ²			
壁 壁紙張り	ビニルクロス モルタル面 素地B種	90.8	m ²			
壁 壁紙張り	ビニルクロス ボード面 素地B種	16.8	m ²			
壁 壁紙張り	掲示板クロス ベニヤ面 素地B種	91.8	m ²			
壁 天然木化粧合板張 り	杉 厚6 防虫処理 無塗装品 接着剤2類	44.2	m ²			
壁 普通合板張り	ラワン 厚5.5 防虫処理 無塗装品 接着剤2類	44.2	m ²			
壁 普通合板張り	ラワン 厚4.0 防虫処理 無塗装品 接着剤2類	10.9	m ²			
壁 開口部閉塞	せっこうボードt=12.5張り 7か所	7	か所			
小計						
天井						
天井 化粧吸音 せっこうボード 張り	厚 9.5 準不燃 突付け	253	m ²			
天井 化粧 せっこうボード 張り (GB-D)	厚 9.5 準不燃 トラバーチン 突付け	64.6	m ²			
天井 壁紙張り	ビニルクロス ベニヤ面 素地B種	55.2	m ²			
梁型 天然木化粧合板張 り	杉 厚6 防虫処理 無塗装品 接着剤2類	0.4	m ²			
梁型 普通合板張り	ラワン 厚5.5 防虫処理 無塗装品 接着剤2類	0.4	m ²			
小計						
その他						

1. 屋内改修		内外装	内部			
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
天井廻縁	塩化ビニル製	238	m			
面台	210×19 メラミン化粧板(ホースフォーム加工)	2.3	m			
F-5 幼児用下駄箱 再取付		3	か所			
吊戸棚再取付	L=1200 水切棚共	1	台			
流し台再取付	L=1200	1	台			
コンロ台再取付	L=600	1	台			
鏡再取付		4	枚			
手摺再取付		1	か所			
室名札再取付		3	か所			
小計						
計						

1. 屋内改修		ユニット及びその他				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
家具						
F-1 カウンター 改修	天板張替え メラミン化粧合板 W2805×D450×H1800/800	1	か所			
F-2 掃除具入、戸棚 新設	W2705×D445×H1800/800	3	か所			
F-3 教材戸棚 新設	W1200×D500×H1450	3	か所			
F-4 教員用下駄箱 新設	W6850×D390×D840	3	か所			
F-6 教員用下駄箱 新設	W1225×D370×H895	1	か所			
小計						
手すり						
幼児用手すり取付	φ27 ステンレス（塗装仕上げ） 固定金具含む 材工共	5	か所			
小計						
計						

1. 屋内改修						
カーテン						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
カーテンレール取外し	再使用する	74.3	m			
C-2 カーテン取外し	再使用する	2	か所			
C-3 カーテン取外し	再使用する	1	か所			
C-4 カーテン取外し	再使用する	1	か所			
C-5 カーテン取外し	再使用する	2	か所			
C-6 カーテン取外し	再使用する	2	か所			
C-7 カーテン取外し	再使用する	2	か所			
C-8 カーテン取外し	再使用する	1	か所			
小計						
カーテン取付						
C-10 カーテン	ドレープ(遮光) 引分け 手引き式 W3400×H2000 タッセル取付含む 材工共	6	か所			
C-11 カーテン	ドレープ(遮光) 引分け 手引き式 W1600×H2000 タッセル取付含む 材工共	1	か所			
C-12 カーテン	ドレープ(遮光) 片引き 手引き式 W2000×H1800 タッセル取付含む 材工共	1	か所			
C-13 カーテン	ドレープ(遮光) 引分け 手引き式 W2000×H1400 タッセル取付含む 材工共	2	か所			
C-14 カーテン	ドレープ(遮光) 引分け 手引き式 W2000×H1400 タッセル取付含む 材工共	1	か所			
カーテンレール再取付		74.3	m			
カーテンレール	アルミニウム製 手引き 引分け 重量用(10-90)	8	m			
小計						
計						

1. 屋内改修		アスベスト除去工事			撤去	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ビニル床タイル撤去	石綿含有 集積共	2.5	m ²			
天井合板・ホート撤去	一重張り 石綿含有 集積共	249	m ²			
除去石綿処理	密封処理（二重梱包）	3.2	m ³			
発生材積み込み	石綿含有産業廃棄物 内装仕上材類	3.2	m ³			
計						

1. 屋内改修		解体・撤去				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【内装撤去】						
床スラブ開口	600角	1	か所			
フローリング [°] ブロック撤去	集積共	433	m ²			
フロハ [°] ネ [°] 撤去	集積共	16.6	m ²			
銘木フロア撤去	集積共	5.4	m ²			
カーベ [°] ット撤去	集積共	17.5	m ²			
畳撤去	一畳 集積共	4	枚			
畳撤去	半畳 集積共	1	枚			
床タイル撤去	下地モルタル共 集積共	23.5	m ²			
ビ [°] ニル床シート撤去	集積共	112	m ²			
吸音テックス撤去	一重張り 一般 集積共	79.7	m ²			
天井 難燃クロス撤去	集積共	55.2	m ²			
天井 コ [°] ハ [°] ン [°] ハ [°] ケ [°] ソ [°] リ [°] フ [°] 撤去	集積共	0.4	m ²			
天井 タ [°] カ [°] ー [°] ジ [°] プ [°] ト [°] ン撤去	一重張り 一般 集積共	212	m ²			
軽量鉄骨 天井下地撤去	集積共	3.5	m ²			
木製幅木撤去	集積共	91.3	m			
ビ [°] ニル幅木撤去	集積共	15.5	m			
壁 コ [°] ハ [°] ン [°] ハ [°] ケ [°] ソ [°] リ [°] フ [°] 撤去	集積共	55	m ²			
壁 ビ [°] ニルクロス撤去	集積共	86.5	m ²			
壁 ビ [°] ニルクロス撤去	掲示板用 集積共	80.9	m ²			

1. 屋内改修		解体・撤去				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
壁紙クロス撤去	集積共	28.6	m ²			
壁シユラクサテン撤去	集積共	24.5	m ²			
壁カッター入れ	モルタル面 厚さ20～30mm	17.6	m			
壁モルタル撤去	集積共	3.7	m ²			
壁タイル撤去	下地モルタル共 集積共	6.1	m ²			
CB撤去	コンクリートブレーカ 集積共	0.6	m ³			
手洗い撤去	鉄筋切断共 コンクリートブレーカ 集積共	2	か所			
鏡撤去	再使用しない	3	枚			
床下点検口撤去	600角 集積共	1	か所			
天井点検口撤去	集積共	9	か所			
F-2 掃除具入戸棚撤去	集積共	3	か所			
F-3 教材戸棚撤去	集積共	3	か所			
F-4 ロッカー戸棚撤去	集積共	3	か所			
F-6 職員用下駄箱撤去	鉄骨切断共 集積共	1	か所			
カーテンレール撤去	集積共	5.5	m			
C-1 カーテン撤去	集積共	2	か所			
C-9 カーテン撤去	集積共	1	か所			
フライント [®] 撤去	スラットなし 集積共	2	か所			
小計						
計						

1. 屋内改修		発生材処理	運搬			
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
発生材積み		1	式			別紙 00-0014
発生材運搬		1	式			別紙 00-0015
計						

1. 屋内改修		発生材処理		処分		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
発生材処分		1	式			別紙 00-0016
計						

2. 外壁改修		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
養生(外壁改修)		389	㎡			
整理清掃後片付け (外壁改修)		389	㎡			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 掛払い手間、運搬費、維持管理費共 12m未満 120日	128	㎡			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 掛払い手間、運搬費、維持管理費共 120日	27	m			
養生シート張り	防炎Ⅰ類 掛払い手間、運搬費、維持管理費共 120日	128	㎡			
開口部養生 (外壁改修)	合板張り養生	57	㎡			
ガラス清掃		57	㎡			
計						

2. 外壁改修		外壁改修工事			外壁劣化改修工事	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	214	m ²			
A-2 モルタル面表面劣化処理		6.2	m ²			
B-6 モルタル面Uカットシーリング材 注入工法	1.0mm以上 挙動 有り	7.1	m			
C-1 クラック部打放し面 サビ 鉄筋処理		9	m			
D-1 モルタル面はつり	0.25m ² 以上	0.3	m ²			
D-2 モルタル面アンカーヒ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25m ² 以下 一般部(16カ所/m ²)	6.4	m ²			
D-2 モルタル面アンカーヒ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25m ² 以下 指定部(25カ所/m ²)	5	m ²			
D-2 モルタル面アンカーヒ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25m ² 以下 狭幅部(5カ所/m)	9.9	m			
E-3 モルタル面欠損部処理	樹脂モルタル	0.4	m ²			
計						

2. 外壁改修		外壁改修工事		塗装改修工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
外壁・パラペット						
高圧水洗浄	外壁塗装改修 水洗い 高圧水栓機 加圧力15Mpa程度(150~200kg/cm2)	214	m ²			
複層塗材 E	コンクリート面 凹凸状 吹付け アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共	151	m ²			
外装薄塗材 E	コンクリート面 砂壁状 吹付け 下地調整費(C-1)共	63	m ²			
通気パイプ						
SOP塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様 金属屋根	工程B種 下地調整RB種(塗替え面)	40	か所			
DP塗り	鉄鋼 1級 素地ごしらえ及び下塗り別途	244	m ²			
下地調整 改修仕様	鉄鋼面 RB種(塗替え面)	244	m ²			
錆止め塗料塗り 改修仕様	鉄鋼面(屋内外) 工程B種 塗料A種 現場1回塗り 下地別途(新規面)	244	m ²			
計						

2. 外壁改修		外壁改修工事			防水改修工事	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
シーリング撤去	集積共	85	m			
シーリング	変成シヨーン(2成分形)MS-2 15×10 建具周囲	73	m			
シーリング	ポリアレタン(2成分形)PS-2 20×10 目地部ひび割れ	12	m			
計						

2. 外壁改修		外壁改修工事			樋改修工事	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
たてどい撤去	VP管 集積共 金具共	21	m			
堅樋 取付	カー硬質塩化ビニルVP75φ 掴み金物S US@1200 材工共	21	m			
計						

2. 外壁改修		外壁改修工事		その他工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
屋外スピーカー	取外し・再取付	1	か所			
屋外スピーカー ケーブル	取外し・再取付	12	m			
計						

2. 外壁改修		発生材処理				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
発生材積込み	コンクリート類 人力	0.1	m3			
発生材積込み	ボード・木材類 人力	1.6	m3			
発生材運搬	がれき類	0.1	t			
発生材運搬	廃プラスチック類	0.1	t			
発生材処分	がれき類	0.1	t			
発生材処分	廃プラスチック類	0.1	t			
計						

3. フォール改修		フォール改修			改修	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
ビニル床シート	防滑性(フォール用) 厚さ2.5 複層ビニル床シートFS 多湿部 熱溶接工法	39.2	m ²			
フォールカバーフック		28	か所			
E P - G 塗り 改修仕様	コンクリート面 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	7	m ²			
計						

3.ﾌﾟｰﾙ改修		発生材処理		運搬		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
発生材積み	ボート・木材類 人力	0.1	m ³			
発生材運搬	廃プラスチック類	0.2	t			
計						

3.ﾌﾟｰﾙ改修		発生材処理			処分	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
発生材処分	廃プラスチック類	0.2	t			
計						

4. 門扉改修		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
墨出し(内部改修)	個別改修	8.2	m ²			
整理清掃後片付け(内部改修)	個別改修	8.2	m ²			
養生(内部改修)	個別改修	8.2	m ²			
計						

4. 門扉改修		門扉改修			撤去	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
かんぬき撤去	集積共	1	か所			
丁番撤去	集積共	2	か所			
計						

4. 門扉改修		門扉改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
門扉嵩上げ		1	式			別紙 00-0017
(既設門扉塗装)						
SOP塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	鉄鋼面 工程B塗料1種 錆止工程C種 現場2回塗り 鉛・ゴムワリ-錆止め RB種(塗替え面)	54.2	m			
計						

5. 既存飼育小屋・花壇撤去		発生材処理		運搬		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
発生材積み		1	式			別紙 00-0018
発生材運搬		1	式			別紙 00-0019
計						

5. 既存飼育小屋・花壇撤去		発生材処理		処分		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
発生材処分		1	式			別紙 00-0020
計						

1. 屋内改修		鉄筋				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
鉄筋スラップ 控除		1	式			別紙 00-0001
鉄筋スラップ 控除		0.1	t			
計						

1. 屋内改修						
コンクリート						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
嵩上げコンクリート	厚90 溶接金網 φ6×150×150	1	式			別紙 00-0002
溶接金網敷	径6.0 150×150	23.6	m ²			
普通コンクリート	JIS A5308 FC=21 S18 粗骨材20	2.1	m ³			
コンクリート打設手間	防水保護コンクリートポンプ打設 50m ³ /回程度 S15~S18 - 圧送費、基本料別途	2.1	m ³			
コンクリートポンプ 圧送	30m ³ 以上 50m ³ /回未満 基本料金別途加算	2.1	m ³			
計						
コンクリート打設手間		1	式			別紙 00-0003
コンクリート打設手間	土間ポンプ打設 50m ³ /回程度 S15~S18 - 圧送費、基本料別途	40.5	m ³			
計						
ポンプ圧送		1	式			別紙 00-0004
コンクリートポンプ圧送 基本料金	50m ³ 以上100m ³ /回未満	1	回			
コンクリートポンプ 圧送	50m ³ 以上100m ³ /回未満 基本料金別途加算	40.5	m ³			
計						

1. 屋内改修		金属				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽量鉄骨天井地下開口部補強		1	式			別紙 00-0005
軽量鉄骨天井開口部補強	19形(屋内) 450×450mm程度 ホト等切込み共	23	か所			
計						
軽量鉄骨壁地下開口部補強		1	式			別紙 00-0006
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 扉等三方補強 1200×2000mm程度	1	か所			
計						

1. 屋内改修		建具				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ADW-3 改修		1	式			別紙 00-0007
ADW-3 木製建具撤去	W1,800×H1,900 木枠共 集積共	6	か所			
ADW-3 アルミニウム製建具	W1,800×H1,900 枠見込70 B種 BB-1種 かぶせ工法	6	か所			
ADW-3 パネルスクリーン	ポリカーボネート 厚3 800×1,000 取付手間共	12	枚			
フラットレール取付	ステンレス製 70×1700 引違用 材工共	6	本			
計						
AW-1C 改修		1	式			別紙 00-0008
ガラス撤去	集積共	0.6	m ²			
AW-1C アルミパネル	厚3 360×700(穴あけ加工品) 取付手間共	1	枚			
AW-1C 目隠しフィルム張り	材工共 AW-1C	3.7	m ²			
計						
AW-4A 改修		1	式			別紙 00-0009
ガラス撤去	集積共	0.45	m ²			
AW-4A アルミパネル	厚3 890×500(穴あけ加工品) 取付手間共	2	枚			
計						

1. 屋内改修		建具				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
AW-7 改修		1	式			別紙 00-0010
AW-7 アルミニウム製建具	W1,600×H1,700 枠見込70 B種 BB-1種 かぶせ工法 既設撤去・集積を含む	1	か所			
計						
WD3、WD6、WD7 改修		1	式			別紙 00-0011
WD3、WD6、WD7 ふすま紙撤去	集積共	5.6	m ²			
WD3、WD6、WD7 ふすま紙張り		5.6	m ²			
計						
WD-13 改修		1	式			別紙 00-0012
WD-13 紙クロス撤去	集積共	1.4	m ²			
WD-13 ビニルクロス張り	合板面 量産品 素地B種 接着剤 2種2号	1.4	m ²			
計						
AD-2 新設		1	式			別紙 00-0013
AD-2 アルミニウム製建具	W1,700×H1,800 枠見込70 B種 BB-1種	1	か所			
フラットレール取付	ステンレス製 70×1700 引違用 材工共	1	本			
計						

1. 屋内改修		発生材処理			運搬	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0014
発生材積込み	コンクリート塊(有筋) 機 械	93.1	t			
発生材積込み	金属くず 機 械	3.4	t			
発生材積込み	がれき類 機 械	70.2	t			
発生材積込み	内装材 機械	1.5	t			
発生材積込み	建設発生木材(抜根・伐採除く) パック材 0.45m ³	6.3	t			
発生材積込み	繊維くず パック材 0.13m ³	0.2	t			
発生材積込み	廃プラスチック類 機 械	0.5	t			
発生材積込み	石綿含有成形板(石こうボード除く) パック材 0.13m ³	1.9	t			
計						

1. 屋内改修		発生材処理			運搬	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
発生材運搬		1	式			別紙 00-0015
発生材運搬	コンクリート塊(無筋)	40.5	m ³			
発生材運搬	スクラップ H2	0.1	t			
発生材運搬	金属くず(有価物)	3.4	t			
発生材運搬	がれき類	70.2	t			
発生材運搬	ガラス及び陶磁器くず	1.5	t			
発生材運搬	建設発生木材(抜根・伐採材除く)	6.3	m ³			
発生材運搬	繊維くず	0.2	t			
発生材運搬	廃プラスチック類	0.5	t			
発生材運搬	石棉含有産業廃棄物 塩ビ、ホート類	1.9	t			
計						

1. 屋内改修		発生材処理		処分		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
発生材処分		1	式			別紙 00-0016
発生材処分	コンクリート塊(無筋)	40.5	m ³			
発生材処分	金属くず(有価物) スクラップ H3	3.4	t			
発生材処分	がれき類	70.2	t			
発生材処分	ガラス及び陶磁器くず	1.5	t			
発生材処分	建設発生木材(抜根・伐採材除く)	6.3	m ³			
発生材処分	繊維くず	0.2	t			
発生材処分	廃プラスチック類	0.5	t			
発生材処分	石綿含有産業廃棄物 塩ビ、ホート類	1.9	t			
計						

4. 門扉改修		門扉改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
門扉嵩上げ		1	式			別紙 00-0017
角形鋼管	STKR400 □-2.3×100×50	22.7	kg			
角形鋼管	STKR400 □-2.3×50×50	3.5	kg			
角鋼	SS400 □-16×16	15.2	kg			
鋼板	PL-3.2	0.5	kg			
鉄骨スクラップ 控除		1	式			別紙 00-0017/00-001
鉄骨加工組立		1	式			
工場錆止め塗装	鉄鋼面(屋内外) 塗料A種 工程A種	12.8	m			
鉄骨運搬	トラック 普通用 6t積	1	式			
現場溶接		1	式			
転倒防止金物		1	か所			
かんぬき		1	か所			
丁番		3	か所			
Uパント錠		1	か所			
SOP塗り (糸幅300mm以下)	鉄鋼面 工程B種 錆止現場1回共	12.8	m			
計						
鉄骨スクラップ 控除		1	式			別紙 00-0017/00-001
鉄骨スクラップ 控除		1.4	kg			
計						

5. 既存飼育小屋・花壇撤去		発生材処理		運搬		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0018
発生材積込み	コンクリート塊(有筋) 機 械	4.4	t			
発生材積込み	がれき類 機 械	2.1	t			
発生材積込み	金属くず 機 械	0.2	t			
発生材積込み	廃プラスチック類 機 械	0.2	t			
計						
発生材運搬		1	式			別紙 00-0019
発生材運搬	コンクリート塊(無筋)	1.9	m ³			
発生材運搬	がれき類	2.1	t			
発生材運搬	金属くず(有価物)	0.2	t			
発生材運搬	廃プラスチック類	0.2	t			
計						

5. 既存飼育小屋・花壇撤去		発生材処理			処分	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
発生材処分		1	式			別紙 00-0020
発生材処分	コンクリート塊(無筋)	1.9	m3			
発生材処分	がれき類	2.1	t			
発生材処分	金属くず(有価物) スラック H3	0.2	t			
発生材処分	廃プラスチック類	0.2	t			
計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮囲い 養生シート張り	防災I類 掛払い手間、運搬費、維持管理費共 180日	339	m ²			
仮門	キャスターゲート 幅6.0×高1.8m 存置期間 6ヵ月	1	か所			
仮設敷鉄板	厚22mm 存置期間 6ヵ月 運搬共	9.3	m ²			
交通誘導警備員	交通誘導警備員B	4	人			
室内空气中化学物 質濃度測定	対象物質5室6項目 文部科学省学校環境衛生基準	1	式			
情報共有システム 利用料		1	式			
計						